

令和 6 年 6 月 25 日現在

機関番号：14301

研究種目：挑戦的研究（萌芽）

研究期間：2020～2023

課題番号：20K21573

研究課題名（和文）グリアの視点からの片頭痛の新展開：slow EEGと機能的MRIの統合的解析

研究課題名（英文）Glia and migraine: integrative analysis of slow EEG and functional MRI

研究代表者

池田 昭夫（Ikeda, Akio）

京都大学・医学研究科・特定教授

研究者番号：90212761

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 4,900,000円

研究成果の概要（和文）：片頭痛の病態は未解明で、診断・治療の臨床上信頼できる客観的指標は存在しない。本研究は、専門医が片頭痛と診断した患者で、各種検査を行い（高周波帯域脳波、脳波-機能MRI同時記録[EEG-fMRI]）、指標の探索に挑戦した。その結果、有症状期や家族歴のある患者群で、それぞれ発作間欠期、家族歴のない患者群より、後頭部に緩電位（1 Hz未満の徐波でアストロサイト活動との関連を示唆）があり、運動症状を伴う重症型の片麻痺性片頭痛（HM）では、一般の片頭痛より各種脳波異常が高頻度で、HMの徐波に関連するEEG-fMRI検査は5/6例で前頭葉の活性化を捉え、運動症状との関連が考慮されることを見出した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

片頭痛の疾患バイオマーカーとしての臨床脳波の異常の意義を、アストロサイトとの関連が疑われる緩電位の新しい視点から抽出してまとめ、片頭痛と類似のCSD(皮質拡散脱分極)関連脳神経疾患への応用の可能性の礎となる知見を得た。さらに片頭痛の特殊型であるHMに着目して、片頭痛との神経生理学的相違を明らかにし、神経徴候と脳波変化の起源を探るEEG-fMRIの研究発展、臨床応用の道を展開することができた。

研究成果の概要（英文）：The pathophysiology of migraine has not been yet fully understood, and there are no objective biomarkers for diagnosis and treatment clinically. In this study, we examined patients diagnosed with migraine by headache specialists and performed various clinically approved tests (wide-band EEG, EEG-functional MRI [EEG-fMRI]) to search for the biomarkers. We found: (1) a subdelta slow potential is observed in the occipital region (slow waves of less than 1 Hz, suggesting an association with astrocyte activity) in the group of patients with symptomatic phase and positive family history, compared to the group of patients with interictal phase and negative family history, respectively, (2) EEG abnormalities in hemiplegic migraine (HM), a severe type of migraine with motor symptoms, are more frequent than in ordinary migraine, and (3) EEG-fMRI of HM with slow wave captured frontal lobe activation in 5/6 patients, suggesting their close associations with abnormal motor symptoms.

研究分野：臨床神経生理学、臨床神経学、てんかん

キーワード：片頭痛 頭痛 アストロサイト wide-band EEG EEG-fMRI

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

片頭痛は、15歳以上の日本人口の8.4%という高い有病率をもち、強い頭痛と嘔吐などで生活に与える影響の大きさから、頭痛の中でも重要な疾患とみなされており、専門的な病歴聴取をもとに確定診断・治療されている。片頭痛の病態には、主にアストロサイトから周囲に徐々に脳活動低下領域が拡延していく皮質拡散性抑制(cortical spreading depression: CSD)が関係していると考えられている(文献)が、病態生理の全容は未解明で、客観的バイオマーカーは存在しなかった。

一方、同様により短時間の発作をきたす興奮性脳神経疾患であるてんかん発作の領域では、アストロサイトと関係しうる「非常に緩やかな電位(DC電位)」もとらえるwide-band EEG(一般的な頭皮上脳波で測定可能な0.5-30 Hzの周波数帯域を拡張し、0.5 Hz未満や80 Hz以上にも及ぶ帯域をデジタルで記録・解析できるようにしたもの。)の解析手法を用いて、DC電位や、一方でニューロンの発火活動と相関する高周波帯域の活動から、てんかん発作の焦点を同定することが臨床上可能になってきた(文献)。さらに、てんかん性の異常なニューロンの発火活動を頭皮上脳波でとらえながら、その時に秒単位で変動する予想脳血流量をモデル化し、そのモデルに近い血流変化がみられる脳領域を、視床などの深部の脳組織も含めてとらえるMRI撮像法を組み合わせる、脳波-機能的MRI同時記録(EEG-fMRI)という手法も研究領域で用いられていた。

2. 研究の目的

片頭痛患者で、アストロサイトの「非常に緩やかな」電気的活動や「速い」ニューロン発火活動、脳機能に関連した脳血流といった脳内の神経生理学的変化を捉える可能性のある生理学的検査(片頭痛患者の脳波記録をwide-band EEGで解析。およびEEG-fMRI)を行う。

そして、得られたデータに、脳神経内科で臨床的に取得された片頭痛の詳細な病歴の情報を援用し、融合させ、ヒト片頭痛の病態生理の解明に迫るとともに、患者・専門医以外の医療者が日常診療で共有できる客観的ツールとして確実な診断・治療効果判定の一助とでき、病態把握に役立てられるような、神経生理学的バイオマーカーを探索する。

3. 研究の方法

(1) 日本頭痛学会認定教育施設(医療法人立岡神経内科、社会医療法人寿会富永病院)の頭痛専門外来に通院中の片頭痛患者で、国際頭痛分類第3版に基づいて片頭痛と診断され、臨床上の必要に応じて脳波検査を施行された患者を対象とした。患者の臨床検査としてのデジタル脳波データを解析対象とし、通常判読に用いられる表示時定数0.3秒(low cut filter 0.53 Hz)に加えて表示時定数2秒(low cut filter 0.08 Hz)にて判読を行い、デルタ帯域の局所徐波(focal delta slow: FDS [1-4 Hz])と、より低周波成分であるfocal subdelta slow (FSDS [< 1 Hz])の有無を検討した。また患者の年齢、性別、頭痛に伴う前兆の有無、家族歴、脳波検査施行時の片頭痛の状況などの臨床情報について、脳波解析結果との相関を検討した。

(2) 上記の日本頭痛学会認定教育施設において頭痛専門医により片麻痺性片頭痛と診断され、脳波検査を施行された患者を対象とし、脳波異常の出現率と患者の臨床情報との相関について解析した。脳波異常は通常診療の表示時定数0.3秒の条件で観察される棘波、鋭波、徐波とともに、表示時定数2秒で観察可能な緩電位も解析対象とした。

(3) 上記(2)で脳波異常を認めた患者のうち研究参加の同意を得られた6名を対象として、脳波と機能的MRI同時記録(EEG-fMRI)検査を行った。これにより、片麻痺性片頭痛患者でみられた脳波異常の出現と関連して脳血流変化を示す脳部位を、脳深部を含めて検出し、片麻痺性片頭痛の病態との関連を考察することとした。

4. 研究成果

(1) 144名が解析対象となった。平均年齢は 41.7 ± 15.3 歳、うち男性20名、女性124名、前兆のある片頭痛39名、前兆のない片頭痛105名であった。FDSは58名、FSDSは38名で認めた。FSDSは女性において男性より有意に出現を認め($p = 0.022$)、FSDSは片頭痛病態の男女での違いと関連する可能性が示唆された。またFSDSは片頭痛家族歴を有する群において、家族歴がない群と比較して有意に出現を認めた(図1、 $p = 0.026$)。以前より遺伝的因子による片頭痛の病態やCSDの感受性への影響が指摘されており、FSDSはこれらを反映する可能性が推察された。

また脳波記録中に片頭痛発作の症候期(予兆期、頭痛期、頭痛後回復期)であった群において、

間欠期(無症候)であった群よりも有意に FSDS の出現を認め (図 2、 $p = 0.035$) FSDS は片頭痛発作中の脳機能の変化や、CSD と関連した活動である可能性が期待された。前兆期に脳波を記録できた症例はいなかった。FSDS は上記の臨床情報との相関は認めなかったが、年齢によって分布部位が異なる傾向があり、40 歳未満で後頭部 ($p = 0.0017$) 40 歳以上で側頭部に出現を認め ($p = 0.0004$) 片頭痛の長期経過による脳機能の変化を表している可能性が考えられた。

本研究に関して、複数の学会で学会発表を行い、国際学術誌に投稿中である。

(2) 片麻痺性片頭痛患者 32 名の脳波を解析し、19 名(59%)で脳波異常が観察されることを見出した。脳波異常の大半は徐波であったが、頭部の両側性あるいは全般性と広い分布を示すことが多く、片麻痺性片頭痛患者では大脳の広範な領域にわたって脳機能異常が存在する可能性が示唆された。さらに、2 名では全般性棘徐波複合を呈し、全般てんかんの病態の共通性を提起する所見と考えられた。以上の成果は第 56 回日本てんかん学会年次学術集会 (2023 年) および第 51 回日本頭痛学会年次学術集会で報告した。また、現在、国際学術誌に投稿のために論文を執筆中である。

(3) 研究 2 で脳波異常の見られた片麻痺性片頭痛患者のうち 6 名を対象として EEG-fMRI を行った。5 名の患者では全般性または局所性の徐波を呈し、これらの脳波異常出現と関連して、fMRI で前頭葉の活性化が検出され、片麻痺性片頭痛の特徴である運動性前兆との関連性が考慮された。さらに、1 例では全般性棘徐波複合を呈し、fMRI では前頭葉の活性化とともに、楔部、楔前部、後部帯状回などのデフォルトモードネットワークの deactivation が観察された。この fMRI における deactivation 領域は特発性全般てんかんのものと類似しており、病態の共通性が示唆された。以上の成果は第 64 回日本神経学会年次学術集会 (2023 年) で報告した。今後は共同研究者が引継いでデータを蓄積しつつ、さらなる学会発表、論文執筆を進めていく予定である。

上記(1)-(3)の成果に関連した学会発表を多く行ったほか、片頭痛の診断と今後の研究の方向性に関して本邦の脳神経内科領域の学会学術誌(臨床神経学)からの依頼総説を執筆した(文献)。研究期間中に頭皮脳波の徐波をバイオマーカーとして確立する方向性は明確となり、slow EEG に着目した片頭痛臨床・研究の発展の礎を築くことができた。

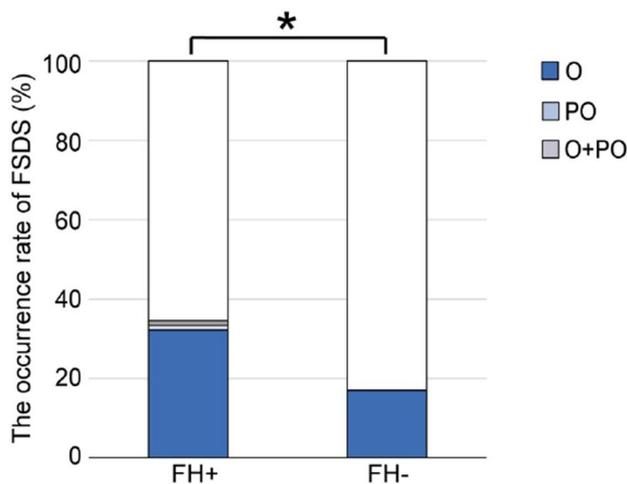


図 1. FSDS の出現率と家族歴との関連
FH+: 家族歴あり、FH- : 家族歴なし
O: 後頭部、PO: 頭頂後頭部

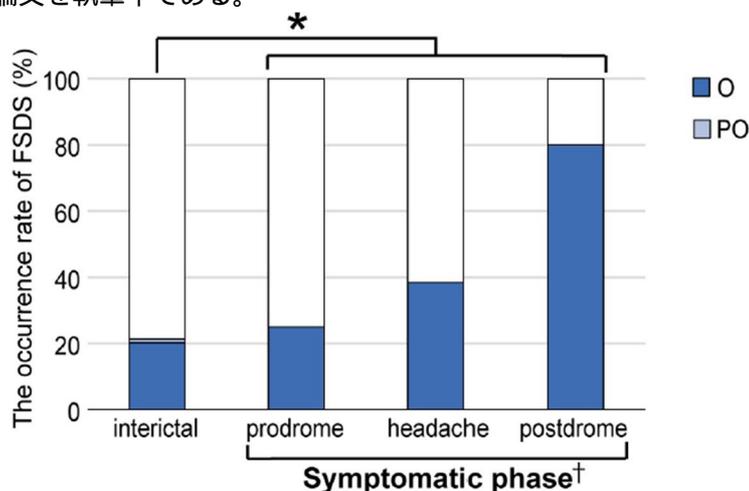


図 2. FSDS の出現率と脳波記録時の片頭痛の状態
interictal: 間欠期(無症候) symptomatic phase (有症候期) prodrome: 予兆期、headache: 頭痛期、postdrome: 頭痛後回復期

<引用文献>

- 池田昭夫. てんかんの病態治療解明の融合的新知見へのアプローチ ~ アストロサイトと細胞外 K ホメオスタシスの破綻, 伝播機構の仮説 ~. 神経治療 2023;40:1-6.
- 池田昭夫. 脳機能と脳波. CLINICAL NEUROSCIENCE 2022;40:408-413.
- 池田昭夫, 宇佐美清英, 團野大介, 竹島多賀夫, 立岡良久. てんかん発作と片頭痛- “Borderland of epilepsy”への再探訪から, 頭皮脳波のinfraslow activity /DC電位解析の臨床実装へ-臨床神経学, 2024 (印刷中)

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計221件（うち査読付論文 179件 / うち国際共著 20件 / うちオープンアクセス 48件）

1. 著者名 Ohtsuki K, Sawada M, Yoshizaki W, Ishimori T, Sawamoto N, Fushimi Y, Toda H	4. 巻 7
2. 論文標題 Quantitative susceptibility mapping and a nonlinearly transformed atlas for targeting the ventral intermediate nucleus of the thalamus in a patient with tremor and thalamic hypertrophy: illustrative case.	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 J Neurosurg Case Lessons	6. 最初と最後の頁 CASE23709
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.3171/CASE23709.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 Miyata J, Sasamoto A, Ezaki T, Isobe M, Kochiyama T, Masuda N, Mori Y, Sakai Y, Sawamoto N, Tei S, Ubukata S, Aso T, Murai T, Takahashi H	4. 巻 in print
2. 論文標題 Associations of conservatism and jumping to conclusions biases with aberrant salience and default mode network.	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Psychiatry Clin Neurosci	6. 最初と最後の頁 in print
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1111/pcn.13652.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 Wakasugi N, Takano H, Abe M, Sawamoto N, Murai T, Mizuno T, Matsuoka T, Yamakuni R, Yabe H, Matsuda H, Hanakawa T	4. 巻 15
2. 論文標題 Parkinson's and Alzheimer's disease Dimensional Neuroimaging Initiative (PADNI). Harmonizing multisite data with the ComBat method for enhanced Parkinson's disease diagnosis via DAT-SPECT.	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Front Neurol	6. 最初と最後の頁 1306546
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.3389/fneur.2024.1306546.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 Matsuoka T, Oya N, Narumoto J, Kitani-Morii F, Niwa F, Mizuno T, Akazawa K, Yamada K, Abe M, Takano H, Wakasugi N, Shima A, Sawamoto N, Ito H, Toda W, Hanakawa T	4. 巻 in print
2. 論文標題 Reduced pineal volume may be associated with amyloid pathology and not with putative Lewy body pathology.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 J Neurol Neurosurg Psychiatry	6. 最初と最後の頁 332252
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1136/jnnp-2023-332252.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Oshima S, Fushimi Y, Miyake KK, Nakajima S, Sakata A, Okuchi S, Hinoda T, Otani S, Numamoto H, Fujimoto K, Shima A, Nambu M, Sawamoto N, Takahashi R, Ueno K, Saga T, Nakamoto Y	4. 巻 41
2. 論文標題 Denoising approach with deep learning-based reconstruction for neuromelanin-sensitive MRI: image quality and diagnostic performance.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Jpn J Radiol	6. 最初と最後の頁 1216-1225
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11604-023-01452-9.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsuoka T, Narumoto J, Morii-Kitani F, Niwa F, Mizuno T, Abe M, Takano H, Wakasugi N, Shima A, Sawamoto N, Ito H, Toda W, Hanakawa T	4. 巻 38
2. 論文標題 Parkinson's and Alzheimer's disease Dimensional Neuroimaging Initiative. Contribution of amyloid and putative Lewy body pathologies in neuropsychiatric symptoms.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Int J Geriatr Psychiatry	6. 最初と最後の頁 e5993
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/gps.5993.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shima A, Inano R, Tabu H, Okada T, Nakamoto Y, Takahashi R, Sawamoto N	4. 巻 4
2. 論文標題 Altered functional connectivity associated with striatal dopamine depletion in Parkinson's disease.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Cereb Cortex Commun	6. 最初と最後の頁 tgad004
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/texcom/tgad004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山尾 幸広, 菊池 隆幸, 松本 理器	4. 巻 51
2. 論文標題 皮質-皮質間誘発電位 (CCEP)	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Neurological Surgery 脳神経外科	6. 最初と最後の頁 430-439
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11477/mf.1436204767	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yuki Takahashi, Naoya Oishi, Yukihiro Yamao, Takeharu Kunieda, Takayuki Kikuchi, Hidenao Fukuyama, Susumu Miyamoto, Yoshiki Arakawa	4. 巻 13
2. 論文標題 Voxel-based clustered imaging by multiparameter diffusion tensor images for predicting the grade and proliferative activity of meningioma	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Brain Behav	6. 最初と最後の頁 e3201
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.3201	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Etsuko Yamamoto Hattori, Yoshiki Arakawa, Yohei Mineharu, Keiko Furukawa, Yukinori Terada, Yukihiro Yamao, Masahiro Tanji, Takayuki Kikuchi, Susumu Miyamoto	4. 巻 23
2. 論文標題 Seizure control by adding on other anti-seizure medication on seizure during levetiracetam administration in patients with glioma-related epilepsy	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 BMC Cancer	6. 最初と最後の頁 849
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12885-023-11273-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kawata M, Yonezawa A, Mineharu Y, Itohara K, Mizota T, Matsui Y, Kikuchi T, Yamao Y, Yamamoto Hattori E, Hamada M, Hira D, Furukawa K, Miyamoto S, Terada T, Matsubara K, Arakawa Y	4. 巻 14
2. 論文標題 Development of extended pharmacokinetic models for propofol based on measured blood and brain concentrations	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 6326
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-024-56863-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Antonio I Triggiani, Kaya Scheman, Sarah Pirio Richardson, Masao Matsuhashi, Elizabeth Peckham, Fatta Nahab, Zoltan Mari, Shashi Ravindran, Mark Hallett	4. 巻 151
2. 論文標題 Physiological and introspective antecedents of tics and movements in adults with tic disorders.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Clinical neurophysiology : official journal of the International Federation of Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 143-150
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2023.03.362	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Masayasu Arihara, Rei Enatsu, Satoko Ochi, Ayaka Sasagawa, Tsukasa Hirano, Tomoyoshi Kuribara, Shoto Yamada, Yusuke Kimura, Masao Matsushashi, Nobuhiro Mikuni	4. 巻 40
2. 論文標題 Steady-State Cortico-Cortical Evoked Potential.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Journal of clinical neurophysiology : official publication of the American Electroencephalographic Society	6. 最初と最後の頁 301-309
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/WNP.0000000000000887	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ogawa A, Koganemaru S, Takahashi T, Takemura Y, Irisawa H, Goto K, Matsushashi M, Mima T, Mizushima T, Kansaku K.	4. 巻 8
2. 論文標題 Swallow-related Brain Activity in Post-total Laryngectomy Patients: A Case Series Study.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Progress in Rehabilitation Medicine	6. 最初と最後の頁 20230026
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2490/prm.20230026	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamaoka T, Takagi Y, Shimomura R, Murata Y, Shimotake K, Itoh A, Mima T, Koganemaru S.	4. 巻 8
2. 論文標題 N-of-1 Trial of Electrical Sensory Stimulation Therapy on the Tibial Innervated Area during Gait in a Case of Post-stroke Sensory Disturbance.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Progress in Rehabilitation Medicine	6. 最初と最後の頁 20230018
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2490/prm.20230018	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nojima I, Horiba M, Sahashi K, Koganemaru S, Murakami S, Aoyama K, Matsukawa N, Ono Y, Mima T, Ueki Y.	4. 巻 94
2. 論文標題 Gait-combined closed-loop brain stimulation can improve walking dynamics in Parkinsonian gait disturbances: a randomised-control trial.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 J Neurol Neurosurg Psychiatry	6. 最初と最後の頁 938-944
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/jnnp-2022-329966	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shimomura R, Shibata S, Koganemaru S, Minakuchi M, Ichimura S, Itoh A, Shimotake K, Mima T.	4. 巻 16
2. 論文標題 Transcranial static magnetic field stimulation (tSMS) can induce functional recovery in patients with subacute stroke.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Brain Stimulation	6. 最初と最後の頁 933-935
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.brs.2023.05.024	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sumiya Shibata, Satoko Koganemaru, Tatsuya Mima	4. 巻 8
2. 論文標題 Non-invasive Brain Stimulation in Post-stroke Dysphagia Rehabilitation: A Narrative Review of Meta-analyses in 2022	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Progress in Rehabilitation Medicine	6. 最初と最後の頁 45301
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2490/prm.20230015	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yukawa Y, Shibata S, Koganemaru S, Minakuchi M, Shimomura R, Nakamura K, Mima T.	4. 巻 9
2. 論文標題 Low-frequency repetitive transcranial magnetic stimulation can alleviate spasticity and induce functional recovery in patients with severe chronic stroke: A prospective, non-controlled, pilot study.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Heliyon	6. 最初と最後の頁 e15564
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.heliyon.2023.e15564	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shima A, Tanaka K, Ogawa A, Omae E, Miyake T, Nagamori Y, Miyata Y, Ohata K, Ono Y, Mima T, Takahashi R, Koganemaru S.	4. 巻 17
2. 論文標題 Case report: Backward gait training combined with gait-synchronized cerebellar transcranial alternating current stimulation in progressive supranuclear palsy.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Frontiers in Human Neuroscience	6. 最初と最後の頁 1082555
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2023.1082555	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shima A, Miyake T, Tanaka K, Ogawa A, Omae E, Nagamori Y, Miyata Y, Ohata K, Maki T, Ono Y, Mima T, Takahashi R, Koganemaru S.	4. 巻 17
2. 論文標題 Case report: A novel approach of closed-loop brain stimulation combined with robot gait training in post-stroke gait disturbance.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Frontiers in Human Neuroscience	6. 最初と最後の頁 1082556
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2023.1082556	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中村大和, 宇佐美清英, 谷口智彦, 中島沙恵子, 加来洋, 高橋良輔	4. 巻 64
2. 論文標題 神経症状が先行し, 上肢に出現した非典型的な皮疹から診断し得た皮膚動脈炎による血管炎性ニューロパチーの一例	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 臨床神経学	6. 最初と最後の頁 33-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5692/clinicalneuroi.cn-001912	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 戸島 麻耶, 大井 和起, 山中 治郎, 岡田 直, Shamima Sultana, 松橋 眞生, 池田 昭夫	4. 巻 51
2. 論文標題 コロナ禍が促進した脳波所見会のWeb開催 アンケート結果による評価と今後のあり方	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 臨床神経学生理学	6. 最初と最後の頁 629-636
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11422/jscn.51.629	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 戸島 麻耶, 大井 和起, 山中 治郎, 岡田 直, Shamima Sultana, 松橋 眞生, 池田 昭夫	4. 巻 51
2. 論文標題 "コロナ禍が促進した脳波所見会のWeb開催 アンケート結果による評価と今後のあり方"	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 臨床神経学生理学	6. 最初と最後の頁 629-636
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11422/jscn.51.629	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 細川 恭子, 大井 和起, 人見 健文, 三枝 隆博, 中川 朋一, 池田 昭夫	4. 巻 64
2. 論文標題 Epstein-Barreウイルス脳炎後に間欠的に「不思議の国のアリス症候群」を生じ, てんかん発作との鑑別を要した成人例.	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 臨床神経学	6. 最初と最後の頁 100-104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5692/clinicalneuro1.cn-001906	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 立岡 悠, 安達 智美, 河村 祐貴, 高橋 良輔, 池田 昭夫	4. 巻 51
2. 論文標題 前頭極部主体の徐波と眼球運動アーチファクトの鑑別における眼電図の重要性	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 臨床神経学生理学	6. 最初と最後の頁 658-660
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11422/jscn.51.658	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 梶川 駿介, 松橋 眞生, 池田 昭夫	4. 巻 52
2. 論文標題 時定数 (Time constant: TC) 2秒でもslow shiftsが記録できる状況の臨床汎用的な考察 交流増幅器を用いた低周波成分の記録に関する誤解と留意点	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 臨床神経学生理学	6. 最初と最後の頁 112-118
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11422/jscn.52.112	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Maya Tojima, Katsuya Kobayashi, Takefumi Hitomi, Haruka Ishibashi, Daisuke Yoshii, Makoto Sainouchi, Takashi Ayaki, Akihiro Shimotake, Kiyohide Usami, Takakuni Maki, Akiyoshi Kakita, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda	4. 巻 25
2. 論文標題 A super-elderly autopsy case of benign adult familial myoclonus epilepsy with a heterozygous mutation	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Epileptic Disord	6. 最初と最後の頁 110-113
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/epd2.20043.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mitsumasa Fukuda, Maya Tojima, Kenji Inoue, Hideaki Mashimo, Hirofumi Kashii, Satoko Kumada, Kiyohide Usami, Akio Ikeda	4. 巻 25
2. 論文標題 Focal tonic seizures with asymmetrical posturing could allow voluntary movements: a lesson to not be misled for a non-epileptic event.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Epileptic Disord	6. 最初と最後の頁 416-421
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/epd2.20047.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Haruka Ishibashi, Katsuya Kobayashi, Maya Tojima, Shuichiro Neshige, Takefumi Hitomi, Hiroyuki Ishiura, Shoji Tsuji, Hirofumi Maruyama, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda	4. 巻 11
2. 論文標題 Clinical diagnostic criteria of benign adult familial myoclonus epilepsy type 1 are highly concordant with genetic testing	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Neurol Clin Neurosci	6. 最初と最後の頁 140-145
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/epd2.20043.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Raffaele Dubbioso, Antonio Suppa, Marina A J Tijssen, Akio Ikeda	4. 巻 64
2. 論文標題 Familial adult myoclonus epilepsy: Neurophysiological investigations	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 S39-S46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/epi.17553	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Eiro T, Miyazaki T, Hatano M, Nakajima W, Arisawa T, Takada Y, KimuraK, Sano A, Nakano K, Mihara T, Takayama Y, Ikegaya N, Iwasaki M, Hishimoto A, Noda Y, Miyazaki T, Uchida H, Tani H, Nagai N, Koizumi T, Nakajima S, Mimura M, Matsuda N, Kanai K, Takahashi K, Ito H, Hirano Y, Kimura Y, Matsumoto R, Ikeda A, Takahashi T	4. 巻 4
2. 論文標題 Dynamics of AMPA receptors regulate epileptogenesis in patients with epilepsy.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Cell Rep Med	6. 最初と最後の頁 101020
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.xcrm.2023.101020.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Beatriz G Giraldez, Jose M Serratosa, Salvatore Striano, Akio Ikeda, Pasquale Striano, Antonietta Coppola	4. 巻 64
2. 論文標題 Familial adult myoclonus epilepsy: Clinical findings, disease course, and comorbidities	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 S9-S13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/epi.17595.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Natsuko Togawa, Masahiro Mitsuhashi, Hirofumi Yamashita, Sachiko Minamiguchi, Yoshiki Arakawa, Takashi Ayaki, Akira Kuzuya, Akio Ikeda, Ryosuke Takahashi	4. 巻 11
2. 論文標題 A case of adult onset diffuse midline glioma diagnosed by histone H3K27M immunostaining after death, which required differentiation from brainstem encephalitis and myelitis.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Neurol Clin Neurosci	6. 最初と最後の頁 239-241
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Siming Chen, Toshiki Fukasawa, Akio Ikeda, Masato Takeuchi, Akihiro Shimotake, Satomi Yoshida, Koji Kawakami	4. 巻 9
2. 論文標題 Adherence to and persistence with lacosamide, perampanel, lamotrigine, and levetiracetam in adult patients with focal epilepsy in Japan: A descriptive cohort study using a claims database.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Heliyon	6. 最初と最後の頁 e15017
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.heliyon.2023.e15017.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Masato Kinboshi, Saki Shimizu, Kentaro Tokudome, Tomoji Mashimo, Tadao Serikawa, Hidefumi Ito, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda, Yukihiro Ohno	4. 巻 9
2. 論文標題 Imbalance of glutamatergic and GABAergic neurotransmission in audiogenic seizure-susceptible Leucine-rich glioma-inactivated 1(Lgi1)-mutant rats	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Heliyon	6. 最初と最後の頁 e17984
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.heliyon.2023.e17984	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fukuma K, Tojima M, Tanaka T, Kobayashi K, Kajikawa S, Shimotake A, Kamogawa N, Ikeda S, Ishiyama H, Abe S, Morita Y, Nakaoku Y, Ogata S, Nishimura K, Koga M, Toyoda K, Matsumoto R, Takahashi R, Ikeda A, Ihara M	4. 巻 64
2. 論文標題 Periodic discharges plus fast activity on electroencephalogram predict worse outcomes in poststroke epilepsy	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 3279-3293
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/epi.17760	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Masaki Izumi, Katsuya Kobayashi, Shunsuke Kajikawa, Kyoko Kanazawa, Kyoko Kanazawa, Yutaro Takayama, Keiya Iijima, Masaki Iwasaki, Yoji Okahara, Yasuo Iwadata, Akio Ikeda	4. 巻 64
2. 論文標題 Focal ictal direct current shifts by a time constant of 2 seconds were clinically useful for resective epilepsy surgery.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 3294-3306.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/epi.17782	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sakiho Ueda, Akira Kuzuya, Masayoshi Kawata, Kohei Okawa, Chika Honjo, Takafumi Wada, Mizuki Matumoto, Kazuya Goto, Masakazu Miyamoto, Atsushi Yonezawa, Yasuto Tanabe, Akio Ikeda, Ayae Kinoshita, Ryosuke Takahashi	4. 巻 37
2. 論文標題 Acute inhibition of AMPA receptors by perampanel reduces amyloid β -protein levels by suppressing β -cleavage of APP in Alzheimer's disease models	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 FASEB J	6. 最初と最後の頁 e23252
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1096/fj.202300837R	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tojima M, Shimotake A, Neshige S, Okada T, Kobayashi K, Usami K, Matsuhashi M, Honda M, Takeyama H, Hitomi T, Yoshida T, Yokoyama A, Fushimi Y, Ueno T, Yamao Y, Kikuchi T, Namiki T, Arakawa Y, Takahashi R, Ikeda A	4. 巻 in print
2. 論文標題 Specific consistency score for rational selection of epilepsy resection surgery candidates	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/epi.17945	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Christopher R Cox, Timothy T Rogers, Akihiro Shimotake, Takayuki Kikuchi, Takeharu Kunieda, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Riki Matsumoto, Akio Ikeda, Matthew A Lambon Ralph	4. 巻 2
2. 論文標題 Representational similarity learning reveals a graded multidimensional semantic space in the human anterior temporal cortex	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Imaging Neuroscience	6. 最初と最後の頁 45313
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1162/imag_a_00093	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 T Tanaka, K Fukuma, S Abe, S Matsubara, S Ikeda, N Kamogawa, H Ishiyama, S Hosoki, K Kobayashi, A Shimotake, Y Nakaoku, S Ogata, KNishimura, M Koga, K Toyoda, R Matsumoto, R Takahashi, A Ikeda, M Ihara	4. 巻 93
2. 論文標題 Association of Cortical Superficial Siderosis with Post-Stroke Epilepsy.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Annals of Neurology	6. 最初と最後の頁 357-370
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ana.26497	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 T Tanaka, M Ihara, K Fukuma, NK Mishra, M Koepp, A Guekht, A Ikeda	4. 巻 102
2. 論文標題 Pathophysiology, Diagnosis, Prognosis, and Prevention of Poststroke Epilepsy: Clinical and Research Implications	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Neurology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1212/WNL.000000000209450.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 池田昭夫, 重藤寛史	4. 巻 51
2. 論文標題 日本で疾患概念が確立されたBAFME : 遺伝子解明後の新たなミステリーの解明へ	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 臨床神経生理学	6. 最初と最後の頁 41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11422/jscn.51.41	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 戸島 麻耶, 小林 勝哉, 人見 健文, 宇佐美 清英, 音成 秀一郎, 松橋 眞生, 池田 昭夫	4. 巻 51
2. 論文標題 BAFMEの臨床神経生理学的新規バイオマーカー	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 臨床神経生理学	6. 最初と最後の頁 51-56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11422/jscn.51.51	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 音成 秀一郎, 人見 健文, 戸島 麻耶, 小林 勝哉, 石浦 浩之, 池田 昭夫	4. 巻 51
2. 論文標題 BAFMEでの皮質興奮性における経時的進行の変性機構の解明：分子遺伝子学的・電気生理学的検討	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 臨床神経生理学	6. 最初と最後の頁 62-66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11422/jscn.51.62	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林勝哉, 池田昭夫	4. 巻 75
2. 論文標題 ミオクロームス, 舞踏運動, パリズム	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 BRAIN and NERVE	6. 最初と最後の頁 45-58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池田昭夫	4. 巻 40
2. 論文標題 年次学術集会と学会誌の役割とあり方の変化	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 てんかん研究	6. 最初と最後の頁 517-518
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3805/jjes.40.517	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池田昭夫	4. 巻 40
2. 論文標題 てんかんの病態治療解明の融合的新知見へのアプローチ ~アストロサイトと細胞外K ホメオスタシスの破綻, 伝播機構の仮説~	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 神経治療	6. 最初と最後の頁 611-616
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池田昭夫	4. 巻 12
2. 論文標題 知っておきたい高齢者のてんかん	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 月間茶の間	6. 最初と最後の頁 68-69
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池田昭夫、川合健介、梅本里美	4. 巻 17
2. 論文標題 WHO のてんかん決議 2022 年5 月のWHO 総会のIGAP決議を受けて	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Epilepsy	6. 最初と最後の頁 87-99
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池田昭夫	4. 巻 51
2. 論文標題 臨床からのアプローチの凄み：随意運動と運動異常の中枢制御、特集「柴崎浩先生業績記念」	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 臨床神経生理学	6. 最初と最後の頁 697-703
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11422/jscn.51.697	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 音成秀一郎、松橋眞生、小林勝哉、菊池隆幸、池田昭夫	4. 巻 52
2. 論文標題 運動準備電位の過去、現在、未来：波形発見から時間周波数解析を用いた運動関連脳機能マッピング	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 臨床神経生理学	6. 最初と最後の頁 53-61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 十川純平、池田昭夫	4. 巻 18
2. 論文標題 デジタルフィルタとwide-band EEG、耳慣れない用語解説	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Epilepsy	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池田昭夫、宇佐美清英、團野大介、竹島多賀夫、立岡良久	4. 巻 in print
2. 論文標題 てんかん発作と片頭痛? “Borderland of epilepsy” への再探訪から、頭皮脳波のinfraslow activity /DC電位解析の臨床実装へ	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 臨床神経学	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kawamura Y, Kobayashi K, Tojima M, Yamao Y, Usami K, Shimotake A, Kikuchi T, Matsuhashi M, Yoshida K, Takahashi R, Ikeda A:	4. 巻 51
2. 論文標題 A Case Presentation of MRI-Negative Left Parietal Lobe Epilepsy: MEG helped us define the area to be resected.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 臨床神経生理学	6. 最初と最後の頁 161-165
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11422/jscn.51.161	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi K, Ikeda A	4. 巻 in print
2. 論文標題 Important for Electrode Implantation and Interpretation of Stereoelectroencephalography, Neurologia medico-chirurgica	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Neurologia medico-chirurgica	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Jingwei Gao, Tomotsugu Seki, Kiyohide Usami, Di Fan, Akio Ikeda, Koji Kawakami	4. 巻 129
2. 論文標題 Complications associated with the use of enzyme-inducing and non-enzyme-inducing anti-seizure medications in the Japanese population: A retrospective cohort study	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Epilepsy & Behavior	6. 最初と最後の頁 108610-108610
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.yebeh.2022.108610	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kiyohide Usami, Riki Matsumoto, Anna Korzeniewska, Akihiro Shimotake, Masao Matsuhashi, Takuro Nakae, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Ryosuke Takahashi, Nathan E Crone, Akio Ikeda	4. 巻 33
2. 論文標題 The dynamics of cortical interactions in visual recognition of object category: living versus nonliving	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Cerebral Cortex	6. 最初と最後の頁 bhac456
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhac456	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Masaya Togo, Riki Matsumoto, Kiyohide Usami, Katsuya Kobayashi, Hirofumi Takeyama, Takuro Nakae, Akihiro Shimotake, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Masao Matsuhashi, Takeharu Kunieda, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda	4. 巻 263
2. 論文標題 Distinct connectivity patterns in human medial parietal cortices: evidence from standardized connectivity map using cortico-cortical evoked potential	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Neuroimage	6. 最初と最後の頁 119639-119639
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2022.119639	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Masaya Ueda, Kiyohide Usami, Yukihiko Yamao, Rie Yamawaki, Chinatsu Umaba, Nan Liang, Manabu Nankaku, Yohei Mineharu, Masayuki Honda, Takefumi Hitomi, Ryosuke Ikeguchi, Akio Ikeda, Susumu Miyamoto, Shuichi Matsuda, Yoshiki Arakawa	4. 巻 12
2. 論文標題 Correlation between brain functional connectivity and neurocognitive function in patients with left frontal glioma	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 18302
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-022-22493-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hirofumi Takeyama, Riki Matsumoto, Kiyohide Usami, Takuro Nakae, Akihiro Shimotake, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda	4. 巻 4
2. 論文標題 Secondary motor areas for response inhibition: an epicortical recording and stimulation study	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Brain Commun	6. 最初と最後の頁 fcac204
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/braincomms/fcac204	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 謝 策, 宇佐美 清英, 渡邊 真, 江川 斉宏, 河村 祐貴, 白波瀬 勇人, 池田 昭夫, 高橋 良輔	4. 巻 34
2. 論文標題 虚血性心疾患が疑われ救急搬送されたが, たこつぼ型心筋症を併発したてんかん発作と判明した1例	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Japan Society of Neurological Emergencies & Critical Care	6. 最初と最後の頁 80-84
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11170/jjsnecc.34.2_80	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 細川 恭子, 宇佐美 清英, 池田 昭夫	4. 巻 16
2. 論文標題 体外離脱体験 (out-of-body experience) とてんかん発作, 片頭痛	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 てんかんの総合学術誌 Epilepsy	6. 最初と最後の頁 31-36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mitsuhiro Sakamoto, Riki Matsumoto, Akihiro Shimotake, Jumpei Togawa, Hirohumi Takeyama, Katsuya Kobayashi, Frank Leypoldt, Klaus-Peter Wandinger, Takayuki Kondo, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda	4. 巻 13
2. 論文標題 Diagnostic value of an algorithm for autoimmune epilepsy in a retrospective cohort	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Frontiers of neurology	6. 最初と最後の頁 902157
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fneur.2022.902157	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kazuki Fukuma, Tomotaka Tanaka, Shigetoshi Takaya, Maya Tojima, Katsuya Kobayashi, Akihiro Shimotake, Yoshiaki Morita, Kunihiro Nishimura, Masatoshi Koga, Kazunori Toyoda, Riki Matsumoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda, Masafumi Ihara	4. 巻 13
2. 論文標題 Developing an Asymmetry Method for Detecting Postictal Hyperperfusion in Poststroke Epilepsy	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Frontiers of neurology	6. 最初と最後の頁 877386
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fneur.2022.877386	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kazuki Fukuma, Shunhei Ikeda, Tomotaka Tanaka, Naruhiko Kamogawa, Hiroyuki Ishiyama, Soichiro Abe, Maya Tojima, Katsuya Kobayashi, Akihiro Shimotake, Yuriko Nakaoku, Kunihiro Nishimura, Masatoshi Koga, Kazunori Toyoda, Riki Matsumoto, Akio Ikeda, Masafumi Ihara	4. 巻 63
2. 論文標題 Clinical and imaging features of nonmotor onset seizure in poststroke epilepsy	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 2068-2080
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/epi.17308	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hajime Yoshimura, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda, Masafumi Ihara et al.	4. 巻 99
2. 論文標題 Impact of Seizure Recurrence on 1-Year Functional Outcome and Mortality in Patients With Poststroke Epilepsy	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Neurology	6. 最初と最後の頁 e376-e384
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1212/WNL.0000000000200609	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mitsuyoshi Nakatani, Morito Inouchi, Masako Daifu-Kobayashi, Tomohiko Murai, Jumpei Togawa, Shunsuke Kajikawa, Katsuya Kobayashi, Takefumi Hitomi, Takeharu Kunieda, Satoka Hashimoto, Motoki Inaji, Hiroshi Shirozu, Kyoko Kanazawa, Masaki Iwasaki, Naotaka Usui, Yushi Inoue, Taketoshi Maehara, Akio Ikeda	4. 巻 4
2. 論文標題 Ictal direct current shifts contribute to defining the core ictal focus in epilepsy surgery	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Brain Communications	6. 最初と最後の頁 fcac222
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/braincomms/fcac222	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林勝哉, Juan Bulacio, Dileep R Nair, Jorge Gonzalez-Martinez, 松本理器	4. 巻 50
2. 論文標題 てんかん外科における定位的頭蓋内脳波 (SEEG) の有用性	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 No Shinkei Geka	6. 最初と最後の頁 1101-1117
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11477/mf.1436204672	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 尾谷 真弓, 松橋 眞生, 池田 昭夫, 宮本 享, 高橋 良輔	4. 巻 62
2. 論文標題 激しい運動亢進発作の為に安全面から硬膜外電極留置術が極めて有用であった難治性前頭葉てんかんの1例	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 臨床神経学	6. 最初と最後の頁 130-134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5692/clinicalneuro1.cn-001634	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宇佐美 清英, 赤松 直樹, 飯村 康司, 井内 盛遠, 今村 久司, 榎 日出夫, 木下 真幸子, 國井 尚人, 小林 勝弘, 小林 勝哉, 酒田 あゆみ, 重藤 寛史, 下竹 昭寛, 神 一敬, 菅野 秀宣, 田中 章浩, 千葉 茂, 寺田 清人, 飛松 省三, 夏目 淳, 原 恵子, 人見 健文, 本多 正幸, 前原 建寿, 松本 理器, 三枝 隆博, 矢部 博興, 山野 光彦, 池田 昭夫	4. 巻 50
2. 論文標題 臨床脳波の諸問題に関する情報共有と提言 脳波セミナー・アドバンスコース小委員会レポート	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 臨床神経生理学	6. 最初と最後の頁 107-112
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11422/jscn.50.107	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Jumpei Togawa, Riki Matsumoto, Kiyohide Usami, Masao Matsuhashi, Morito Inouchi, Katsuya Kobayashi, Takefumi Hitomi, Takuro Nakae, Akihiro Shimotake, Yukihiro Yamao, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda	4. 巻 33
2. 論文標題 Enhanced phase-amplitude coupling of human electrocorticography selectively in the posterior cortical region during rapid eye movement sleep	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Cerebral cortex	6. 最初と最後の頁 486_496
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhac079	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Bayasgalan B, Matsuhashi M, Fumuro T, Nakano N, Katagiri Shimotake A, Kikuchi T, Iida I, Kunieda T, Kato A, Takahashi R, Ikeda A, Inui K	4. 巻 25
2. 論文標題 Neural Sources of Vagus Nerve Stimulation-Induced Slow Cortical Potentials	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Neuromodulation	6. 最初と最後の頁 407-413
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neurom.2022.01.009	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Soichiro Abe, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda, Masafumi Ihara et al.	4. 巻 4
2. 論文標題 Interictal epileptiform discharges as a predictive biomarker for recurrence of poststroke epilepsy	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Brain Communications	6. 最初と最後の頁 fcac312
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/braincomms/fcac312	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kawasaki Toshinari, Kikuchi Takayuki, Otani Katharina, Mitsuno Yuto, Yamao Yukihiro, Sawamoto Nobukatsu, Takahashi Ryosuke, Miyamoto Susumu	4. 巻 164
2. 論文標題 Intraoperative cone-beam CT with metal artifact reduction for assessment of the electrode position and the intracranial structures during deep brain stimulation procedure	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Acta Neurochirurgica	6. 最初と最後の頁 2309 ~ 2316
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00701-022-05313-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 KAWATA Masayoshi, FUKUI Ayaka, MINEHARU Yohei, KIKUCHI Takayuki, YAMAO Yukihiro, YAMAMOTO HATTORI Etsuko, SHIRAKI Atsuko, MIZOTA Toshiyuki, FURUKAWA Keiko, MIYAMOTO Susumu, YONEZAWA Atsushi, ARAKAWA Yoshiki	4. 巻 62
2. 論文標題 A Nationwide Questionnaire Survey on Awake Craniotomy in Japan	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Neurologia medico-chirurgica	6. 最初と最後の頁 278 ~ 285
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2176/jns-nmc.2021-0290	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shima Atsushi, Inano Rika, Tabu Hayato, Okada Tomohisa, Nakamoto Yuji, Takahashi Ryosuke, Sawamoto Nobukatsu	4. 巻 4
2. 論文標題 Altered functional connectivity associated with striatal dopamine depletion in Parkinson's disease	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Cerebral Cortex Communications	6. 最初と最後の頁 tgad004
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/texcom/tgad004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamao Yukihiro, Sawamoto Nobukatsu, Kunieda Takeharu, Inano Rika, Shibata Sumiya, Kikuchi Takayuki, Arakawa Yoshiki, Yoshida Kazumichi, Matsumoto Riki, Ikeda Akio, Takahashi Ryosuke, Fukuyama Hidenao, Miyamoto Susumu	4. 巻 4
2. 論文標題 Changes in Distributed Motor Network Connectivity Correlates With Functional Outcome After Surgical Resection of Brain Tumors	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Neurosurgery Open	6. 最初と最後の頁 e00028
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1227/neuprac.0000000000000028	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishikawa Noriko,, Sawamoto Nobukatsu, Kajiyama Yuta, Ikenaka Kensuke, Kawabata Kazuya, Nakamura Tomohiko, Iwaki Hiroataka, Kadotani Hiroshi, Sumi Yukiyoshi, Inoue Yuichi, Hayashi Toshihiro, Ikeuchi Takeshi, Shimo Yasushi, Mochizuki Hideki, Watanabe Hirohisa, Hattori Nobutaka, Takahashi Yuji, Takahashi Ryosuke	4. 巻 103
2. 論文標題 Idiopathic rapid eye movement sleep behavior disorder in Japan: An observational study	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Parkinsonism & Related Disorders	6. 最初と最後の頁 129 ~ 135
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.parkreldis.2022.08.011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kawasaki Toshinari, Kikuchi Takayuki, Otani Katharina, Mitsuno Yuto, Yamao Yukihiro, Sawamoto Nobukatsu, Takahashi Ryosuke, Miyamoto Susumu	4. 巻 164
2. 論文標題 Intraoperative cone-beam CT with metal artifact reduction for assessment of the electrode position and the intracranial structures during deep brain stimulation procedure	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Acta Neurochirurgica	6. 最初と最後の頁 2309 ~ 2316
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00701-022-05313-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Okada Tomohisa, Fujimoto Koji, Fushimi Yasutaka, Akasaka Thai, Thuy Dinh H. D., Shima Atsushi, Sawamoto Nobukatsu, Oishi Naoya, Zhang Zhilin, Funaki Takeshi, Nakamoto Yuji, Murai Toshiya, Miyamoto Susumu, Takahashi Ryosuke, Isa Tadashi	4. 巻 12
2. 論文標題 Neuroimaging at 7 Tesla: a pictorial narrative review	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Quantitative Imaging in Medicine and Surgery	6. 最初と最後の頁 3406 ~ 3435
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.21037/qims-21-969	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Furukawa Koji, Shima Atsushi, Kambe Daisuke, Nishida Akira, Wada Ikko, Sakamaki Haruhi, Yoshimura Kenji, Terada Yuta, Sakato Yusuke, Mitsuhashi Masahiro, Sawamura Masanori, Nakanishi Etsuro, Taruno Yosuke, Yamakado Hodaka, Fushimi Yasutaka, Okada Tomohisa, Nakamoto Yuji, Takahashi Ryosuke, Sawamoto Nobukatsu	4. 巻 92
2. 論文標題 Motor Progression and Nigrostriatal Neurodegeneration in Parkinson Disease	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Annals of Neurology	6. 最初と最後の頁 110 ~ 121
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ana.26373	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shibata Sumiya, Watanabe Tatsunori, Otsuru Naofumi, Onishi Hideaki, Mima Tatsuya	4. 巻 16
2. 論文標題 Very low-frequency transcranial electrical stimulation over the primary motor area can influence the voluntary movement initiation in humans	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Brain Stimulation	6. 最初と最後の頁 442 ~ 444
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.brs.2023.01.1679	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 美馬達哉	4. 巻 31
2. 論文標題 メタ可塑性	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Clinical Rehabilitation	6. 最初と最後の頁 567-570
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Masayuki Honda, Akihiro Shimotake, Takefumi Hitomi, Akira Kuzuya, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda	4. 巻 9
2. 論文標題 "Eating, Laughing, and Tonic Seizing", that is a Laughter-induced Syncope in Elderly	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Neurology and Clinical Neuroscience	6. 最初と最後の頁 140-142
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/NCN3.12474	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yujing Wang, Anna Korzeniewska, Kiyohide Usami, Alyssandra Valenzuela, Nathan E Crone	4. 巻 31
2. 論文標題 The Dynamics of Language Network Interactions in Lexical Selection: An Intracranial EEG Study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cereb Cortex	6. 最初と最後の頁 2058-2070
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhaa344	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Katsuya Kobayashi, Riki Matsumoto, Kiyohide Usami, Masao Matsuhashi, Akihiro Shimotake, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda	4. 巻 132
2. 論文標題 Cortico-cortical evoked potential by single-pulse electrical stimulation is a generally safe procedure	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Clin Neurophysiol	6. 最初と最後の頁 1033-1040
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2020.12.022	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kazuki Fukuma, Katsufumi Kajimoto, Tomotaka Tanaka, Shigetoshi Takaya, Katsuya Kobayashi, Akihiro Shimotake, Riki Matsumoto, Akio Ikeda, Kazunori Toyoda, Masafumi Ihara	4. 巻 41
2. 論文標題 Visualizing prolonged hyperperfusion in post-stroke epilepsy using postictal subtraction SPECT	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Cereb Blood Flow Metab	6. 最初と最後の頁 146-156
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/0271678X20902742	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上 岳司, 小林 勝哉, 宇佐美 清英, 下竹 昭寛, 井内 盛遠, 酒井 達也, 池田 昭夫, 高橋 良輔	4. 巻 61
2. 論文標題 新規抗てんかん薬でのparadoxical effect : レベチラセタムによる発作抑制効果がUカーブを示した3例の検討	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 臨床神経学	6. 最初と最後の頁 247-252
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5692/clinicalneuroi.cn-001553	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 戸島 麻耶, 小林 勝哉, 池田 昭夫	4. 巻 41
2. 論文標題 2. 進行性ミオクローヌスてんかん	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Prog Med	6. 最初と最後の頁 115-121
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宇佐美 清英	4. 巻 94
2. 論文標題 高齢者てんかんの治療	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 脳神経内科	6. 最初と最後の頁 540-545
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shogo Yazawa, Kazuhito Tsuruta, Akiko Sugimoto, Yukiko Suzuki, Kazuhiro Yagi, Masao Matsuhashi, Michiyoshi Yoshimura, Hiroshi Takashima	4. 巻 204
2. 論文標題 Appearance of bitemporal periodic EEG activity in the last stage of Gerstmann-Strausler-Scheinker syndrome (Pro102Leu): A case report	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Clin Neurol Neurosurg	6. 最初と最後の頁 106602
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clineuro.2021.106602	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Siming Chen, Satomi Yoshida, Riki Matsumoto, Akio Ikeda, Koji Kawakami	4. 巻 169
2. 論文標題 Prescription patterns of antiepileptic drugs for adult patients with newly diagnosed focal epilepsy from 2006 to 2017 in Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Epilepsy Res	6. 最初と最後の頁 106503
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.epilepsyres.2020.106503	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nancy Volkens, Samuel Wiebe, Ali Akbar Asadi Pooya, Ganna Balagura, Patricia Gomez Iglesias, Alla Guekht, Julie Hall, Akio Ikeda, Nathalie Jette, Nirmeen A, Kishk, Peter Murphy, Emilio Perucca, Juan Carlos Perez Poveda, Emmanuel O Sanya, Eugen Trinkka, Dong Zhou, J Helen Cross	4. 巻 6
2. 論文標題 The initial impact of the SARS CoV 2 pandemic on epilepsy research	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Epilepsia Open	6. 最初と最後の頁 255-265
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/epi4.12471	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 松橋 眞生, 池田 昭夫	4. 巻 47
2. 論文標題 てんかんの診断と治療における異分野連携の重要性	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Medical Science Digest	6. 最初と最後の頁 246-249
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yukihiro Yamao, Riki Matsumoto, Takeharu Kunieda, Takuro Nakae, Sei Nishida, Rika Inano, Sumiya Shibata, Takayuki Kikuchi, Yoshiki Arakawa, Kazumichi Yoshida, Akio Ikeda, Susumu Miyamoto	4. 巻 132
2. 論文標題 Effects of propofol on cortico-cortical evoked potentials in the dorsal language white matter pathway	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Clin Neurophysiol	6. 最初と最後の頁 1919-1926
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2021.04.021	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 J Helen Cross, Churl-Su Kwon, Ali Asadi-Pooya, Ganna Balagura, Patricia Gomez Iglesias, Alla Guekht, Julie Hall, Akio Ikeda, Nirmeen Kishk, Peter Murphy, Najib Kissani, Yahya Naji, Emilio Perucca, Juan Carlos Perez Poveda, Emanuel Sanya, Eugen Trinkka, Dong Zhou, Samuel Wiebe, Nathalie Jette	4. 巻 62
2. 論文標題 Epilepsy care during the COVID-19 pandemic	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 2322-2332
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/epi.17045	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 武山 博文, 池田 昭夫	4. 巻 94
2. 論文標題 高齢者てんかんの臨床的特徴	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 脳神経内科	6. 最初と最後の頁 523-527
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Maya Tojima, Takefumi Hitomi, Masao Matsuhashi, Shuichiro Neshige, Kiyohide Usami, Kazuki Oi, Katsuya Kobayashi, Hirofumi Takeyama, Akihiro Shimotake, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda	4. 巻 36
2. 論文標題 A Biomarker for Benign Adult Familial Myoclonus Epilepsy: High-Frequency Activities in Giant Somatosensory Evoked Potentials	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Mov Disord	6. 最初と最後の頁 2335-2345
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/mds.28666	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 本多 正幸, 池田 昭夫	4. 巻 15
2. 論文標題 Extreme delta brush (脳波像について)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Epilepsy	6. 最初と最後の頁 6-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shuichiro Neshige, Takefumi Hitomi, Maya Tojima, Kazuki Oi, Katsuya Kobayashi, Masao Matsuhashi, Akihiro Shimotake, Riki Matsumoto, Masutaro Kanda, Hirofumi Maruyama, Hiroyuki Ishiura, Shoji Tsuji, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda	4. 巻 36
2. 論文標題 A role of aging in the progression of cortical excitability in BAFME1 patients	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Mov Disord	6. 最初と最後の頁 2446-2448
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/mds.28718	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宇佐美 清英	4. 巻 15
2. 論文標題 睡眠によるてんかん原性の変化ー硬膜下電極記録における高周波数帯脳波活動の解析による検討ー	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 睡眠医療	6. 最初と最後の頁 177-181
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Taku Inada, Katsuya Kobayashi, Takayuki Kikuchi, Masao Matsuhashi, Riki Matsumoto, Yuki Takahashi, Takuro Nakae, Sumiya Shibata, Yukihiko Yamao, Masako Daifu, Jumpei Togawa, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Kobayashi K, Akio Ikeda, Susumu Miyamoto	4. 巻 23
2. 論文標題 Effects of a stable concentration of propofol upon interictal high-frequency oscillations in drug-resistant epilepsy	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Epileptic Disord	6. 最初と最後の頁 299-312
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1684/epd.2021.1264	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Naoyuki Sato, Riki Matsumoto, Akihiro Shimotake, Masao Matsuhashi, Mayumi Otani, Takayuki Kikuchi, Takeharu Kunieda, Hiroaki Mizuhara, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda	4. 巻 31
2. 論文標題 Frequency-Dependent Cortical Interactions during Semantic Processing: An Electroencephalogram Cross-spectrum Analysis Using a Semantic Space Model	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cereb Cortex	6. 最初と最後の頁 4329-4339
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhab089	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 真田 悠希, 梶川 駿介, 小林 勝哉, 葛谷 聡, 松本 理器, 池田 昭夫, 高橋 良輔	4. 巻 61
2. 論文標題 発作時カタトニア(ictal catatonia)の1例: てんかん重積の稀な表現型	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 臨床神経学	6. 最初と最後の頁 385-391
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5692/clinicalneuroi.cn-001560	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shunsuke Kajikawa, Masao Matsuhashi, Katsuya Kobayashi, Takefumi Hitomi, Masako Daifu-Kobayashi, Tamaki Kobayashi, Yukihiko Yamao, Takayuki Kikuchi, Takayuki Yoshida, Takeharu Kunieda, Riki Matsumoto, Akiyoshi Kakita, Takao Namiki, Ichiro Tsuda, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda	4. 巻 137
2. 論文標題 Two types of clinical ictal direct current shifts endorsed by waveform property: A cluster analysis	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Clin Neurophysiol	6. 最初と最後の頁 113-121
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2022.02.021	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 細川 恭子, 宇佐美 清英, 團野 大介, 竹島 多賀夫, 立岡 良久, 池田 昭夫	4. 巻 80
2. 論文標題 デジタル脳波時代の片頭痛の再検討と電気生理学的バイオマーカーの検索	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本臨牀	6. 最初と最後の頁 243-248
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shamima Sultana, Takefumi Hitomi, Masako Daifu Kobayashi, Akihiro Shimotake, Masao Matsuhashi, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda	4. 巻 15
2. 論文標題 Long Time Constant May Endorses Sharp Waves and Spikes Than Sharp Transients in Scalp Electroencephalography: A Comparison of Both After-Slow Among Different Time Constant and High-Frequency Activity Analysis	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Front Hum Neurosci	6. 最初と最後の頁 748893
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2021.748893	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Jingwei Gao, Tomotsugu Seki, Kiyohide Usami, Di Fan, Akio Ikeda, Koji Kawakami	4. 巻 129
2. 論文標題 Complications associated with the use of enzyme-inducing and non-enzyme-inducing anti-seizure medications in the Japanese population: A retrospective cohort study	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Epilepsy Behav	6. 最初と最後の頁 108610
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.yebeh.2022.108610	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 尾谷 真弓, 松橋 眞生, 池田 昭夫, 宮本 享, 高橋 良輔	4. 巻 62
2. 論文標題 激しい運動亢進発作の為に安全面から硬膜外電極留置術が極めて有用であった難治性前頭葉てんかんの1例	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 臨床神経学	6. 最初と最後の頁 130-134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5692/clinicalneuroi.cn-001634	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Togawa Jumpei, Matsumoto Riki, Usami Kiyohide, Matsuhashi Masao, Inouchi Morito, Kobayashi Katsuya, Hitomi Takefumi, Nakae Takuro, Shimotake Akihiro, Yamao Yukihiro, Kikuchi Takayuki, Yoshida Kazumichi, Kunieda Takeharu, Miyamoto Susumu, Takahashi Ryosuke, Ikeda Akio	4. 巻 33
2. 論文標題 Enhanced phase-amplitude coupling of human electrocorticography selectively in the posterior cortical region during rapid eye movement sleep	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Cerebral Cortex	6. 最初と最後の頁 486-496
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhac079	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tomotaka Tanaka, Kazuki Fukuma, Soichiro Abe, ... Akio Ikeda, Masafumi Ihara, PROPOSE Study Investigators	4. 巻 11
2. 論文標題 Antiseizure medications for post-stroke epilepsy: A real-world prospective cohort study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Brain Behav	6. 最初と最後の頁 e2330
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.2330	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hajime Yoshimura, Tomotaka Tanaka, Kazuki Fukuma, ... Akio Ikeda, Masafumi Ihara	4. 巻 26
2. 論文標題 Impact of seizure recurrence on one-year functional outcome and mortality in patients with post-stroke epilepsy	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Neurology	6. 最初と最後の頁 e376-e384
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1212/WNL.0000000000200609	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yushi Inoue, Shin-Ichiro Hamano, Masaharu Hayashi, Hiroshi Sakuma, Shinichi Hirose, Atsushi Ishii, Ryoko Honda, Akio Ikeda, et al.	4. 巻 24
2. 論文標題 Burden of seizures and comorbidities in patients with epilepsy: a survey based on the tertiary hospital-based Epilepsy Syndrome Registry in Japan	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Epileptic Disord	6. 最初と最後の頁 82-94
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1684/epd.2021.1361	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Akio Ikeda	4. 巻 21
2. 論文標題 Epilepsy research in 2021: multidisciplinary achievements	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Lancet Neurol	6. 最初と最後の頁 8月10日
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/S1474-4422(21)00421-X	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Timothy T Rogers, Christopher R Cox, Qihong Lu, Akihiro Shimotake, Takayuki Kikuchi, Takeharu Kunieda, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda, Riki Matsumoto, Matthew A Lambon Ralph	4. 巻 10
2. 論文標題 Evidence for a deep, distributed and dynamic code for animacy in human ventral anterior temporal cortex	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Elife	6. 最初と最後の頁 e66276
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7554/eLife.66276	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Maya Tojima, Shuichiro Neshige, Takefumi Hitomi, Masao Matsuhashi, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda	4. 巻 132
2. 論文標題 Marked response to perampanel: A decade-long course of giant somatosensory evoked potentials in Unverricht-Lundborg disease	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Clin Neurophysiol	6. 最初と最後の頁 2329-2331
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2021.07.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sandor Beniczky, Aatif Husain, Akio Ikeda, Haifa Alabri, J Helen Cross, Jo Wilmschurst, Margitta Seeck, Niels Focke, Patricia Braga, Samuel Wiebe, Stephan Schuele, Eugen Trinka	4. 巻 132
2. 論文標題 Importance of access to epilepsy monitoring units during the COVID-19 pandemic: Consensus statement of the International League against epilepsy and the International Federation of Clinical Neurophysiology	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Clin Neurophysiol	6. 最初と最後の頁 2248-2250
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2021.05.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Shinsaku Yoshitomi, Shin-Ichiro Hamano, Masaharu Hayashi, Hiroshi Sakuma, Shinichi Hirose, Atsushi Ishii, Ryoko Honda, Akio Ikeda, et al.	4. 巻 23
2. 論文標題 Current medico-psycho-social conditions of patients with West syndrome in Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Epileptic Disord	6. 最初と最後の頁 579-589
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1684/epd.2021.1301	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sandor Beniczky, Aatif Husain, Akio Ikeda, Haifa Alabri, J Helen Cross, Jo Wilmschurst, Margitta Seeck, Niels Focke, Patricia Braga, Samuel Wiebe, Stephan Schuele, Eugen Trinkla	4. 巻 23
2. 論文標題 Importance of access to epilepsy monitoring units during the COVID-19 pandemic: consensus statement of the International League Against Epilepsy and the International Federation of Clinical Neurophysiology	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Epileptic Disord	6. 最初と最後の頁 533-536
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1684/epd.2021.1292	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 細川 恭子, 宇佐美 清英, 梶川 駿介, 下竹 昭寛, 立岡 良久, 池田 昭夫, 高橋 良輔	4. 巻 61
2. 論文標題 体外離脱体験と多彩な視覚症状を呈し、部分てんかん発作との鑑別を要した片頭痛患者の一例	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 臨床神経学	6. 最初と最後の頁 530-536
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5692/clinicalneuroi.cn-001577	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池田 昭夫, 小林 勝弘	4. 巻 49
2. 論文標題 特集にあたって	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 臨床神経生理学	6. 最初と最後の頁 139-140
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11422/jscn.49.139	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Satoko Koganemaru, Fumiya Mizuno, Toshimitsu Takahashi, Yuu Takemura, Hiroshi Irisawa, Masao Matsuhashi, Tatsuya Mima, Takashi Mizushima, Kenji Kansaku	4. 巻 15
2. 論文標題 Event-Related Desynchronization and Corticomuscular Coherence Observed During Volitional Swallow by Electroencephalography Recordings in Humans	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Front Hum Neurosci	6. 最初と最後の頁 643454
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2021.643454	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mark Hallett, Lourdes M DeRosso, Rodger Elble, Raffaele Ferri, Fay B Horak, Stephan Lehericy, Martina Mancini, Masao Matsuhashi, Riki Matsumoto, Muthuraman Muthuraman, Jan Raethjen, Hiroshi Shibasaki]	4. 巻 132
2. 論文標題 Evaluation of movement and brain activity	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Clin Neurophysiol	6. 最初と最後の頁 2608-2638
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2021.04.023	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Oka Makio, Kobayashi Katsuhiko, Shibata Takashi, Tsuchiya Hiroki, Hanaoka Yoshiyuki, Akiyama Mari, Morooka Teruko, Matsuhashi Masao, Akiyama Tomoyuki	4. 巻 43
2. 論文標題 A study on the relationship between non-epileptic fast (40-200 Hz) oscillations in scalp EEG and development in children	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Brain and Development	6. 最初と最後の頁 904 ~ 911
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.braindev.2021.05.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hidekazu Saito, Shogo Yazawa, Jun Shinozaki, Takashi Murahara, Hideaki Shiraishi, Masao Matsuhashi, Takashi Nagamine	4. 巻 359
2. 論文標題 Appraisal of definition of baseline length for somatosensory evoked magnetic fields	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Neurosci Methods	6. 最初と最後の頁 109213
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jneumeth.2021.109213	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shogo Yazawa, Kazuhito Tsuruta, Akiko Sugimoto, Yukiko Suzuki, Kazuhiro Yagi, Masao Matsuhashi, Michiyoshi Yoshimura, Hiroshi Takashima	4. 巻 204
2. 論文標題 Appearance of bitemporal periodic EEG activity in the last stage of Gerstmann-Straussler-Scheinker syndrome (Pro102Leu): A case report	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Clin Neurol Neurosurg	6. 最初と最後の頁 106602
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clineuro.2021.106602	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 芝田 純也,美馬 達哉	4. 巻 47(5)
2. 論文標題 脳律動操作による脳機能介入 - tACS の基礎と応用 -	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Medical Science Digest	6. 最初と最後の頁 250-253
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 芝田 純也,美馬 達哉	4. 巻 -
2. 論文標題 Transcranial static magnetic stimulation (tSMS) の基礎と応用	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Annual Review 神経2021	6. 最初と最後の頁 1-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 芝田 純也,美馬 達哉	4. 巻 39(7)
2. 論文標題 tSMS	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 CLINICAL NEUROSCIENCE	6. 最初と最後の頁 900-902
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中 武也,佐藤 岳史,岩根 隆宏,杉江 加代子,谷 杏平,川瀬 智隆,江藤 謹司,堀口 聡士,小室 太郎,美 達哉	4. 巻 50(2)
2. 論文標題 経頭蓋的直流電気刺激が脳卒中後慢性疼痛に有効であった症例の集積	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 総合リハビリテーション	6. 最初と最後の頁 185-188
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11477/mf.1552202429	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ogawa A, Koganemaru S, Takahashi T, Takemura Y, Irisawa H, Matsuhashi M, Mima T, Mizushima T, & Kansaku K	4. 巻 16
2. 論文標題 Case Report: Event-Related Desynchronization Observed During Volitional Swallow by Electroencephalography Recordings in ALS Patients with Dysphagia.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Frontiers in Behavioral Neuroscience	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnbeh.2022.798375	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nojima I, Sugata H, Takeuchi H, & Mima T.	4. 巻 36(2)
2. 論文標題 Brain-Computer Interface Training Based on Brain Activity Can Induce Motor Recovery in Patients With Stroke: A Meta-Analysis.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Neurorehabilitation and Neural Repair	6. 最初と最後の頁 83-96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/15459683211062895	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Gyoda T, Nojima I, Lin Su-C, Koganemaru S, Mima T, Tanabe S, & Huang Ying-Zu	4. 巻 488
2. 論文標題 Strengthening the GABAergic System Through Neurofeedback Training Suppresses Implicit Motor Learning.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Neuroscience	6. 最初と最後の頁 112?121
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2022.02.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hamada M, Matsubayashi J, Tanaka K, Furuya M, Matsuhashi M, Mima T, Fukuyama H, Mitani A	4. 巻 32
2. 論文標題 People with High Empathy Show Increased Cortical Activity Around the Left Medial Parieto-Occipital Sulcus after Watching Social Interaction of On-screen Characters.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Cerebral Cortex	6. 最初と最後の頁 3581-3601
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhab435	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Watanabe T, Kubo N, Chen X, Yunoki K, Matsumoto T, Kuwabara T, Sunagawa T, Date S, Mima T & Kirimoto H	4. 巻 11(4)
2. 論文標題 Null effect of transcranial static magnetic field stimulation over the dorsolateral prefrontal cortex on behavioral performance in a go/nogo task.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Brain Sciences	6. 最初と最後の頁 483
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/brainsci11040483	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Koganemaru S, Mizuno F, Takahashi T, Takemura Y, Irisawa H, Matsuhashi M, Mima T, Mizushima T & Kansaku K	4. 巻 15
2. 論文標題 Event-Related Desynchronization and Corticomuscular Coherence Observed During Volitional Swallow by Electroencephalography Recordings in Humans.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Frontiers in Human Neuroscience	6. 最初と最後の頁 643454
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2021.643454	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsubara T, Ahlfors S.P, Mima T, Hagiwara K, Shigeto H, Tobimatsu S, Goto Y & Stuf?ebeam S	4. 巻 12
2. 論文標題 Bilateral Representation of Sensorimotor Responses in Benign Adult Familial Myoclonus Epilepsy: An MEG Study.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Frontiers in Neurology	6. 最初と最後の頁 759866
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fneur.2021.759866	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tonomura T, Satow T, Hyuga Y & Mima T	4. 巻 14 (6)
2. 論文標題 Use of transcranial direct current stimulation in poststroke postural imbalance.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 BMJ Case Report	6. 最初と最後の頁 243212
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/bcr-2021-243212	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shibata S, Watanabe T, Yukawa Y, Minakuchi M, Shimomura R, Ichimura S, Kirimoto H & Mima, T	4. 巻 11(1)
2. 論文標題 Effects of transcranial static magnetic stimulation over the primary motor cortex on local and network spontaneous electroencephalogram oscillations.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Scientific Reports,	6. 最初と最後の頁 8261
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-021-87746-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Chen X, Watanabe T, Kubo N, Yunoki K, Matsumoto T, Kuwabara T, Sunagawa T, Date S, Mima T & Kirimoto H.	4. 巻 11(6)
2. 論文標題 Transient modulation of working memory performance and event-related potentials by transcranial static magnetic field stimulation over the dorsolateral prefrontal cortex	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Brain Sciences	6. 最初と最後の頁 739
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/brainsci11060739	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Watanabe T, Mima T, Shibata S & Kirimoto H	4. 巻 235
2. 論文標題 Midfrontal theta as moderator between beta oscillations and precision control	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 NeuroImage	6. 最初と最後の頁 118022
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2021.118022	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakajima T, Sankai Y, Takata S, Kobayashi Y, Mima T, et al.	4. 巻 16
2. 論文標題 Cybernic treatment with wearable cyborg Hybrid Assistive Limb (HAL) improves ambulatory function in patients with slowly progressive rare neuromuscular diseases?: a multicentre , randomised , controlled crossover trial for efficacy and safety (NCY-30)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Orphanet Journal of Rare Diseases	6. 最初と最後の頁 304
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13023-021-01928-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamao Y, Matsumoto R	4. 巻 133
2. 論文標題 Intraoperative cortico-cortical evoked potentials for monitoring the arcuate fasciculus: Feasible under general anesthesia?	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Clinical neurophysiology	6. 最初と最後の頁 175-176
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2021.07.033	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mizota T, Hamada M, Shiraki A, Kikuchi T, Mineharu Y, Yamao Y, Hattori EY, Yonezawa A, Furukawa K, Arakawa Y.	4. 巻 89
2. 論文標題 Factors associated with somnolence during brain function mapping in awake craniotomy	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of clinical neuroscience	6. 最初と最後の頁 349-353
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jocn.2021.05.050	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamawaki R, Nankaku M, Umaba C, Ueda M, Liang N, Mineharu Y, Yamao Y, Ikeguchi R, Matsuda S, Miyamoto S, Arakawa Y.	4. 巻 208
2. 論文標題 Assessment of neurocognitive function in association with WHO grades in gliomas	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Clinical neurology and neurosurgery	6. 最初と最後の頁 106824
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clineuro.2021.106824	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Umaba C, Mineharu Y, Liang N, Mizota T, Yamawaki R, Ueda M, Yamao Y, Nankaku M, Miyamoto S, Matsuda S, Inadomi H, Arakawa Y.	4. 巻 12
2. 論文標題 Intraoperative hand strength as an indicator of consciousness during awake craniotomy: a prospective, observational study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Scientific reports	6. 最初と最後の頁 216
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-021-04026-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kawata M, Fukui A, Mineharu Y, Kikuchi T, Yamao Y, Yamamoto Hattori E, Shiraki A, Mizota T, Furukawa K, Miyamoto S, Yonezawa A, Arakawa Y.	4. 巻 62
2. 論文標題 A Nationwide Questionnaire Survey on Awake Craniotomy in Japan.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Neurol Med Chir (Tokyo)	6. 最初と最後の頁 278-285
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2176/jns-nmc.2021-0290	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 NAKAJIMA Yusuke, KAMBE Daisuke, TODA Hiroki, NISHIDA Namiko, NAGAO Shigeto, SAWAMOTO Nobukatsu, OKUMURA Ryosuke, OZAKI Akihiko, IWASAKI Koichi	4. 巻 8
2. 論文標題 Thalamic Deep Brain Stimulation for Refractory Atypical Tremor after Encephalitis of Unknown Etiology: A Case Report	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 NMC Case Report Journal	6. 最初と最後の頁 247 ~ 252
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2176/nmccrj.cr.2020-0245	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Okada Tomohisa, Handa Shinya, Ding Bill, Urayama Shin ichi, Fujimoto Koji, Shima Atsushi, Yoshii Daisuke, Ayaki Takashi, Sawamoto Nobukatsu, Takahashi Ryosuke, Onoe Hiroataka, Isa Tadashi, Petropoulos Labros	4. 巻 87
2. 論文標題 Insertable inductively coupled volumetric coils for MR microscopy in a human 7T MR system	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Magnetic Resonance in Medicine	6. 最初と最後の頁 1613 ~ 1620
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/mrm.29062	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Inoue Yutaka, Ayaki Takashi, Ishimoto Tomoyuki, Yamakado Hodaka, Maki Takakuni, Matsuzawa Shuichi, Sawamoto Nobukatsu, Takahashi Ryosuke	4. 巻 757
2. 論文標題 The stimulator of interferon genes (STING) pathway is upregulated in striatal astrocytes of patients with multiple system atrophy	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Neuroscience Letters	6. 最初と最後の頁 135972 ~ 135972
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neulet.2021.135972	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Suzuki Mizue, Fushimi Yasutaka, Okada Tomohisa, Hinoda Takuya, Nakamoto Ryusuke, Arakawa Yoshiki, Sawamoto Nobukatsu, Togashi Kaori, Nakamoto Yuji	4. 巻 39
2. 論文標題 Quantitative and qualitative evaluation of sequential PET/MRI using a newly developed mobile PET system for brain imaging	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Radiology	6. 最初と最後の頁 669-680
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11604-021-01105-9	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宇佐美 清英, 池田 昭夫	4. 巻 26
2. 論文標題 てんかん 長期処方自体の薬物療法を支える薬剤師になるための慢性疾患治療薬の使い分けと患者モニタリング	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 調剤と薬局	6. 最初と最後の頁 244-249
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Katsuya Kobayashi, Riki Matsumoto, Kiyohide Usami, Masao Matsuhashi, Akihiro Shimotake, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda	4. 巻 132
2. 論文標題 Cortico-cortical evoked potential by single-pulse electrical stimulation is a generally safe procedure	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Clin Neurophysiol	6. 最初と最後の頁 1033-1040
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2020.12.022	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takeshi Inoue, Katsuya Kobayashi, Riki Matsumoto, Morito Inouchi, Masaya Togo, Jumpei Togawa, Kiyohide Usami, Akihiro Shimotake, Masao Matsuhashi, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Hisashi Kawawaki, Nobukatsu Sawamoto, Takeharu Kunieda, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda	4. 巻 131
2. 論文標題 Engagement of cortico-cortical and cortico-subcortical networks in a patient with epileptic spasms: An integrated neurophysiological study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Clin Neurophysiol	6. 最初と最後の頁 2255-2264
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2020.04.167	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上 岳司, 小林 勝哉, 宇佐美 清英, 下竹 昭寛, 井内 盛遠, 酒井 達也, 池田 昭夫, 高橋 良輔	4. 巻 61
2. 論文標題 新規抗てんかん薬でのparadoxical effect : レベチラセタムによる発作抑制効果がUカーブを示した3例の検討	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 臨床神経	6. 最初と最後の頁 247-252
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宇佐美 清英	4. 巻 94
2. 論文標題 高齢者てんかんの治療	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 脳神経内科	6. 最初と最後の頁 540-545
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Inoue T, Kobayashi K, Matsumoto R, Inouchi M, Togo M, Togawa J, Usami K, Shimotake A, Matsuhashi M, Kikuchi T, Yoshida K, Kawawaki H, Sawamoto N, Kunieda T, Miyamoto S, Takahashi R, Ikeda A.	4. 巻 131
2. 論文標題 Engagement of cortico-cortical and cortico-subcortical networks in a patient with epileptic spasms: An integrated neurophysiological study.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Clin Neurophysiol.	6. 最初と最後の頁 2255-2264
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2020.04.167.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Masayuki Honda, Akihiro Shimotake, Takefumi Hitomi, Akira Kuzuya, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda	4. 巻 9
2. 論文標題 Eating, Laughing, and Tonic Seizing”, that is a Laughter-induced Syncope in Elderly	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Neurology and Clinical Neuroscience	6. 最初と最後の頁 140-142
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/NCN3.12474	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 塚本 剛士, 梶川 駿介, 人見 健文, 舟木 健史, 漆谷 真, 高橋 良輔, 池田 昭夫	4. 巻 60
2. 論文標題 急性外傷性脳損傷後に時定数2秒の頭皮上脳波で皮質拡散脱分極(cortical spreading depolarizations; CSD)が記録された1例	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 臨床神経	6. 最初と最後の頁 473-478
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5692/clinicalneuro1.60.cn-001421	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 梶川 駿介, 池田 昭夫	4. 巻 93
2. 論文標題 難治性てんかんにおけるグリアの役割とwide-band EEG	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 脳神経内科	6. 最初と最後の頁 447-455
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 戸島 麻耶, 人見 健文, 池田 昭夫	4. 巻 93
2. 論文標題 良性成人型家族性ミオクローヌステんかんのミオクローヌスの起源	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 脳神経内科	6. 最初と最後の頁 291-297
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 林 梢, 井上 岳司, 九鬼 一郎, 碓井 太雄, 池田 昭夫, 神田 益太郎	4. 巻 60
2. 論文標題 神経調節性失神に伴うけいれん性失神(convulsive syncope)と特発性全般てんかんに伴う全般強直間代発作(convulsive seizure)の並存・移行と判断された1例	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 臨床神経	6. 最初と最後の頁 627-630
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5692/clinicalneuro1.cn-001451	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池田 昭夫, 松橋 眞生	4. 巻 14
2. 論文標題 てんかんをめぐるアート 「てんかんをめぐるアート展：作品集(英語版)」より	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Epilepsy	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松橋 眞生	4. 巻 38
2. 論文標題 AIと脳神経内科の将来	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Clinical Neuroscience	6. 最初と最後の頁 1372-1374
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大井 和起, 人見 健文, 池田昭夫	4. 巻 23
2. 論文標題 特集 興奮性アミノ酸の臨床精神薬理学, 興奮性アミノ酸受容体を介した抗てんかん薬の作用メカニズム	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 臨床精神薬理	6. 最初と最後の頁 799-809
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tomohiko Murai, Takefumi Hitomi, Masao Matsushashi, Riki Matsumoto, Yuki Kawamura, Masutaro Kanda, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda	4. 巻 37
2. 論文標題 Scalp EEG Could Record Both Ictal Direct Current Shift and High-Frequency Oscillation Together Even With a Time Constant of 2 Seconds	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Clin Neurophysiol	6. 最初と最後の頁 191-194
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/WNP.0000000000000670	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 人見 健文, 池田 昭夫	4. 巻 14
2. 論文標題 わが国での脳波の遠隔診断	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Epilepsy	6. 最初と最後の頁 97-101
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yujing Wang, Anna Korzeniewska, Kiyohide Usami, Alyssandra Valenzuela, Nathan E Crone	4. 巻 31
2. 論文標題 The Dynamics of Language Network Interactions in Lexical Selection: An Intracranial EEG Study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cereb Cortex	6. 最初と最後の頁 2058-2070
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhaa344	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宇佐美 清英, 池田 昭夫	4. 巻 26
2. 論文標題 てんかん 長期処方自体の薬物療法を支える薬剤師になるための慢性疾患治療薬の使い分けと患者モニタリング	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 調剤と薬局	6. 最初と最後の頁 244-249
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Taku Inada, Katsuya Kobayashi, Takayuki Kikuchi, Masao Matsushashi, Riki Matsumoto, Yuki Takahashi, Takuro Nakae, Sumiya Shibata, Yukihiro Yamao, Masako Daifu, Jumpei Togawa, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Kobayashi K, Akio Ikeda, Susumu Miyamoto	4. 巻 23
2. 論文標題 Effects of a stable concentration of propofol upon interictal high-frequency oscillations in drug-resistant epilepsy	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Epileptic Disord	6. 最初と最後の頁 299-312
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mitsuyoshi Nakatani, Riki Matsumoto, Katsuya Kobayashi, Takefumi Hitomi, Morito Inouchi, Masao Matsuhashi, Masako Kinoshita, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Nobutaka Hattori, Akio Ikeda	4. 巻 131
2. 論文標題 Electrical Cortical Stimulations Modulate Spike and Post-Spike Slow-Related High-Frequency Activities in Human Epileptic Foci	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Clin Neurophysiol	6. 最初と最後の頁 1741-1754
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2020.03.042	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takuro Nakae, Riki Matsumoto, Takeharu Kunieda, Yoshiaki Arakawa, Katsuya Kobayashi, Akihiro Shimotake, Yukihiro Yamao, Takayuki Kikuchi, Toshihiko Aso, Masao Matsuhashi, Kazumichi Yoshida, Akio Ikeda, Ryosuke Takahashi, Matthew A Lambon Ralph, Susumu Miyamoto	4. 巻 30
2. 論文標題 Connectivity Gradient in the Human Left Inferior Frontal Gyrus: Intraoperative Cortico-Cortical Evoked Potential Study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cereb Cortex	6. 最初と最後の頁 4633-4650
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhaa065	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kazuki Fukuma, Katsufumi Kajimoto, Tomotaka Tanaka, Shigetoshi Takaya, Katsuya Kobayashi, Akihiro Shimotake, Riki Matsumoto, Akio Ikeda, Kazunori Toyoda, Masafumi Ihara	4. 巻 41
2. 論文標題 Visualizing prolonged hyperperfusion in post-stroke epilepsy using postictal subtraction SPECT	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Cereb Blood Flow Metab	6. 最初と最後の頁 146-156
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/0271678X20902742	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上 岳司, 小林 勝哉, 宇佐美 清英, 下竹 昭寛, 井内 盛遠, 酒井 達也, 池田 昭夫, 高橋 良輔	4. 巻 61
2. 論文標題 新規抗てんかん薬でのparadoxical effect : レベチラセタムによる発作抑制効果がUカーブを示した3例の検討	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 臨床神経	6. 最初と最後の頁 247-252
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5692/clinicalneuroi.cn-001553	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 戸島 麻耶, 小林 勝哉, 池田 昭夫	4. 巻 41
2. 論文標題 2. 進行性ミオクローヌスてんかん	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Prog Med	6. 最初と最後の頁 115-121
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shogo Yazawa, Kazuhito Tsuruta, Akiko Sugimoto, Yukiko Suzuki, Kazuhiro Yagi, Masao Matsuhashi, Michiyoshi Yoshimura, Hiroshi Takashima	4. 巻 204
2. 論文標題 Appearance of bitemporal periodic EEG activity in the last stage of Gerstmann-Straussler-Scheinker syndrome (Pro102Leu): A case report	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Clin Neurol Neurosurg	6. 最初と最後の頁 106602
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clineuro.2021.106602	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sarah Pirio Richardson, Antonio I Triggiani, Masao Matsuhashi, Valerie Voon, Elizabeth Peckham, Fatta Nahab, Zoltan Mari, Mark Hallett	4. 巻 14
2. 論文標題 Timing of the Sense of Volition in Patients With Schizophrenia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Front Neurosci	6. 最初と最後の頁 574472
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnins.2020.574472	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Akinori Miyakoshi, Takeshi Funaki, Yasutaka Fushimi, Takuro Nakae, Masakazu Okawa, Takayuki Kikuchi, Hiroharu Kataoka, Kazumichi Yoshida, Yohei Mineharu, Masao Matsuhashi, Eiji Nakatani, Susumu Miyamoto	4. 巻 41
2. 論文標題 Cortical Distribution of Fragile Periventricular Anastomatic Collateral Vessels in Moyamoya Disease: An Exploratory Cross-Sectional Study of Japanese Patients with Moyamoya Disease	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 AJNR Am J Neuroradiol	6. 最初と最後の頁 2243-2249
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3174/ajnr.A6861	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ryosuke Kitatani, Satoko Koganemaru, Ayaka Maeda, Yusuke Mikami, Masao Matsuhashi, Tatsuya Mima, Shigehito Yamada	4. 巻 52
2. 論文標題 Gait-combined transcranial alternating current stimulation modulates cortical control of muscle activities during gait	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Eur J Neurosci	6. 最初と最後の頁 4791-4802
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ejn.14919	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kenji Yoshinaga, Masao Matsuhashi, Tatsuya Mima, Hidenao Fukuyama, Ryosuke Takahashi, Takashi Hanakawa, Akio Ikeda	4. 巻 14
2. 論文標題 Comparison of Phase Synchronization Measures for Identifying Stimulus-Induced Functional Connectivity in Human Magnetoencephalographic and Simulated Data	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Front Neurosci	6. 最初と最後の頁 648
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnins.2020.00648	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hiroki Tsuchiya, Fumika Endoh, Tomoyuki Akiyama, Masao Matsuhashi, Katsuhiro Kobayashi	4. 巻 42
2. 論文標題 Longitudinal correspondence of epilepsy and scalp EEG fast (40-200 Hz) oscillations in pediatric patients with tuberous sclerosis complex	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Brain Dev	6. 最初と最後の頁 663-674
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.braindev.2020.06.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hitoshi Maezawa, Satoko Koganemaru, Masao Matsuhashi, Masayuki Hirata, Makoto Funahashi, Tatsuya Mima	4. 巻 156
2. 論文標題 Entrainment of chewing rhythm by gait speed during treadmill walking in humans	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neurosci Res	6. 最初と最後の頁 88-94
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2020.02.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Satoko Koganemaru, Yusuke Mikami, Masao Matsuhashi, Dennis Q Truong, Marom Bikson, Kenji Kansaku, Tatsuya Mima	4. 巻 156
2. 論文標題 Cerebellar transcranial alternating current stimulation modulates human gait rhythm	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neurosci Res	6. 最初と最後の頁 265-270
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2019.12.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ryosuke Kitatani, Satoko Koganemaru, Ayaka Maeda, Yusuke Mikami, Masao Matsuhashi, Tatsuya Mima, Shigehito Yamada	4. 巻 156
2. 論文標題 Gait-synchronized oscillatory brain stimulation modulates common neural drives to ankle muscles in patients after stroke: A pilot study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neurosci Res	6. 最初と最後の頁 256-264
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2019.11.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Akio Ikeda, Hirofumi Takeyama, Christophe Bernard, Mitsuyoshi Nakatani, Akihiro Shimotake, Masako Daifu, Masao Matsuhashi, Takayuki Kikuchi, Takeharu Kunieda, Riki Matsumoto, Tamaki Kobayashi, Kazuaki Sato	4. 巻 156
2. 論文標題 Active direct current (DC) shifts and "Red slow": two new concepts for seizure mechanisms and identification of the epileptogenic zone	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neurosci Res	6. 最初と最後の頁 95-101
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2020.01.014	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Takao Namiki, Ichiro Tsuda, Satoru Tadokoro, Shunsuke Kajikawa, Takeharu Kunieda, Riki Matsumoto, Masao Matsuhashi, Akio Ikeda	4. 巻 156
2. 論文標題 Mathematical structures for epilepsy: High-frequency oscillation and interictal epileptic slow (red slow)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neurosci Res	6. 最初と最後の頁 178-187
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2019.11.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yukako Nakagami, Genichi Sugihara, Noriyuki Nakashima, Masaaki Hazama, Shuraku Son, Shuhe Ma, Riki Matsumoto, Toshiya Murai, Akio Ikeda, Kosaku Murakami	4. 巻 10
2. 論文標題 Anti-PDHA1 antibody is detected in a subset of patients with schizophrenia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 7906
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-63776-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Masato Kinboshi, Akio Ikeda, Yukihiro Ohno	4. 巻 11
2. 論文標題 Role of Astrocytic Inwardly Rectifying Potassium (Kir) 4.1 Channels in Epileptogenesis	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Front Neurol	6. 最初と最後の頁 626658
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fneur.2020.626658	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Maria Luisa Saggio, Dakota Crisp, Jared M Scott, Philippa Karoly, Levin Kuhlmann, Mitsuyoshi Nakatani, Tomohiko Murai, Matthias D?mpelmann, Andreas Schulze-Bonhage, Akio Ikeda, Mark Cook, Stephen V Gliske, Jack Lin, Christophe Bernard, Viktor Jirsa, William C Stacey	4. 巻 9
2. 論文標題 A taxonomy of seizure dynamotypes	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Elife	6. 最初と最後の頁 e55632
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7554/eLife.55632	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Siming Chen, Satomi Yoshida, Riki Matsumoto, Akio Ikeda, Koji Kawakami	4. 巻 169
2. 論文標題 Prescription patterns of antiepileptic drugs for adult patients with newly diagnosed focal epilepsy from 2006 to 2017 in Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Epilepsy Res	6. 最初と最後の頁 106503
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.epilepsyres.2020.106503	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Jong-Hyeon Seo, Ichiro Tsuda, Young Ju Lee, Akio Ikeda, Masao Matsuhashi, Riki Matsumoto, Takayuki Kikuchi, Hunseok Kang	4. 巻 8
2. 論文標題 Pattern Recognition in Epileptic EEG Signals via Dynamic Mode Decomposition	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Mathematics	6. 最初と最後の頁 481
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/math8040481	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nancy Volkens, Samuel Wiebe, Ali Akbar Asadi Pooya, Ganna Balagura, Patricia Gomez Iglesias, Alla Guekht, Julie Hall, Akio Ikeda, Nathalie Jett?, Nirmeen A, Kishk, Peter Murphy, Emilio Perucca, Juan Carlos Perez Poveda, Emmanuel O Sanya, Eugen Trinkka, Dong Zhou, J Helen Cross	4. 巻 6
2. 論文標題 The initial impact of the SARS CoV 2 pandemic on epilepsy research	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Epilepsia Open	6. 最初と最後の頁 255-265
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/epi4.12471	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 松橋 眞生, 池田 昭夫	4. 巻 47
2. 論文標題 てんかんの診断と治療における異分野連携の重要性	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Medical Science Digest	6. 最初と最後の頁 246-249
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yukihiro Yamao, Takeharu Kunieda, Takuro Nakae, Sei Nishida, Rika Inano, Sumiya Shibata, Takayuki Kikuchi, Yoshiki Arakawa, Kazumichi Yoshida, Akio Ikeda, Susumu Miyamoto, Riki Matsumoto	4. 巻 132
2. 論文標題 Effect of propofol on cortico-cortical evoked potentials: findings of intraoperative dorsal language pathway monitoring	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Clin Neurophysiol	6. 最初と最後の頁 1919-1926
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2021.04.021	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 J Helen Cross, Churl-Su Kwon, Ali Asadi-Pooya, Ganna Balagura, Patricia Gomez Iglesias, Alla Guekht, Julie Hall, Akio Ikeda, Nirmeen Kishk, Peter Murphy, Najib Kissani, Yahya Naji, Emilio Perucca, Juan Carlos Perez Poveda, Emanuel Sanya, Eugen Trinkka, Dong Zhou, Samuel Wiebe, Nathalie Jette	4. 巻 62
2. 論文標題 Epilepsy care during the COVID-19 pandemic	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 2322-2332
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/epi.17045	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 武山 博文, 池田 昭夫	4. 巻 94
2. 論文標題 高齢者てんかんの臨床的特徴	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 脳神経内科	6. 最初と最後の頁 523-527
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Murai T, Hitomi T, Matsuhashi M, Matsumoto R, Kawamura Y, Kanda M, Takahashi R, Ikeda A.	4. 巻 37
2. 論文標題 Scalp EEG Could Record Both Ictal DC Shift and HFO Together Even With a Time Constant of 2 Seconds.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Clin Neurophysiol.	6. 最初と最後の頁 191-194
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/WNP.0000000000000670.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takamatsu, Y., Koganemaru, S., Watanabe, T., Shibata, S., Yukawa, Y., Minakuchi, M., Shimomura, R., & *Mima, T.	4. 巻 11
2. 論文標題 Transcranial static magnetic stimulation over the motor cortex can facilitate the contralateral cortical excitability in human.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 5370
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-021-84823-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nojima, I., Suwa, Y., Sugiura, H., Noguchi, T., Tanabe, S., Mima, T., & *Watanabe, T.	4. 巻 71
2. 論文標題 Smaller muscle mass is associated with increase in EMG?EMG coherence of the leg muscle during unipedal stance in elderly adults.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Human Movement Science	6. 最初と最後の頁 102614
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.humov.2020.102614	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 *Maezawa, H., Koganemaru, S., Matsuhashi, M., Hirata, M., Funahashi, M., & Mima, T.	4. 巻 156
2. 論文標題 Entrainment of chewing rhythm by gait speed during treadmill walking in humans.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neuroscience Research	6. 最初と最後の頁 88-94
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2020.02.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 *Watanabe, T., Nojima, I., Mima, T., Sugiura, H., & Kirimoto, H.	4. 巻 220
2. 論文標題 Magnification of visual feedback modulates corticomuscular and intermuscular coherences differently in young and elderly adults.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 NeuroImage	6. 最初と最後の頁 117089
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2020.117089	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nambu, A., Tsuda, I., & Mima, T	4. 巻 156
2. 論文標題 Oscillology: Nonlinear Neural Oscillations.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neuroscience Research	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2020.05.007	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kitatani, R., Koganemaru, S., Maeda, A., Mikami, Y., Matsushashi, M., Mima, T., & *Yamada, S.	4. 巻 52
2. 論文標題 Gait-combined transcranial alternating current stimulation modulates cortical control of muscle activities during gait.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 European Journal of Neuroscience	6. 最初と最後の頁 4791-4802
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ejn.14919	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kirimoto, H., Watanabe, T., Kubo, N., Date, S., Sunagawa, T., Mima, T., Ogata, K., Nakazono, H., Tobimatsu, S., & Oliviero, A.	4. 巻 10
2. 論文標題 Influence of static magnetic field stimulation on the accuracy of tachystoscopically presented line bisection.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Brain Sci.	6. 最初と最後の頁 1006
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/brainsci10121006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Suzuki M, Fushimi Y, Okada T, Hinoda T, Nakamoto R, Arakawa Y, Sawamoto N, Togashi K, Nakamoto Y.	4. 巻 39
2. 論文標題 Quantitative and qualitative evaluation of sequential PET/MRI using a newly developed mobile PET system for brain imaging.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Jpn J Radiol.	6. 最初と最後の頁 669-680
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11604-021-01105-9.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Oshima S, Fushimi Y, Okada T, Nakajima S, Yokota Y, Shima A, Grinstead J, Ahn S, Sawamoto N, Takahashi R, Nakamoto Y.	4. 巻 36
2. 論文標題 Neuromelanin-Sensitive Magnetic Resonance Imaging Using DANTE Pulse.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Mov Disord.	6. 最初と最後の頁 874-882
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/mds.28417.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamamoto J, Omura T, Kasamo S, Yamamoto S, Kawata M, Yonezawa A, Taruno Y, Endo H, Aizawa H, Sawamoto N, Matsubara K, Takahashi R, Tasaki Y.	4. 巻 128
2. 論文標題 Impact of the catechol-O-methyltransferase Val158Met polymorphism on the pharmacokinetics of L-dopa and its metabolite 3-O-methyldopa in combination with entacapone.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Neural Transm (Vienna).	6. 最初と最後の頁 27-36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00702-020-02267-y.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Wicaksono KP, Fushimi Y, Nakajima S, Yokota Y, Oshima S, Otani S, Sakurama A, Shima A, Sawamoto N, Okada T, Nakamoto Y.	4. 巻 56
2. 論文標題 Two-Minute Quantitative Susceptibility Mapping From Three-Dimensional Echo-Planar Imaging: Accuracy, Reliability, and Detection Performance in Patients With Cerebral Microbleeds.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Invest Radiol.	6. 最初と最後の頁 69-77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/RLI.0000000000000708.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Oshima S, Fushimi Y, Okada T, Takakura K, Liu C, Yokota Y, Arakawa Y, Sawamoto N, Miyamoto S, Togashi K.	4. 巻 294
2. 論文標題 Brain MRI with Quantitative Susceptibility Mapping: Relationship to CT Attenuation Values.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Radiology.	6. 最初と最後の頁 600-609
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1148/radiol.2019182934.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fujimoto R, Nishino I, Urushitani M, Mimori T, Takahashi R.	4. 巻 61
2. 論文標題 Thigh muscle MRI findings in myopathy associated with anti-mitochondrial antibody.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Muscle Nerve.	6. 最初と最後の頁 81-87
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/mus.26731.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yukihiro Yamao, Riki Matsumoto, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Susumu Miyamoto	4. 巻 15
2. 論文標題 Intraoperative Brain Mapping by Cortico-Cortical Evoked Potential.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Frontier in Human Neuroscience	6. 最初と最後の頁 635453
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2021.635453	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sumiya Shibata, Yukihiro Yamao, Takeharu Kunieda, Rika Inano, Takuro Nakae, Sei Nishida, Taku Inada, Yuki Takahashi, Takayuki Kikuchi, Yoshiki Arakawa, Kazumichi Yoshida, Riki Matsumoto, Akio Ikeda, Tatsuya Mima, Susumu Miyamoto	4. 巻 138
2. 論文標題 Intraoperative Electrophysiologic Mapping of Medial Frontal Motor Areas and Functional Outcomes	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 World Neurosurgery	6. 最初と最後の頁 389-404
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.wneu.2020.02.129	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Atsuko Shiraki, Wataru Goto, Hiroshi Fukagawa, Yoshiki Arakawa, Takayuki Kikuchi, Yohei Mineharu, Yukihiro Yamao, Takayuki Yasuda, Etsuko Hattori, Ayaka Fukui, Yoshihiro Matsui, Atsushi Yonezawa, Keiko Furukawa, Toshiyuki Mizota	4. 巻 64
2. 論文標題 Effects of low-dose remifentanyl infusion on analgesic or antiemetic requirement during brain function mapping: A retrospective cohort study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Acta Anaesthesiologica Scandinavica	6. 最初と最後の頁 735-741
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/aas.13554	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 十河 正弥, 井内 盛遠, 松本 理器, 澤本 伸克, 池田 昭夫, 高橋 良輔	4. 巻 60
2. 論文標題 橋病変が脱力発作と半側顔面けいれん発作に関与したと診断した難治てんかん発作の1例	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 臨床神経	6. 最初と最後の頁 362-266
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5692/clinicalneuroi.cn-001368	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 千葉 智哉, 遠見 名見子, 音成 秀一郎, 高田 和城, 池田 昭夫, 高橋 良輔, 横江 勝	4. 巻 60
2. 論文標題 一過性てんかん性健忘の発作時脳波記録:非ヘルペス性辺縁系脳炎に出現した 1 例	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 臨床神経	6. 最初と最後の頁 446-451
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5692/clinicalneuro1.60.cn-001414	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 齋藤 和幸, 大井 和起, 稲葉 彰, 小林 正樹, 池田 昭夫, 和田 義明	4. 巻 61
2. 論文標題 長期経過で持続したLance-Adams症候群の重症ミオクローヌスにペランパネルが奏効した1例	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 臨床神経	6. 最初と最後の頁 18-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5692/clinicalneuro1.cn-001477	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山内 秀雄, 池田 昭夫	4. 巻 36
2. 論文標題 てんかん診療の多様性と均てん化, 特集1てんかん診療連携の現状と課題	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 精神科	6. 最初と最後の頁 471-477
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中谷 光良, 池田 昭夫	4. 巻 72
2. 論文標題 グリア・ニューロンから見る, ヒト脳における部分てんかん発作の発振現象, 増大特集 脳の発振現象?基礎から臨床へ	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BRAIN and NERVE	6. 最初と最後の頁 1207-1221
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 行木 孝夫, 津田 一郎, 池田 昭夫	4. 巻 14
2. 論文標題 研究集会「てんかんの数学的研究」開催報告	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Epilepsy	6. 最初と最後の頁 111-117
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計355件 (うち招待講演 106件 / うち国際学会 60件)

1. 発表者名 山尾幸広、松本理器、山田大輔、中江卓郎、菊池隆幸、澤本伸克、荒川芳輝
2. 発表標題 術中CCEPを用いたfrontal aslant tractの皮質終点路の検索
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第82回学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 山尾幸広、松本理器、菊池隆幸、國枝武治、荒川芳輝
2. 発表標題 術中皮質 - 皮質間誘発電位 (CCEP) を用いた脳機能モニタリング
3. 学会等名 日本臨床神経生理学会第53回学術大会 (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 山尾幸広、山田大輔、菊池隆幸、宮本享、荒川芳輝
2. 発表標題 髄膜腫手術における予防的抗てんかん薬の効果
3. 学会等名 第56回てんかん学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 山尾幸広、松本理器、山田大輔、中江卓郎、菊池隆幸、澤本伸克、荒川芳輝
2. 発表標題 術中CCEPを用いたfrontal aslant tractの皮質終点路の検索
3. 学会等名 第47回てんかん外科学会（招待講演）
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 Erika Omae, Atsushi Shima, Kazuki Tanaka, Akari Ogawa, Masako Yamada, Cao Yedi, Mima Tatsuya, Tadashi Isa, Satoko Koganemaru.
2. 発表標題 A novel approach using neurofeedback learning to enhance cerebellar brain inhibition in spinocerebellar degeneration patients.
3. 学会等名 Neuroscience2023
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 中村 大和, 谷口 智彦, 宇佐美 清英, 石田 雄大, 加来 洋, 中島 沙恵子, 小林 勝哉, 綾木 孝, 高橋 良輔
2. 発表標題 神経症状が目立ち非典型的な皮疹から診断に至った血管炎性ニューロパチーの一例
3. 学会等名 日本神経学会第124回近畿地方会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 宇佐美清英
2. 発表標題 マルチモーダルな検査・解析技術を駆使したヒト脳内ネットワーク解明の試み, 奨励賞受賞記念講演
3. 学会等名 第53回日本臨床神経生理学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 宇佐美清英
2. 発表標題 神経科学における頭蓋内電極の強みとこれからの課題, シンポジウム7 頭蓋内電極を用いた脳機能の探索
3. 学会等名 第53回日本臨床神経生理学会学術大会 (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 宇佐美清英
2. 発表標題 異常脳波解釈, 教育講演14
3. 学会等名 第53回日本臨床神経生理学会学術大会 (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 Neurophysiology, Multidisciplinary achievements in epilepsy research
3. 学会等名 4th International Taiwanese Congress of Neurology (ITCN) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 Wide-band EEG: a mysterious and very useful technique
3. 学会等名 ASEPA Workshop (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 EEG and electrophysiological monitoring, Basic and wide-band EEG
3. 学会等名 The 13th Advanced International Course: Clinical Epileptology, (13th AICCE) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 Implementation of research beyond academia-industry collaboration, Special Interest Group International academia-industry collaboration: implementation of EEG/ epilepsy education and research
3. 学会等名 35th International Epilepsy Congress (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 DC shifts and epilepsy: a mysterious wide-band window for astrocytes and neurons
3. 学会等名 Cleveland Clinic Epilepsy Grand Rounds (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 Astrocyte and brain dysfunction: approach from clinical wide-band EEG and othermodalities、Symposium 7, Astrocyte and brain dysfunction: Basic and clinical scope
3. 学会等名 53rd Annual congress of JSCN (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 てんかんにおける小児-成人移行医療：現状と課題、シンポジウム18、神経疾患における小児-成人移行医療：現在地と課題
3. 学会等名 第64回日本神経学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 第20回生涯教育セミナー Hands-on 「脳波」
3. 学会等名 第64回日本神経学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 脳波の理解：てんかんの病態理解における意味を基本から今一度考える（Wide-band EEGが助けてくれること）
3. 学会等名 第17回日本てんかん学会、関東甲信越地方会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 IGAP：アジアと日本の取り組み、IGAP：その取り組みと求められる成果
3. 学会等名 第56回日本てんかん学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 てんかん, 講演 1-1, てんかんの疫学・分類 (序論を含む)
3. 学会等名 日本神経学会、第7回特別教育研修会 (てんかん・頭痛・認知症コース) (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 てんかん診療の現在と未来
3. 学会等名 第41回日本神経治療学会学術大会 (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 序論：脳内電極から頭皮脳波への実装へ、ワークショップ 7、wide-band EEGの記録解析の初級編
3. 学会等名 第53回日本臨床神経生理学会 (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Naoya Mimura, Akihiro Shimotake, Maya Tojima, Junpei Togawa, Mitsuhiro Sakamoto, Tomohiko Murai, Yasutaka Fshimi, Tomohisa Okada, Atsuhisa Shima, Nobukatsu Sawamoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Correlation between memory function and glucose metabolism in temporal lobe epilepsy
3. 学会等名 第64回日本神経学会学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Kyoko Hosokawa, Kiyohide Usami, Akihiro Shimotake, Masao Matsushashi, Yukihiro Yamao, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Suppression of interictal epileptiform discharges (IEDs) in motor areas by voluntary movements
3. 学会等名 第64回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 山田 健, 戸島 麻耶, 中西 悦郎, 綾木 孝, 池田 昭夫, 高橋 良輔
2. 発表標題 皮質反射性ミオクローヌスが併存した若年性ハンチントン病の稀な一例
3. 学会等名 医学生・研修医・専攻医の日本内科学会ことはじめ2023東京
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 戸島 麻耶, 松橋 眞生, 小林 勝哉, 山中 治郎, 宇佐美 清英, 下竹 昭寛, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 良性成人型家族性ミオクローヌスてんかんの病態抽出：主成分分析による巨大SEPの検討
3. 学会等名 第64回日本神経学会学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 立岡 悠, 宇佐美 清英, 細川 恭子, 島 淳, 下竹 昭寛, 松橋 眞生, 團野 大介, 竹島 多賀夫, 立岡 良久, 澤本 伸克, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 脳波, 機能的磁気共鳴画像の同時計測 (EEG-fMRI) による片麻痺性片頭痛患者の病態検討
3. 学会等名 第64回日本神経学会学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 平 風音, 木戸 雅也, 秋月 真吾, 宮本 雅子, 下竹 昭寛, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 全般性強直間代発作(GTCS)に安全に対応するための当院での取り組み
3. 学会等名 第10回JEPICA
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 菅原 諒子, 下竹 昭寛, 菊池 隆幸, 松橋 眞生, 池田 昭夫, 高橋 良輔
2. 発表標題 皮質脳波解析を用いた意味処理機能マッピング
3. 学会等名 第64回日本神経学会学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 梶本 智史, 下竹 昭寛, 立岡 悠, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 側頭葉てんかんの加療中、夜間睡眠中の発作を疑う突発症状が出現し、レム睡眠行動異常症と考えられた独居高齢者の1例
3. 学会等名 第64回京滋奈良てんかん懇話会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Yuki Kawamura, Tadashi Okada, Ochgerel Tseeleinamsan, Naoya Mimura, Haruo Yamanaka, Kyoko Hosokawa, Masahiro Gotoh, Daisuke Yamada, Maya Tojima, Mayumi Otani, Junpei Togawa, Katsuya Kobayashi, Kiyohide Usami, Akihiro Shimotake, Takeshi Yoshida, Takayuki Kikuchi, Masao Matsuhashi, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Expanded clinical usefulness of Magnetoencephalography in intractable epilepsy: new methodology and application
3. 学会等名 第64回日本神経学会学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 田村 優, 下竹 昭寛, 安達 智美, 小林 勝哉, 宇佐美 清英, 山尾 幸広, 菊池 隆幸, 松橋 眞生, 國枝 武治, 荒川 芳輝, 高橋 良輔, Matthew Lambon-Ralph, 松本 理器, 池田 昭夫
2. 発表標題 ステレオ脳波 (SEEG) による, 非言語性意味判断課題における両側半球のカテゴリ-特異的脳活動の記録
3. 学会等名 第26回日本ヒト脳機能マッピング学会
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 田村 優, 松橋 眞生, 河村 祐貴, 三村 直哉, 山中 治郎, 出村 彩郁, 小林 勝哉, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 前頭葉てんかんと全般てんかんの鑑別における脳磁図検査 (MEG) の役割
3. 学会等名 第65回京滋奈良てんかん懇話会
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 三村 直哉, 宇佐美 清英, 十川 純平, 中川 俊, 江川 悟史, 中本 英俊, 池田 昭夫
2. 発表標題 急性期脳卒中患者の頭皮脳波でのInfraslow activityの検討
3. 学会等名 第53回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 安達 智美, 十川 純平, 小林 勝哉, 友田 陽子, 梶川 駿介, 松橋 眞生, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 内側側頭葉てんかんの頭皮上脳波の発作時direct current (DC) shiftsとhigh frequency oscillation (HFOs)の臨床的特徴
3. 学会等名 第64回日本神経学会学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 安達 智美, 十川 純平, 小林 勝哉, 友田 陽子, 梶川 駿介, 松橋 眞生, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 内側側頭葉てんかんの頭皮上脳波の発作時direct current (DC) shiftsとhigh frequency oscillation (HFOs)の臨床的特徴
3. 学会等名 第53回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 安達 智美, 十川 純平, 小林 勝哉, 友田 陽子, 梶川 駿介, 松橋 眞生, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 内側側頭葉てんかんにおける頭皮上脳波での発作時低ガンマ活動の重要性
3. 学会等名 第26回日本ヒト脳機能マッピング学会
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 安達 智美, 下竹 昭寛, 菅原 諒子, 小林 勝哉, 宇佐美 清英, 山尾 幸広, 菊池 隆幸, 松橋 眞生, 国枝 武治, 荒川 芳輝, 松本 利器, Matthew Lambon-Ralph, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 意味判断課題中の皮質脳波の時間周波数変化による意味処理機能マッピング
3. 学会等名 第56回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Yoko Tomoda, Jumpei Togawa, Katsuya Kobayashi, Kiyohide Usami, Akihiro Shimotake, Masao Matsuhashi, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Ictal direct current shifts and high frequency oscillations in neocortical epilepsy by scalp EEG
3. 学会等名 第64回日本神経学会学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 友田陽子, 十川純平, 安達智美, 小林勝哉, 宇佐美清英, 下竹昭寛, 松橋眞生, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 新皮質てんかんにおける頭皮脳波の発作時DC shiftsおよび発作時HF0sと、従来の発作時脳波変化との関係
3. 学会等名 第56回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 友田陽子, 十川純平, 幸原伸夫, 橋本修治, 池田昭夫
2. 発表標題 本学会関連講習会(関西脳波・筋電図セミナー)受講者のアンケート調査: コロナ禍の影響と今後のあり方
3. 学会等名 第53回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 友田陽子, 下竹昭寛, 大前禎毅, 池田昭夫
2. 発表標題 非典型的な脳波と経過を示した思春期発症の小児成人移行期のてんかんの一例
3. 学会等名 第65回京滋奈良てんかん懇話会
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 高谷 美和, 松橋 眞生, 小林 勝哉, 宇佐美 清英, 下竹 昭寛, 人見 健文, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 頭皮脳波のTIRDAに高周波律動が重畳する "Red slow" を示す患者の臨床的特徴
3. 学会等名 第56回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 戸島 麻耶, 澤村 正典, 島 淳, 中西 悦郎, 小林 勝哉, 人見 健文, 澤本 伸克, 池田 昭夫, 高橋 良輔
2. 発表標題 大脳皮質基底核変性症における電気生理・画像所見の多数例再検討：巨大体性感覚誘発電位を主体に
3. 学会等名 第17回パーキンソン病・運動障害疾患 कांग्रेस
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 戸島 麻耶, 下竹 昭寛, 立岡 悠, 林 梢, 坂本 光弘, 原 敦, 千原 典夫, 小林 勝哉, 宇佐美 清英, Frank Leypoldt, Klaus-Peter Wandinger, 松本 理器, 近藤 誉之, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 当院における自己免疫てんかんの臨床的特徴と治療効果の検討
3. 学会等名 第19回日本てんかん学会近畿地方会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Maya Tojima, Akihiro Shimotake, Shuichiro Neshige, Tadashi Okada, Katsuya Kobayashi, Kiyohide Usami, Masao Matsuhashi, Takeshi Yoshida, Yasutaka Fushimi, Yukihiro Yamao, Takayuki Kikuchi, Takao Namiki, Ryosuke Takahashi, Yoshiki Arakawa, Akio Ikeda
2. 発表標題 Specific Consistency Score (SCS) for epilepsy surgery candidates: a possible application in limited source circumstance without FDG-PET
3. 学会等名 35th International Epilepsy Congress
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 戸島 麻耶, 下竹 昭寛, 音成 秀一郎, 小林 勝哉, 宇佐美 清英, 十川 純平, 松橋 眞生, 吉田 健司, 伏見 育崇, 植野 司, 山尾 幸広, 菊池 隆幸, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 てんかん外科治療適応を評価する Specific Consistency Score: 非内側側頭葉てんかんにおける有用性
3. 学会等名 第56回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 戸島 麻耶, 松橋 眞生, 小林 勝哉, 宇佐美 清英, 下竹 昭寛, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 てんかん性皮質ミオクローヌスの脳波におけるspiky alpha: 高調波は形成に寄与するか
3. 学会等名 第53回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 戸島 麻耶, 小林 勝哉, 人見 健文, 山中 治郎, 石橋 はるか, 松橋 眞生, 池田 昭夫
2. 発表標題 BAFME病態の最近の臨床的動向
3. 学会等名 第53回日本臨床神経生理学会学術大会 (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 應儀 達徳, 宮崎 健輔, 戸島 麻耶, 小野 通夫, 遠見 名見子, 小島 康祐, 池田 昭夫
2. 発表標題 臨床・電気生理学的所見に明瞭な相違を認めた良性成人型家族性ミオクローヌスてんかん母子例
3. 学会等名 第127回日本神経学会近畿地方会
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 戸島 麻耶, 應儀 達徳, 宮崎 健輔, 小野 通夫, 遠見 名見子, 小島 康祐, 池田 昭夫
2. 発表標題 臨床・電気生理学的所見に明瞭な相違を認めた良性成人型家族性ミオクローヌスてんかん母子例
3. 学会等名 第65回京滋奈良てんかん懇話会
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 小林勝哉、下竹昭寛、菊池隆幸、山尾幸広、吉田健司、植野司、宮本雅子、長井佐知子、齊藤祐巳子、出村彩郁、松橋眞生、池田昭夫
2. 発表標題 京都大学医学部附属病院でのてんかん外科治療における院内連携（シンポジウム2）
3. 学会等名 第11回JEPICA（招待講演）
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 Kobayashi K, Hitomi T, Tojima M, Yamanaka H, Ishibashi H, Matsuhashi M, Ikeda A
2. 発表標題 Abnormally exaggerated somatosensory evoked potential and superimposed high-frequency activities in cortical myoclonus (Symposium (English) 4)
3. 学会等名 第53回日本臨床神経生理学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小林勝哉、菊池隆幸、下竹昭寛、山尾幸広、松橋眞生、池田昭夫
2. 発表標題 内側側頭葉切除術後の難治てんかんに対してSEEGを施行した1例（ワークショップ2）
3. 学会等名 第53回日本臨床神経生理学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Takuro Nakae, Riki Matsumoto, Kiyohide Usami, Katsuya Kobayashi, Masao Matsuhashi, Yukihiro Yamao, Takayuki Kikuchi, Takeharu Kunieda, Akio Ikeda, Yoshiki Arakawa
2. 発表標題 Oscillatory response in cortico-cortical evoked potential examination ? response distribution and phase resetting effect on baseline oscillation.
3. 学会等名 NEUROSCIENCE 2023（国際学会）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Shunsuke Kajikawa, Katsuya Kobayashi, Riki Matsumoto, Masao Matsubishi, Tadashi Okada, Mayumi Otani, Masaya Togo, Kiyohide Usami, Akihiro Shimotake, Yukihiro Yamao, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Modulation of excitation/inhibition balance at epileptic focus: analyzes of induced activities by single-pulse electrical stimulation on the focus and seizure propagation zone
3. 学会等名 International Epilepsy Congress 2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Kazuki Fukuma, Tomotaka Tanaka, Shigetoshi Takaya, Maya Tojima, Katsuya Kobayashi, Akihiro Shimotake, Yuriko Nakaoku, Kunihiko Nishimura, Masatoshi Koga, Kazunori Toyoda, Riki Matsumoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda, Masafumi Ihara
2. 発表標題 An algorithm to detect prolonged postictal hyperperfusion in poststroke epilepsy in light of perfusion-suppressing factors
3. 学会等名 International Epilepsy Congress 2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Yoshimura H, Tanaka T, Fukuma K, Matsubara S, Motoyama R, Mizobuchi M, Matsuki T, Manabe Y, Suzuki J, Kobayashi K, Shimotake A, Nishimura K, Onozuka D, Kawamoto M, Koga M, Toyoda K, Murayama S, Matsumoto R, Takahashi R, Ikeda A, Ihara M, for the PROPOSE Study Investigators
2. 発表標題 Impact of seizure recurrence on 1-year functional outcome and mortality in patients with poststroke epilepsy
3. 学会等名 International Epilepsy Congress 2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 和泉允基、小林勝哉、梶川駿介、岡原陽二、青柳京子、峯清一郎、樋口佳則、池田昭夫
2. 発表標題 てんかん焦点の発作時DC電位は、焦点中核領域の広さに拘らず、能動的DC電位である
3. 学会等名 第26回日本ヒト脳機能マッピング学会
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 安川直征、立岡悠、小林勝哉、下竹昭寛、細川恭子、葛谷聡、池田昭夫、高橋良輔
2. 発表標題 初発から診断まで年余の経過を要した焦点意識保持発作主体の扁桃体腫大を伴う側頭葉てんかんの1例
3. 学会等名 第126回日本神経学会近畿地方会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Masaya Katagiri, Irene Z. Wang, Tugba Hirfanoglu, Mubarak Aldosari, Thandar Aung, Shan Wang, Katsuya Kobayashi, Juan Bulacio, William Bingaman, Imad M. Najm, Andreas V. Alexopoulos, Richard C. Burgess
2. 発表標題 Clinical Significance of Ictal Magnetoencephalography in Patients with Epilepsy Surgery
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第82回学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Masaya Togo, Riki Matsumoto, Katsuya Kobayashi, Takuro Nakae, Naoya Mimura, Mayumi Otani, Kiyohide Usami, Akihiro Shimotake, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Masao Matsuhashi, Takeharu Kunieda, Susumu Miyamoto, Toshihiko Aso, Takuya Hayashi, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Network modification in irritative zones of focal epilepsy: a comparison between CCEP and HCP connectomes
3. 学会等名 第64回日本神経学会学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 永井俊行、小林勝哉、松橋眞生、本多正幸、人見健文、三村 直哉、十川純平、宇佐美清英、江川悟史、陣上直人、山尾幸広、菊池隆幸、西山和利、高橋良輔、池田昭夫
2. 発表標題 一側性周期性放電 (lateralized periodic discharges: LPDs) にみられる放電間陰性緩電位偏位とLPDsの周波数の臨床的相関
3. 学会等名 第53回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 山中 治郎, 小林 勝哉, 立岡 悠, 尾谷 真弓, 宇佐美 清英, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 繰り返す片麻痺発作を呈し体性感覚誘発電位で左右差を認めたTransient focal neurological episodes様の1例
3. 学会等名 第56回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 山中 治郎, 小林 勝哉, 野中 恵, 戸島 麻耶, 下竹 昭寛, 松橋 眞生, 池田 昭夫
2. 発表標題 臨床・電気生理学的所見に明瞭な相違を認めた良性成人型家族性ミオクローヌスてんかん兄弟例の検討
3. 学会等名 第53回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 山中 治郎, 宇佐美 清英, 小林 勝哉, 下竹 昭寛, 松橋 眞生, 十河 正弥, 山尾 幸広, 菊池 隆幸, 国枝 武治, 松本 理器, 池田 昭夫
2. 発表標題 難治性てんかん患者における50Hz脳機能マッピングでのAfterdischargesと皮質-皮質間誘発電位の相関の検討
3. 学会等名 第53回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 真田 悠希, 立岡 悠, 澤村 正典, 小林 史弥, 山本 敦史, 永金 義成, 池田 昭夫, 高橋 良輔
2. 発表標題 てんかん発作との鑑別を要した, 視覚性前兆のある片頭痛疑い例
3. 学会等名 第65回京滋奈良てんかん懇話会
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 立岡悠, 宇佐美清英, 細川恭子, 本多正幸, 人見健文, 下竹昭寛, 松橋眞生, 團野大介, 竹島多賀夫, 立岡良久, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 片麻痺性片頭痛患者のwide-band scalp EEGによる新規所見
3. 学会等名 第56回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 山本寛, 宇佐美清英, 島淳, 綾木孝, 眞木崇州, 林梢, 玉木良高, 小島康祐, 橋本隼, 安部倉友, 山尾幸広, 菊池隆幸, 吉田和道, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 頭皮脳波で超低域徐波を示した急性期Transient focal neurological episode 3例の特徴
3. 学会等名 第56回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 立岡悠, 宇佐美清英, 團野大介, 竹島多賀夫, 立岡良久, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 片頭痛の不思議に迫る-大学院での頭痛研究-
3. 学会等名 第51回日本頭痛学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 下竹 昭寛, 立岡 悠, 池田昭夫
2. 発表標題 脳波の問題症例 脳炎との鑑別を要した家族性片麻痺性片頭痛の1例
3. 学会等名 第53回日本臨床神経生理学会学術大会(招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 下竹 昭寛, 小林勝哉, 宇佐美清英, 山尾幸広, 菊池隆幸, 松橋眞生, 池田昭夫
2. 発表標題 SEEGケーススタディ 脳神経内科医の立場から
3. 学会等名 第53回日本臨床神経生理学会学術大会 (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 下竹 昭寛, 小林勝哉, 宇佐美清英, 十川純平, 山尾幸広, 菊池隆幸, 松橋眞生, 高橋良輔, 池田昭夫,
2. 発表標題 てんかん外科の術前脳内電極脳波解析: 臨床・教育・研究への相補的独立的アプローチの模索,
3. 学会等名 第53回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Akihiro Shimotake, Katsuya Kobayashi, Kiyohide Usami, Yukihiro Yamao, Takayuki Kikuchi, Masao Matsuhashi, Takeharu Kunieda, Yoshiaki Arakawa, Ryosuke Takahashi, Matthew Lambon-Ralph, Riki Matsumoto, Akio Ikeda
2. 発表標題 Mapping for semantic processing in the ventral anterior temporal lobe
3. 学会等名 第56回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 十川 純平, 安達 智美, 友田 陽子, 小林 勝哉, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 頭皮脳波での焦点てんかんの発作時DC電位およびHF0の解析, ワークショップ7 「 wide -band EEGの記録解析の初級編 」
3. 学会等名 第53回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 河村 祐貴, 松橋 眞生, 岡田直, Ochgerel Tseeleinamsan, 三村 直哉, 山中 治郎, 山田 大輔, 戸島 麻耶, 十川 純平, 小林 勝哉, 宇佐美 清英, 下竹 昭寛, 吉田 健司, 菊池 隆幸, 高橋 良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 脳磁図検査の有用性についての新規視点からの後方視的検討
3. 学会等名 第19回日本てんかん学会近畿地方会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Yuki Kawamura, Ochgerel Tseeleinamsan, Naoya Mimura, Haruo Yamanaka, Daisuke Yamada, Maya Tojima, Jumpei Togawa, Katsuya Kobayashi, Kiyohide Usami, Akihiro Shimotake, Takeshi Yoshida, Takayuki Kikuchi, Masao Matsuhashi, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Expanded clinical usefulness of Magnetoencephalography in intractable epilepsy: new methodology and application
3. 学会等名 第56回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 宇佐美 清英, 人見 健文, 池田 昭夫
2. 発表標題 脳神経内科からの要望
3. 学会等名 第55回日本てんかん学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Haruka Ishibashi, Katsuya Kobayashi, Maya Tojima, Takefumi Hitomi, Haruo Yamanaka, Masao Matsuhashi, Shuichiro Neshige, Kiyohide Usami, Hirofumi, Maruyama, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Short and middle-latency giant SEP may reflect Paroxysmal depolarizing shifts and following inhibition, respectively
3. 学会等名 第63回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 石橋 はるか, 小林 勝哉, 林 梢, 細川 恭子, 戸島 麻耶, 大井 和起, 音成 秀一郎, 宇佐美 清英, 丸山 博文, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 COVID-19禍前後でのてんかん外来紹介患者の動向変化：サンプル調査
3. 学会等名 第55回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Kyoko Hosokawa, Kiyohide Usami, Yu Tatsuoka, Masayuki Honsa, Takefumi Hitomi, Akihiro Shimotake, Masao Matsuhashi, Daisuke Danno, TakaoTakeshima, Yoshihisa Tatsuoka, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Presence of focal delta/subdelta activity in migraineurs by wide-band scalp EEG
3. 学会等名 第63回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 細川 恭子, 宇佐美 清英, 下竹 昭寛, 松橋 眞生, 山尾 幸広, 菊池 隆幸, 吉田 和道, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 運動野の発作間欠期てんかん性放電 (IEDs) の随意運動による抑制の検討
3. 学会等名 第55回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 細川 恭子, 宇佐美 清英, 下竹 昭寛, 松橋 眞生, 山尾 幸広, 菊池 隆幸, 吉田 和道, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 運動野に見られた発作間欠期てんかん性放電 (IEDs) の随意運動による抑制効果
3. 学会等名 第52回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Miwa Takatani, Masao Matsuhashi, Katsuya Kobayashi, Kiyohide Usami, Akihiro Shimotake, Masako Daifu-Kobayashi, Takefumi Hitomi, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Red slow as the specific, epileptic biomarker in scalp EEG by means of wide-band EEG analysis
3. 学会等名 第63回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 高谷 美和, 松橋 眞生, 小林 勝哉, 宇佐美 清英, 下竹 昭寛, 人見 健文, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 頭皮上脳波におけるRed slowの発生機構: 高周波律動が重畳する局所徐波の検出と検討
3. 学会等名 第52回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Kozue Hayashi, Kiyohide Usami, Masaya Togo, Yukihiro Yamao, Akihiro Shimotake, Takeshi Funaki, Takefumi Hitomi, Takayuki Kikuchi, Masao Matsuhashi, Kazumichi Yoshida, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Slow and infraslow of wide-band EEG is related with transient neurological event (TNE) in Moyamoya disease
3. 学会等名 第63回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 林 梢, 宇佐美 清英, 十河 正弥, 山尾 幸広, 下竹 昭寛, 舟木 健史, 人見 健文, 菊池 隆幸, 松橋 眞生, 吉田 和道, 宮本 享, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 もやもや病血流再建術後の一過性神経症状と脳波変化との関連
3. 学会等名 第52回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Shunsuke Kajikawa, Akio Ikeda
2. 発表標題 Case presentation: Intracranial EEG
3. 学会等名 第55回日本てんかん学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 梶川 駿介, 池田 昭夫
2. 発表標題 Ictal Direct Current ShiftとIctal High Frequency Oscillationsの最近の知見と今後の展望
3. 学会等名 第52回日本臨床神経生理学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山中 治郎, 戸島 麻耶, 小林 勝哉, 人見 健文, 松橋 眞生, 宇佐美 清英, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 巨大体性感覚誘発電位(SEP)に続いて交互に繰り返す広周波数帯域のpowerの増大と減少
3. 学会等名 第63回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Haruo Yamanaka, Maya Tojima, Katsuya Kobayashi, Takefumi Hitomi, Masao Matsuhashi, Jumpei Togawa, Kiyohide Usami, Akihiro Shimotake, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Wideband repetitive induced activities were elicited within SEPs in benign adult familial myoclonus epilepsy; association with the rhythmicity of cortical tremor
3. 学会等名 14th Asian and Oceanian Epilepsy Congress
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山中 治郎, 小林 勝哉, 戸島 麻耶, 宇佐美 清英, 松橋 眞生, 井上 治久, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 良性成人型家族性ミオクローヌスてんかんにおける巨大SEPの左右差と臨床的相関の検討
3. 学会等名 第52回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 十川 純平, 松橋 眞生, 宇佐美 清英, 小林 勝哉, 下竹 昭寛, 大封 昌子, 尾谷 真弓, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 一側の側頭葉てんかん患者の徐波睡眠中の脳波における徐波活動の側方性
3. 学会等名 第47回日本睡眠学会定期学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 十川 純平, 松橋 眞生, 宇佐美 清英, 小林 勝哉, 下竹 昭寛, 尾谷 真弓, 戸島 麻耶, 人見 健文, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 一側の側頭葉てんかん患者の徐波睡眠期脳波における徐波活動の電極間コヒーレンスの側方性：焦点側同定への試み
3. 学会等名 第52回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 立岡悠, 宇佐美清英, 細川恭子, 本多正幸, 人見健文, 下竹昭寛, 松橋眞生, 團野大介, 竹島多賀夫, 立岡良久, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 Wide-band EEGで興奮と機能低下の混在を示す片麻痺性片頭痛患者の病態検討
3. 学会等名 第63回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 十川 純平, 江川 斉宏, 池田 昭夫
2. 発表標題 正中中心部～頭頂部に突発的な律動性 波を認め、subclinical rhythmic electrographic discharges of adults (SREDA)と考えた一例
3. 学会等名 第52回日本臨床神経生理学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小林勝哉, 人見健文, 戸島麻耶, 石浦浩之, 辻省次, 池田昭夫
2. 発表標題 BAFMEでの遺伝カウンセリング 患者・家族への疾患特性と遺伝学的検査の伝え方
3. 学会等名 第55回日本てんかん学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小林勝哉, 菊池隆幸, 松本理器, 國枝武治, 池田昭夫
2. 発表標題 SEEGにおけるepileptogenic zoneの仮説設定と電極留置プランニング
3. 学会等名 第52回日本臨床神経生理学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 菊池隆幸, 山尾幸広, 小林勝哉, 稲田拓, 下竹昭寛, 松本理器, 國枝武治, 池田昭夫, 宮本享
2. 発表標題 従来の定位手術手技によるSEEG留置 ロボットを用いた手技との共通点と相違点
3. 学会等名 第52回日本臨床神経生理学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Shuichiro Neshige, Takefumi Hitomi, Maya Tojima, Katsuya Kobayashi, Hiroyuki Ishiura, Akio Ikeda
2. 発表標題 A role of aging in the progression of cortical excitability in BAFME type 1
3. 学会等名 第52回日本臨床神経生理学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Shuichiro Neshige, Masao Matsuhashi Katsuya Kobayashi, Takayuki Kikuchi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Multi-spectrum intrinsic brain activity for brain motor mapping alternative to cortical stimulation
3. 学会等名 第52回日本臨床神経生理学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Masako Daifu-Kobayashi, Riki Matsumoto, Akihiro Shimotake, Makiko Ota, Mitsuhiro Sakamoto, Katsuya Kobayashi, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Matthew A. Lambon Ralph, Akio Ikeda
2. 発表標題 Triangulating the neural cornerstones of reading: Within-participant contrastive dissociations induced by direct cortical stimulation
3. 学会等名 American Epilepsy Society 2022 Annual Meeting
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Masaya Togo, Riki Matsumoto, Kiyohide Usami, Katsuya Kobayashi, Hirofumi Takeyama, Takuro Nakae, Akihiro Shimotake, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Masao Matsuhashi, Takeharu Kunieda, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 The distinct connectivity patterns in human medial parietal cortices: a cortico-cortical evoked potential study
3. 学会等名 American Epilepsy Society 2022 Annual Meeting
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yuki Hama, Katsuya Kobayashi, Miwa Takatani, Masao Matsuhashi, Akihiro Shimotake, Akio Ikeda, Ryosuke Takahashi
2. 発表標題 Long-term follow-up of HFO and its clinical correlation in anti-GAD antibody limbic encephalitis
3. 学会等名 第63回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 福永晃久, 尾谷真弓, 小林勝哉, 綾木孝, 下竹昭寛, 池田昭夫, 高橋良輔
2. 発表標題 髄膜・大脳深部・脳神経に広範な造影効果を認めた自己免疫性GFAPアストロサイトパチーの一例
3. 学会等名 日本神経学会第122回近畿地方会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 阿部宗一郎, 田中智貴, 福間一樹, 石山浩之, 戸島麻耶, 小林勝哉, 下竹昭寛, 西村邦宏, 古賀政利, 豊田一則, 松本理器, 高橋良輔, 池田昭夫, 猪原匡史, PROPOSE study investigators
2. 発表標題 脳卒中後てんかんにおいて再発予測因子となる脳波所見
3. 学会等名 第55回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yuta Terada, Akio Ikeda, Ryosuke Takahashi, Nobukatsu Sawamoto et al.
2. 発表標題 Modulation of coherence between cortex and subthalamic nucleus by deep brain stimulation in Parkinson disease
3. 学会等名 第52回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 永井俊行, 小林勝哉, 松橋眞生, 本多正幸, 人見健文, 三村直哉, 十川純平, 宇佐美清英, 江川悟史, 陣上直人, 山尾幸広, 菊池隆幸, 吉田和道, 西山和利, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 病態背景特定に対する一側性周期性放電 (lateralized periodic discharges: LPDs) の放電間背景脳波の陰性緩電位の有用性
3. 学会等名 第52回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 中江卓郎, 松本理器, 宇佐美清英, 小林勝哉, 松橋眞生, 山尾幸広, 菊池隆幸, 吉田和道, 國枝武治, 池田昭夫, 宮本享
2. 発表標題 皮質皮質間誘発電位 (CCEP) における前頭葉 律動~刺激前の位相・振幅によって異なる応答特性~
3. 学会等名 第52回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 十河正弥, 林拓也, 麻生俊彦, 小林勝哉, 宇佐美清英, 下竹昭寛, 松橋眞生, 菊池隆幸, 吉田和道, 國枝武治, 宮本享, 高橋良輔, 松本理器, 池田昭夫
2. 発表標題 皮質皮質間誘発電位 (CCEP) のN2電位は安静時fMRI機能的結合性と相関する: Human Connectome Project (HCP) データベースとの比較研究
3. 学会等名 第52回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Katsuya Kobayashi, Kenneth Taylor, Balu Krishnan, Michael J. Mackow, Lauren Feldman, Juan Bulacio, Andreas V. Alexopoulos, Imad Najm, William Bingaman, Richard M. Leahy, Akio Ikeda, Dileep R. Nair
2. 発表標題 CCEPs may help define optimal target location for closed-loop neuromodulation in epilepsy treatment
3. 学会等名 第63回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Maya Tojima, Masao Matsuhashi, Katsuya Kobayashi, Takefumi Hitomi, Kiyohide Usami, Akihiro Shimotake, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 EEG background activity in cortical myoclonus: reappraisal of spiky alpha as a biomarker candidate
3. 学会等名 第63回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 戸島 麻耶, 下竹 昭寛, 音成 秀一郎, 岡田 直, 小林 勝哉, 宇佐美 清英, 松橋 眞生, 吉田 健司, 伏見 育崇, 山尾 幸広, 菊池 隆幸, 吉田 和道, 行木 孝夫, 松本 理器, 國枝 武治, 高橋 良輔, 宮本 享, 池田 昭夫
2. 発表標題 てんかん外科治療適応の効率的スコアの試み：特異度重視の簡便合意的なSpecific Consistency Score (SCS)
3. 学会等名 第18回日本てんかん学会近畿地方会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 戸島 麻耶, 小林 勝哉, 人見 健文, 石橋 はるか, 吉井 大祐, 齊ノ内 信, 綾木 孝, 下竹 昭寛, 宇佐美 清英, 眞木 崇州, 柿田 明美, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 ヘテロ接合体遺伝子変異を認めた超高齢の良性成人型家族性ミオクローヌステんかんの剖検例
3. 学会等名 第55回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Maya Tojima, Masao Matsuhashi, Katsuya Kobayashi, Kiyohide Usami, Akihiro Shimotake, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 EEG background activity in cortical myoclonus: reappraisal of “spiky alpha” as a biomarker candidate
3. 学会等名 18th Asian Oceanian Congress of Neurology
4. 発表年 2022年

1. 発表者名	Maya Tojima, Akihiro Shimotake, Shuichiro Neshige, Tadashi Okada, Katsuya Kobayashi, Kiyohide Usami, Masao Matsuhashi, Takeshi Yoshida, Yasutaka Fushimi, Yukihiro Yamao, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takao Namiki, Riki Matsumoto, Takeharu Kunieda, Ryosuke Takahashi, Susumu Miyamoto, Akio Ikeda
2. 発表標題	Specific Consistency Score (SCS) for epilepsy surgery candidates
3. 学会等名	16th Asian Epilepsy Surgery Congress
4. 発表年	2022年

1. 発表者名	Maya Tojima, Akihiro Shimotake, Shuichiro Neshige, Tadashi Okada, Katsuya Kobayashi, Kiyohide Usami, Masao Matsuhashi, Takeshi Yoshida, Yasutaka Fushimi, Yukihiro Yamao, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takao Namiki, Riki Matsumoto, Takeharu Kunieda, Ryosuke Takahashi, Susumu Miyamoto, Akio Ikeda
2. 発表標題	Specific Consistency Score (SCS) for epilepsy surgery candidates: Approaches for a simple and useful score for indicating epilepsy surgery
3. 学会等名	14th Asian and Oceanian Epilepsy Congress
4. 発表年	2022年

1. 発表者名	戸島 麻耶, 大井 和起, 岡田 直, 山中 治郎, 本多 正幸, 小林 勝哉, 宇佐美 清英, 下竹 昭寛, 松橋 眞生, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題	脳波所見会のweb開催の評価：アンケート結果からの現状と問題点
3. 学会等名	第52回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年	2022年

1. 発表者名	Maya Tojima, Takefumi Hitomi, Katsuya Kobayashi, Masao Matsuhashi, Shuichiro Neshige, Akio Ikeda
2. 発表標題	New Biomarkers for Benign Adult Familial Myoclonus Epilepsy
3. 学会等名	第52回日本臨床神経生理学会学術大会（招待講演）
4. 発表年	2022年

1. 発表者名 永井俊行, 小林勝哉, 松橋眞生, 本多正幸, 人見健文, 三村直哉, 十川純平, 宇佐美清英, 江川悟史, 陣上直人, 山尾幸広, 菊池隆幸, 吉田和道, 西山和利, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 脳波での周期性放電の放電間背景脳波の陰性緩電位変位と臨床相関
3. 学会等名 第63回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 後藤昌広, 小林勝哉, 松橋眞生, 山尾幸広, 菊池隆幸, 吉田和道, 上田肇一, 行木孝夫, 津田一郎, 白井直敬, 白水洋史, 前原健寿, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 深層学習モデルによる発作時DC shift自動検出の試み
3. 学会等名 第52回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Masahiro Gotoh, Katsuya Kobayashi, Masao Matsushashi, Yukihiro Yamao, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Keiichi Ueda, Takao Namiki, Ichiro Tsuda, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 AI auto-detection of ictal DC shift to facilitate its clinical application as a surrogate biomarker for epilepsy surgery
3. 学会等名 第52回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 後藤昌広, 小林勝哉, 松橋眞生, 山尾幸広, 菊池隆幸, 吉田和道, 上田肇一, 行木孝夫, 津田一郎, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 てんかん焦点マーカーとしての発作時DC shiftのAIによる自動検出
3. 学会等名 第52回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 安達智美, 戸島麻耶, 山中治, 本多正幸, 小林勝哉, 宇佐美清英, 下竹昭寛, 松橋眞生, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 Kappa律動の経時的変化を含む臨床的特徴の再検討
3. 学会等名 第52回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 下竹 昭寛, 人見健文, 池田昭夫
2. 発表標題 教育コース 19「脳死判定・臓器移植について学ぼう、語ろう」脳死判定実技について
3. 学会等名 第63回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 下竹 昭寛, 小林 勝哉, 宇佐美 清英, 山尾 幸広, 菊池 隆幸 ³⁾ , 松橋 眞生, 國枝 武治, 高橋 良輔, 松本 理器, 池田 昭夫
2. 発表標題 類義語判断課題による側頭葉前方底部の意味処理機能マッピング
3. 学会等名 第52回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 福永晃久, 鈴木英文, 下竹昭寛, 中安慎太郎, 山田浩貴, 亀井純, 綾木孝, 池田昭夫, 高橋良輔
2. 発表標題 頭蓋内腫瘍性病変を認めた神経梅毒の若年女性の2例
3. 学会等名 第123回日本神経学会近畿地方会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 三村 直哉, 下竹 昭寛, 戸島 麻耶, 十川 純平, 坂本 光弘, 村井 智彦, 伏見 育崇, 岡田 知久, 島 淳, 澤本 伸克, 高橋 良輔 池田 昭夫
2. 発表標題 側頭葉てんかん患者における記憶機能の18F-FDG-PETによる解剖学的検討
3. 学会等名 第52回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 三村 直哉, 宇佐美 清英, 十川 純平, 本多 正幸, 人見 健文, 菊池 隆幸, 中川 俊, 江川 悟史, 中本 英俊, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 急性脳出血患者におけるwide-band EEG頭皮上記録でのInfraslow activityの臨床的意義
3. 学会等名 第63回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 松橋 眞生, 岡田 直, 河村 祐貴, 戸島 麻耶, 行木 孝夫, 池田 昭夫
2. 発表標題 難治性てんかんの焦点検索のための非侵襲的検索におけるMEGの役割
3. 学会等名 第37回日本生体磁気学会大会 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 友田 陽子, 後藤 昌広, 小林 勝哉, 松橋 眞生, 本多 正幸, 上田 紗希帆, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 Subclinical rhythmic electrographic discharges of adults(SREDA)の臨床的意義の検討: 時間周波数解析による特徴
3. 学会等名 第52回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 河村祐貴, 岡田直, 山田大輔, 光野優人, 山尾幸広, 菊池隆幸, 吉田和道, 松橋眞生, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 脳磁図所見とてんかん外科手術転帰の検討
3. 学会等名 第63回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 河村祐貴, 山田大輔, 光野優人, 松橋眞生, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 脳磁図での焦点診断における等価電流源双極子の集簇条件についての検討
3. 学会等名 第52回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yuki Kawamura, Katsuya Kobayashi, Maya Tojima, Yukihiro Yamao, Kiyohide Usami, Akihiro Shimotake, Takayuki Kikuchi, Masao Matsushashi, Kazumichi Yoshida, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 A Case Presentation of MRI-Negative Left Parietal Lobe Epilepsy
3. 学会等名 第52回日本臨床神経生理学会学術大会 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Masako Daifu-Kobayashi, Olesya Grinenko, Jian Li, Dileep R Nair, Akio Ikeda, Patrick Chauvel
2. 発表標題 Coactivity of glia and neuron in epilepsy; Close association of ictal slow shift with "fingerprint"
3. 学会等名 第63回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 大封 昌子, 小林 勝哉, 下竹 昭寛, 松橋 眞生, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 脳内記録でのてんかん原性領域のマーカーである "fingerprint pattern" を、頭皮上発作時脳波記録で認めたてんかん 2 症例の特徴
3. 学会等名 第52回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 佐藤 達哉, 十川 純平, 小林 勝哉, 宇佐美 清英, 下竹 昭寛, 尾谷 真弓, 戸島 麻耶, 人見 健文, 松橋 眞生, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 発作間欠期頭皮上脳波における paroxysmal fast activity に重畳する high frequency oscillationの出現について : single spike との比較
3. 学会等名 第52回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Tadashi Okada, Maya Tojima, Yuto Mitsuno, Akihiro Shimotake, Shuichiro Neshige, Kiyohide Usami, Masao Matsuhashi, Yukihiro Yamao, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Riki Matsumoto, Takeharu Kunieda, Takao Namiki, Ryosuke Takahashi, Susumu Miyamoto, Akio Ikeda
2. 発表標題 How to combine MEG data before epilepsy surgery: A scoring system of MEG data with other modalities (SCS-M) improves outcome prediction
3. 学会等名 14th Asian and Oceanian Epilepsy Congress
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岡田 直, 戸島 麻耶, 光野 優人, 下竹 昭寛, 音成 秀一郎, 宇佐美 清英, 松橋 眞生, 山尾 幸広, 菊池 隆幸, 吉田 和道, 行木 孝夫, 松本 理器, 國枝 武治, 高橋 良輔, 宮本 享, 池田 昭夫
2. 発表標題 てんかん術前検査のspecific consistency scoreにMEGデータの追加改訂はてんかん手術の転帰予測を改善する
3. 学会等名 第18回日本てんかん学会近畿地方会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 Clinical findings, disease course and comorbidities
3. 学会等名 International workshop on Familial Adult Myoclonic Epilepsy (FAME/BAFME) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 Needs and priorities in epilepsy care across ages, Unmet needs in epilepsy care in the elderly
3. 学会等名 14th European Epilepsy Congress (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 How does focal seizure could spread easily to other brain area, but not movement disorders?
3. 学会等名 5th International Conference of SEEG and Brain Mapping for Epilepsy (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 Ictal DC shifts as epilepsy surgery biomarker, Multi-institutional study in Japan
3. 学会等名 Inaugural Meeting of Alliance for Neurological Diseases (AND) of National Regional Medical Center, 1st JiuZhou International Symposium on Neurological Diseases (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 Slow shift EEG and epilepsy: a mysterious window for activity of glia and neurons
3. 学会等名 George Washington University Epilepsy Center Epilepsy Seminar Series (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 Update in epilepsy care and underlying pathomechanism
3. 学会等名 The 3rd Huashan Cognitive and Brain Disorders International Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 Familial Adult Myoclonic Epilepsy or BAFME: clinical findings, disease course and comorbidities
3. 学会等名 The 12th Advanced International Course: Clinical Epileptology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 EEG and electrophysiological monitoring: Basic and wide-band EEG
3. 学会等名 The 12th Advanced International Course: Clinical Epileptology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 Approach to scalp and invasive EEG in focal epilepsy, How to Record, Analyze and Interpret Wide-Band EEG: Scalp and Invasive EEG in Epilepsy
3. 学会等名 32nd International Congress of Clinical Neurophysiology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 Multi-institutional study of ictal DC shifts and ictal HF0 to obtain better surgical outcome: the new biomarker for epilepsy surgery
3. 学会等名 The 16th Asian Epilepsy Surgery Congress (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 The significance of astrocytes in the development of epileptogenesis: clinical and pathological approach
3. 学会等名 2022 International Neurological Disorders & Neurophysiology Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 WHO Intersectoral Global Action Plan on Epilepsy and Other Neurological Disorders 2022 _ 2031, Vision and objectives for IGAP
3. 学会等名 14th Asian and Oceanian Epilepsy Congress (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 Research career pathways/ balancing clinical and research
3. 学会等名 14th Asian and Oceanian Epilepsy Congress (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 池田 昭夫
2. 発表標題 慢性てんかんとcritical careの脳波所見の違いの総論
3. 学会等名 第63回日本神経学会学術大会 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 池田 昭夫
2. 発表標題 最新てんかん薬物治療と薬剤師との連携
3. 学会等名 第38回日本TDM学会・学術大会 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 池田 昭夫
2. 発表標題 慢性てんかんとcritical careの脳波所見の異同の総論
3. 学会等名 第55回日本てんかん学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 Wide-band EEG for daily use, Introduction to wide-band EEG
3. 学会等名 第55回日本てんかん学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 池田 昭夫
2. 発表標題 てんかんの病態治療解明の融合的新知見へのアプローチ
3. 学会等名 第40回日本神経治療学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 池田 昭夫
2. 発表標題 臨床からのアプローチの凄み：随意運動と運動異常の中枢制御
3. 学会等名 第52回日本臨床神経生理学会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 Role of astrocyte in brain disease as revealed by wide-band EEG: epilepsy, migraine, cerebrovascular diseases
3. 学会等名 第52回日本臨床神経生理学会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 池田 昭夫
2. 発表標題 てんかんの臨床・教育・研究の今後の展望
3. 学会等名 New Horizon for Neurosciences (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 池田 昭夫
2. 発表標題 脳波の読み方の基本：てんかん発作・意識障害の観点から
3. 学会等名 第123回日本神経学会近畿地方会 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山尾幸広、松本理器、荒川芳輝、山田大輔、菊池隆幸、吉田和道、國枝武治、宮本享
2. 発表標題 言語機能保持のための皮質-皮質間誘発電位モニタリングの有用性-全身麻酔、覚醒不良例での検討-
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第81回学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山尾幸広、松本理器、荒川芳輝、山田大輔、菊池隆幸、吉田和道、國枝武治、宮本享
2. 発表標題 言語機能保持のための皮質-皮質間誘発電位モニタリングの有用性-全身麻酔、覚醒不良例での検討-
3. 学会等名 日本臨床神経生理学会第52回学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山尾幸広、松本理器、菊池隆幸、吉田和道、國枝武治、宮本享
2. 発表標題 CCEPを用いた術中脳機能モニタリング
3. 学会等名 日本臨床神経生理学会第52回学術大会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山尾幸広、松本理器、荒川芳輝、山田大輔、菊池隆幸、吉田和道、國枝武治、宮本享
2. 発表標題 言語機能保持のための皮質-皮質間誘発電位モニタリングの有用性-全身麻酔、覚醒不良例での検討-
3. 学会等名 第46回てんかん外科学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Ai Demura, Yutaka Demura, Kazuaki Sato, Masako Kinoshita
2. 発表標題 The amplitude of somatosensory evoked potentials on short-latency somatosensory evoked potentials condition is equivalent of 80% of that on giant somatosensory evoked potentials condition
3. 学会等名 13th Asian & Oceanian Epilepsy Congress (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Akihiro Shimotake, Katsuya Kobayashi, Kiyohide Usami, Yukihiro Yamao, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Masao Matsuhashi, Takeharu Kunieda, Ryosuke Takahashi, Riki Matsumoto, Akio Ikeda
2. 発表標題 Functional mapping for semantic processing in the ventral anterior temporal lobe by synonym judgment
3. 学会等名 第54回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Akihiro Shimotake, Riki Matsumoto, Katsuya Kobayashi, Kiyohide Usami, Takayuki Kikuchi, Masao Matsuhashi, Kazumihchi Yoshida, Takeharu Kunieda, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Matthew Lambon-Ralph, Akio Ikeda
2. 発表標題 Functional mapping of semantic processing in the anterior temporal lobe
3. 学会等名 第62回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Akihiro Shimotake, Riki Matsumoto, Katsuya Kobayashi, Kiyohide Usami, Takayuki Kikuchi, Masao Matsuhashi, Kazumihchi Yoshida, Takeharu Kunieda, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Matthew Lambon-Ralph, Akio Ikeda
2. 発表標題 Semantic processing in the ventral anterior temporal lobe assessed by synonym judgement
3. 学会等名 13th Asian & Oceanian Epilepsy Congress (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Akihiro Shimotake, Riki Matsumoto, Mitsuhiro Sakamoto, Akio Ikeda
2. 発表標題 Diagnosis and treatment of autoimmune epilepsy (in adults)
3. 学会等名 第54回日本てんかん学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 EEG and electrophysiological monitoring: Basic and wide band EEG
3. 学会等名 EPIC online (Indian Epilepsy Association) (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 Infraslow, DC Shift and High Frequency Oscillations: Established Tool or Research Topic?
3. 学会等名 7th Asian-Oceanian Congress on Clinical Neurophysiology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 Advances in EEG Analysis - Wide-Band EEG, Dense-Array EEG and Quantitative EEG -
3. 学会等名 7th Asian-Oceanian Congress on Clinical Neurophysiology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 How to predict good responders to vagus nerve stimulation
3. 学会等名 Comprehensive Epilepsy Surgery Online Course Series-XI (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 Wide band EEG from invasive to scalp EEG; how is it useful? - DC shifts and HFO in scalp EEG
3. 学会等名 13th Asian & Oceanian Epilepsy Congress (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 DC shifts and HFO in scalp EEG:next surrogate markers to spike/sharp wave
3. 学会等名 9thCAAE International Epilepsy Forum(CIEF) A Virtual Congress Main Session (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 Presurgical Epilepsy Evaluation, An Update of Current Managemant in Epilepsy
3. 学会等名 MUKERNAS PERDOSSI PALEMBANG 2021 NEUROINTERVENTION (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 "Atypical" focal motor seizure semiology in presurgical evaluation
3. 学会等名 Beijing Epilepsy and Neurophysiology Summit, The 10th Epilepsy-Neurophysiology Meeting in Beijing(2021) & Beijing Epilepsy Diagnosis and Treatment Center Academy Annual Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Haruka Ishibashi, Katsuya Kobayashi, Maya Tojima, Shuichiro Neshige, Hiroyuki Ishiura, Shoji Tsuji, Hirofumi Maruyama, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Clinical diagnostic criteria of benign adult familial myoclonus epilepsy are highly concordant with the positive gene abnormality
3. 学会等名 13th Asian & Oceanian Epilepsy Congress (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Haruka Ishibashi, Kiyohide Usami, Shuichiro Neshige, Hirofumi Maruyama, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 How to identify posterior dominant rhythm among obscuring EMG artifacts in psychogenic non-epileptic seizures: Time-frequency analysis can help us
3. 学会等名 17th Asian Oseanian Congress of Neurology (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Haruo Yamanaka, Maya Tojima, Takefumi Hitomi, Katsuya Kobayashi, Masao Matsuhashi, Kazuki Oi, Hirofumi Takeyama, Kiyohide Usami, Akihiro Shimotake, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 How to generate cortical tremor with rhythmicity?: Late repetitive event-related synchronization and desynchronization associated with giant SEPs
3. 学会等名 13th Asian & Oceanian Epilepsy Congress (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Katsuya Kobayashi, Kenneth Taylor, Balu Krishnan, Michael J Mackow, Lauren Feldman, Andreas V Alexopoulos, John C Mosher, Richard M Leahy, Akio Ikeda, Dileep R Nair
2. 発表標題 Do cortical responses to direct electrical stimulation guide optimal sites of responsive neurostimulation?
3. 学会等名 第54回日本てんかん学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Katsuya Kobayashi, Kenneth Taylor, Balu Krishnan, Michael J. Mackow, Lauren Feldman, Andreas V. Alexopoulos, John C. Mosher, Richard M. Leahy, Akio Ikeda, Dileep R. Nair
2. 発表標題 A promising physiological guide before RNS therapy: cortical responses to electrical stimulation
3. 学会等名 13th Asian & Oceanian Epilepsy Congress (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名	Katsuya Kobayashi, Kenneth Taylor, Balu Krishnan, Michael J. Mackow, Lauren Feldman, Andreas V. Alexopoulos, John C. Mosher, Richard M. Leahy, Akio Ikeda, Dileep R. Nair
2. 発表標題	A promising physiological guide before RNS therapy: cortical responses to electrical stimulation
3. 学会等名	第62回日本神経学会学術大会
4. 発表年	2021年

1. 発表者名	Katsuya Kobayashi, Takefumi Hitomi, Maya Tojima, Kazuki Oi, Akio Ikeda
2. 発表標題	How to record giant SEPs and jerk-locked back averaging in cortical myoclonus
3. 学会等名	13th Asian & Oceanian Epilepsy Congress (招待講演) (国際学会)
4. 発表年	2021年

1. 発表者名	Kazuki Oi, Shuichiro Neshige, Takefumi Hitomi, Katsuya Kobayashi, Maya Tojima, Masao Matsuhashi, Akihiro Shimotake, Daiki Fujii, Riki Matsumoto, Shuhei Kasama, Masutaro Kanda, Yoshiaki Wada, Hirofumi Maruyama, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題	LOW-DOSE PERAMPANEL IMPROVES REFRACTORY CORTICAL MYOCLONUS BY THE DISPERSED AND SUPPRESSED PAROXYSMAL DEPOLARIZATION SHIFTS IN THE SENSORIMOTOR CORTEX
3. 学会等名	7th Asian-Oceanian Congress on Clinical Neurophysiology (国際学会)
4. 発表年	2021年

1. 発表者名	Kiyohide Usami, Riki Matsumoto, Anna Korzeniewska, Akihiro Shimotake, Masao Matsuhashi, Takuro Nakae, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Ryosuke Takahashi, Nathan Crone, Akio Ikeda
2. 発表標題	Cortical neuronal activities and their network dynamics during visual recognition
3. 学会等名	第54回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年	2021年

1. 発表者名 Kiyohide Usami, Riki Matsumoto, Anna Korzeniewska, Akihiro Shimotake, Masao Matsuhashi, Takuro Nakae, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Ryosuke Takahashi, Nathan Crone, Akio Ikeda
2. 発表標題 The dynamics of cortical interactions in category-specific visual recognition
3. 学会等名 13th Asian & Oceanian Epilepsy Congress (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kiyohide Usami, Riki Matsumoto, Anna Korzeniewska, Akihiro Shimotake, Masao Matsuhashi, Takuro Nakae, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Ryosuke Takahashi, Nathan Crone, Akio Ikeda
2. 発表標題 Living or non-living at the early-stage in mesoscale network dynamics during visual recognition
3. 学会等名 第62回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kiyohide Usami, Riki Matsumoto, Anna Korzeniewska, Akihiro Shimotake, Takuro Nakae, Masao Matsuhashi, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Ryosuke Takahashi, Nathan Crone, Akio Ikeda
2. 発表標題 The dynamics of cortical interactions in category-specific visual recognition
3. 学会等名 13th Asian & Oceanian Epilepsy Congress (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kozue Hayashi, Kiyohide Usami, Masaya Togo, Yukihiro Yamao, Akihiro Shimotake, Takeshi Funaki, Takefumi Hitomi, Takayuki Kikuchi, Masao Matsuhashi, Kazumichi Yoshida, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Slow and infraslow of scalp EEG is associated with transient neurological events in Moyamoya disease
3. 学会等名 第62回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kozue Hayashi, Kiyohide Usami, Masaya Togo, Yukihiro Yamao, Akihiro Shimotake, Takeshi Funaki, Takefumi Hitomi, Takayuki Kikuchi, Masao Matsuhashi, Kazumichi Yoshida, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Slow and infraslow of scalp EEG is associated with transient neurological events in Moyamoya disease
3. 学会等名 13th Asian & Oceanian Epilepsy Congress (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kyoko Hosokawa, Kiyohide Usami, Yu Tatsuoka, Masayuki Honda, Takefumi Hitomi, Akihiro Shimotake, Masao Matsuhashi, Daisuke Danno, Takao Takeshima, Yoshihisa Tatsuoka, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Reappraisal of abnormal EEG in migraine by wide-band scalp EEG: including differences from epilepsy
3. 学会等名 第54回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kyoko Hosokawa, Kiyohide Usami, Yu Tatsuoka, Masayuki Honda, Takefumi Hitomi, Akihiro Shimotake, Masao Matsuhashi, Daisuke Danno, Takao Takeshima, Yoshihisa Tatsuoka, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Reappraisal of abnormal EEG in migraine by wide-band digital EEG
3. 学会等名 第62回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Masahiro Gotoh, Katsuya Kobayashi, Shunsuke Kajikawa, Masao Matsuhashi, Kiyohide Usami, Akihiro Shimotake, Takefumi Hitomi, Yukihiro Yamao, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Inter-ictal enhanced high frequency activities on the hypersynchronous pattern as a biomarker of the transition to epileptic seizures
3. 学会等名 13th Asian & Oceanian Epilepsy Congress (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Masaki Izumi, Katsuya Kobayashi, Shunsuke Kajikawa, Yoji Okahara, Kyoko Aoyagi, Seiichiro Mine, Akio Ikeda
2. 発表標題 Ictal direct current shifts in intracranial electroencephalography recorded using amplifier with original time constant 2 s
3. 学会等名 13th Asian & Oceanian Epilepsy Congress (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Masako Daifu-Kobayashi, Masao Matsubishi, Morito Inouchi, Katsuya Kobayashi, Akihiro Shimotake, Takefumi Hitomi, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Riki Matsumoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Red slow in epilepsy surgery: Interictal co-occurrence of slow and high frequency activity
3. 学会等名 第62回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Masako Daifu-Kobayashi, Masao Matsubishi, Morito Inouchi, Katsuya Kobayashi, Akihiro Shimotake, Takefumi Hitomi, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Riki Matsumoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Red slow in epilepsy surgery: Interictal co-occurrence of slow and high frequency activity in patients with epilepsy
3. 学会等名 13th Asian & Oceanian Epilepsy Congress (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Masayuki Honda, Akihiro Shimotake, Katsuya Kobayashi, Mitsuhiro Sakamoto, Atushi Shima, Kozue Hayashi, Maya Tojima, Hirofumi Takeyama, Kiyohide Usami, Takefumi Hitomi, Riki Matsumoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Long term clinical course and volumetric change in patients with Anti-GAD Antibodies Associated Limbic Encephalitis
3. 学会等名 13th Asian & Oceanian Epilepsy Congress (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Maya Tojima, Atsushi Shima, Takefumi Hitomi, Tomohiko Murai, Hirofumi Takeyama, Katsuya Kobayashi, Kiyohide Usami, Akihiro Shimotake, Masao Matsuhashi, Nobukatsu Sawamoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Hypometabolism of cerebral cortex in progressive myoclonus epilepsy
3. 学会等名 第62回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Maya Tojima, Atsushi Shima, Takefumi Hitomi, Tomohiko Murai, Hirofumi Takeyama, Katsuya Kobayashi, Kiyohide Usami, Akihiro Shimotake, Masao Matsuhashi, Nobukatsu Sawamoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Different hypometabolism of cerebral cortex among progressive myoclonus epilepsy
3. 学会等名 13th Asian & Oceanian Epilepsy Congress (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Maya Tojima, Masao Matsuhashi, Takefumi Hitomi, Kazuki Oi, Katsuya Kobayashi, Kiyohide Usami, Akihiro Shimotake, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Origin of giant somatosensory evoked potentials (SEPs) using principal component analysis: P25-HF0s were exclusively seen in benign adult familial myoclonus epilepsy (BAFME)
3. 学会等名 7th Asian-Oceanian Congress on Clinical Neurophysiology (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Maya Tojima, Shuichiro Neshige, Takefumi Hitomi, Masao Matsuhashi, Kazuki Oi, Katsuya Kobayashi, Kiyohide Usami, Akihiro Shimotake, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Markedly suppressed and prolonged giant SEPs by perampanel: a decade-long course in Unverricht-Lundborg disease
3. 学会等名 17th Asian Oseanian Congress of Neurology (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名	Mayumi Otani, Riki Matsumoto, Akihiro Shimotake, Mitsuhiro Sakamoto, Takuro Nakae, Masao Matsuhashi, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Matthew A Lambon Ralph, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題	Anatomo-functional correlation of language areas: principal component analysis of mapping findings
3. 学会等名	第62回日本神経学会学術大会
4. 発表年	2021年

1. 発表者名	Mayumi Otani, Riki Matsumoto, Akihiro Shimotake, Mitsuhiro Sakamoto, Takuro Nakae, Masao Matsuhashi, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Matthew A Lambon Ralph, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題	Anatomo-functional correlation of language areas: principal component analysis of mapping findings
3. 学会等名	13th Asian & Oceanian Epilepsy Congress (国際学会)
4. 発表年	2021年

1. 発表者名	Miwa Takatani, Masao Matsuhashi, Shunsuke Kajikawa, Kiyohide Usami, Akihiro Shimotake, Masako Daifu-Kobayashi, Takefumi Hitomi, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題	Focal delta slow wave with fast oscillations in scalp-EEG may represent epileptogenicity in epilepsy
3. 学会等名	第62回日本神経学会学術大会
4. 発表年	2021年

1. 発表者名	Miwa Takatani, Masao Matsuhashi, Shunsuke Kajikawa, Kiyohide Usami, Akihiro Shimotake, Masako Daifu-Kobayashi, Takefumi Hitomi, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題	Focal delta slow wave with fast oscillations in scalp-EEG may represent epileptogenicity in focal epilepsy: Proposal of scalp Red slow (epileptic slow)
3. 学会等名	13th Asian & Oceanian Epilepsy Congress (国際学会)
4. 発表年	2021年

1. 発表者名 Shunsuke Kajikawa, Katsuya Kobayashi, Riki Matsumoto, Tadashi Okada, Mayumi Otani, Masaya Togo, Kiyohide Usami, Akihiro Shimotake, Masao Matsuhashi, Yukihiro Yamao, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Direct, not network-mediated, electrical stimulation reduces excitability in the epileptic focus
3. 学会等名 第62回日本神経学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Shunsuke Kajikawa, Katsuya Kobayashi, Riki Matsumoto, Tadashi Okada, Mayumi Otani, Masaya Togo, Kiyohide Usami, Akihiro Shimotake, Masao Matsuhashi, Yukihiro Yamao, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Direct, not network-mediated, electrical stimulation reduces excitability in the epileptic focus
3. 学会等名 13th Asian & Oceanian Epilepsy Congress (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Shunsuke Kajikawa, Masao Matsuhashi, Tamaki Kobayashi, Takao Namiki, Akio Ikeda
2. 発表標題 Pathophysiology of glias and neurons in epilepsy: Correlation between ictal DC shifts and pathology
3. 学会等名 第62回日本神経学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Shunsuke Kajikawa, Takefumi Hitomi, Tomohiko Murai, Katsuya Kobayashi, Akihiro Shimotake, Kiyohide Usami, Masao Matsuhashi, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Scalp EEG could record ictal DC shift in both focal and generalized epilepsy
3. 学会等名 第54回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Tadashi Okada, Maya Tojima, Yuhto Mitsuno, Yasunori Nagai, Akihiro Shimotake, Shuichiro Neshige, Kiyohide Usami, Masao Matsuhashi, Yukihiro Yamao, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Riki Matsumoto, Takeharu Kunieda, Ryosuke Takahashi, Susumu Miyamoto, Akio Ikeda
2. 発表標題 Addition of MEG to specific consistency score improves outcome prediction after epilepsy surgery
3. 学会等名 13th Asian & Oceanian Epilepsy Congress (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Tadashi Okada, Maya Tojima, Yuhto Mitsuno, Yasunori Nagai, Akihiro Shimotake, Shuichiro Neshige, Kiyohide Usami, Masao Matsuhashi, Yukihiro Yamao, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Riki Matsumoto, Takeharu Kunieda, Takao Namiki, Ryosuke Takahashi, Susumu Miyamoto, Akio Ikeda
2. 発表標題 Addition of MEG to specific consistency score improves outcome prediction after epilepsy surgery
3. 学会等名 第51回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Takefumi Hitomi, Maya Tojima, Kazuki Oi, Katsuya Kobayashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 How to record giant SEPs and jerk-locked back averaging in Cortical Myoclonus
3. 学会等名 13th Asian & Oceanian Epilepsy Congress (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Takefumi Hitomi, Maya Tojima, Kazuki Oi, Shamima Sultana, Masayuki Honda, Hirofumi Takeyama, Katsuya Kobayashi, Akihiro Shimotake, Kiyohide Usami, Masao Matsuhashi, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 No or little progression of EEG abnormality in benign adult familial myoclonus epilepsy (BAFME)
3. 学会等名 第62回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 宇佐美 清英
2. 発表標題 神経生理からせまる意識と睡眠の脳科学
3. 学会等名 第51回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 永井 俊行, 宇佐美 清英, 後藤 昌広, 尾谷 真弓, 光野 優人, 山田 大輔, 山尾 幸広, 吉田 和道, 菊池 隆幸, 松橋 眞生, 池田 昭夫
2. 発表標題 過運動発作の難治性部分てんかんの術前評価における硬膜外電極の特別な有用性の検討
3. 学会等名 第51回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 永井 俊行, 下竹 昭寛, 後藤 昌広, 戸島 麻耶, 梶川 駿介, 山尾 幸広, 宇佐美 清英, 菊池 隆幸, 松橋 眞生, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 発作時頭皮脳波開始前にDC電位を認めた粗大病変の難治左側頭葉てんかんの一例
3. 学会等名 第17回日本てんかん学会近畿地方会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 塩原 崇史, 西村 光平, 小林 勝哉, 宇佐美 清英, 江川 斉宏, 葛谷 聡, 高橋 良輔
2. 発表標題 プリオン蛋白V180I変異による遺伝性クロイツフェルト・ヤコブ病の1例
3. 学会等名 日本内科学会第231回近畿地方会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岡田 直, 戸島 麻耶, 光野 優人, 永井 靖識, 下竹 昭寛, 音成 秀一郎, 宇佐美 清英, 松橋 眞生, 山尾 幸広, 菊池 隆幸, 吉田 和道, 松本 理器, 國枝 武治, 高橋 良輔, 宮本 享, 池田 昭夫
2. 発表標題 てんかん外科治療適応の評価におけるMEGの意義の後方視的検討
3. 学会等名 第62回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岡田 直, 戸島 麻耶, 光野 優人, 永井 靖識, 下竹 昭寛, 音成 秀一郎, 宇佐美 清英, 松橋 眞生, 山尾 幸広, 菊池 隆幸, 吉田 和道, 松本 理器, 國枝 武治, 高橋 良輔, 宮本 享, 池田 昭夫
2. 発表標題 Specific consistency scoreにMEGによる評価を追加することでてんかん手術後の転帰予測を改善する
3. 学会等名 第54回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 下竹 昭寛
2. 発表標題 教育コース11 意識障害のデジタル脳波判読
3. 学会等名 第62回日本神経学会学術大会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 下竹 昭寛, 尾谷 真弓, 山尾 幸広, 菊池 隆幸, 松本 理器, 池田 昭夫
2. 発表標題 低侵襲皮質電気刺激マッピング
3. 学会等名 第51回日本臨床神経生理学会学術大会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 河村 祐貴, 岡田 直, 山田 大輔, 光野 優人, 山尾 幸広, 菊池 隆幸, 吉田 和道, 松橋 眞生, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 脳磁図所見とてんかん外科手術転帰の検討
3. 学会等名 第62回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 河村 祐貴, 岡田 直, 山田 大輔, 光野 優人, 松橋 眞生, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 当院における脳磁図での等価双極子非集簇例とその転帰についての検討
3. 学会等名 第54回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 河村 祐貴, 岡田 直, 山田 大輔, 光野 優人, 高橋 良輔, 松橋 眞生, 池田 昭夫
2. 発表標題 脳磁図で発作間欠期の鋭一過性波のみ認められた症例での転帰についての検討
3. 学会等名 第36回日本生体磁気学会大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 河村 祐貴, 十河 正弥, 小林 勝哉, 宇佐美 清英, 下竹 昭寛, 松橋 眞生, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 症候性全般てんかんの経過中に低カルニチン血症を認め、カルニチン補充により発作頻度の改善を認めた一例
3. 学会等名 第16回日本てんかん学会近畿地方会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 外山 瑞葉, 大封 昌子, 宇佐美 清英, 渡邊 裕子, 下竹 昭寛, 池田 昭夫, 高橋 良輔
2. 発表標題 発作性に高アンモニア血症を来たし、遺伝子検査にてカルバミルリン酸合成酵素(CPS1)欠損症と診断した成人例
3. 学会等名 日本神経学会第121回近畿地方会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 梶川 駿介, 人見 健文, 北野 和樹, 十河 正弥, 三村 直哉, 宇佐美 清英, 小林 勝哉, 下竹 昭寛, 松橋 眞生, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 時定数2秒の頭皮上脳波でinfraslowとcyclic seizure patternを記録できた1例の臨床的意義
3. 学会等名 第35回日本神経救急学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 梶川 駿介, 人見 健文, 北野 和樹, 十河 正弥, 三村 直哉, 宇佐美 清英, 小林 勝哉, 下竹 昭寛, 松橋 眞生, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 時定数2秒の頭皮上脳波でcyclic seizure patternに伴うinfraslow oscillationを呈した1例
3. 学会等名 第51回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 戸島 麻耶, 下竹 昭寛, 音成 秀一郎, 岡田 直, 小林 勝哉, 宇佐美 清英, 松橋 眞生, 吉田 健司, 伏見 育崇, 山尾 幸広, 菊池 隆幸, 吉田 和道, 行木 孝夫, 松本 理器, 國枝 武治, 宮本 享, 池田 昭夫
2. 発表標題 てんかん外科治療適応を客観的・効率的に評価するスコアシステム導入: Specific Consistency Scoreの検討
3. 学会等名 第54回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 戸島 麻耶, 下竹 昭寛, 音成 秀一郎, 岡田 直, 本多 正幸, 武山 博文, 小林 勝哉, 宇佐美 清英, 人見 健文, 松橋 眞生, 吉田 健司, 伏見 育崇, 岡田 知久, 山尾 幸広, 菊池 隆幸, 吉田 和道, 行木 孝夫, 松本 理器, 國枝 武治, 高橋 良輔, 宮本 享, 池田 昭夫
2. 発表標題 てんかん外科治療適応の効率的評価のためのスコアリングシステム: Specific Consistency Scoreの重み付けの検討
3. 学会等名 第44回日本てんかん外科学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 戸島 麻耶, 西田 茂人, 人見 健文, 松橋 眞生, 杉 剛直, 長峯 隆, 池田 昭夫
2. 発表標題 誘発電位モデルを用いたペランパネル治療前後の巨大体性感覚誘発電位の比較
3. 学会等名 第51回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 後藤 昌広, 梶川 駿介, 宇佐美 清英, 下竹 昭寛, 小林 勝哉, 人見 健文, 山尾 幸広, 菊池 隆幸, 吉田 和道, 宮本 享, 松橋 眞生, 大野 行弘, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 難治性てんかんにおいて細胞外K濃度の変動状態が発作発現に関与する可能性
3. 学会等名 第16回日本てんかん学会近畿地方会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 後藤 昌広, 梶川 駿介, 宇佐美 清英, 下竹 昭寛, 小林 勝哉, 人見 健文, 山尾 幸広, 菊池 隆幸, 吉田 和道, 松橋 眞生, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 Hypersynchronous patternを呈した側頭葉てんかんの発作移行への分岐点は?
3. 学会等名 第62回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 後藤 昌広, 梶川 駿介, 宇佐美 清英, 下竹 昭寛, 小林 勝哉, 人見 健文, 山尾 幸広, 菊池 隆幸, 吉田 和道, 松橋 眞生, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 Hypersynchronous patternに重畳する高周波活動の解析: 発作の予測・早期検出マーカーとしての可能性
3. 学会等名 第54回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 後藤 昌広, 小林 勝哉, 松橋 眞生, 山尾 幸広, 菊池 隆幸, 吉田 和道, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 Ictal DC shiftのAIでの検出: preliminary analysis
3. 学会等名 第45回日本てんかん外科学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 後藤 昌広, 小林 勝哉, 尾谷 真弓, 松橋 眞生, 宇佐美 清英, 下竹 昭寛, 山田 大輔, 光野 優人, 山尾 幸広, 菊池 隆幸, 吉田 和道, 池田 昭夫
2. 発表標題 過運動発作の硬膜外電極脳波記録における発作時高周波活動の進展様式解析はてんかん焦点側方性同定に有用となりうる
3. 学会等名 第51回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 佐藤 啓, 人見 健文, 松橋 眞生, 小林 勝哉, 下竹 昭寛, 葛谷 聡, 木下 彩栄, 松本 理器, 武地 一, 杉 剛直, 西田 茂人, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 変性疾患による認知症の脳波所見の相違: 視察と自動判読による検討
3. 学会等名 第51回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 細川 恭子, 宇佐美 清英, 梶川 駿介, 下竹 昭寛, 立岡 良久, 池田 昭夫, 高橋 良輔
2. 発表標題 体外離脱体験と多彩な視覚症状を呈し、部分てんかん発作との鑑別を要した片頭痛患者の一例
3. 学会等名 第62回京滋奈良てんかん懇話会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 細川 恭子, 宇佐美 清英, 立岡 悠, 本多 正幸, 人見 健文, 下竹 昭寛, 松橋 眞生, 團野 大介, 竹島 多賀夫, 立岡 良久, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 広域周波数帯域脳波 (wide-band EEG) 解析を用いた片頭痛における低周波帯域を中心とした脳波所見の再検討
3. 学会等名 第51回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 坂東 宏樹, 戸島 麻耶, 松橋 眞生, 宇佐美 清英, 池田 昭夫, 高橋 良輔
2. 発表標題 進行性ミオクローヌスてんかんの脳波へのペランパネルの影響：後頭部優位律動の検討
3. 学会等名 第62回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 三村 直哉, 宇佐美 清英, 安田 謙, 眞木 崇州, 人見 健文, 松橋 眞生, 池田 昭夫, 高橋 良輔
2. 発表標題 視床出血による非けいれん性てんかん重責状態と考えられた一例
3. 学会等名 第35回日本神経救急学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 三村 直哉, 宇佐美 清英, 梶川 駿介, 松橋 眞生, 江川 悟史, 中本 英俊, 池田 昭夫
2. 発表標題 急性脳障害における頭皮上脳波での超低周波活動に関する検討
3. 学会等名 第62回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山中 治郎, 戸島 麻耶, 小林 勝哉, 人見 健文, 松橋 眞生, 十川 純平, 宇佐美 清英, 下竹 昭寛, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 良性成人型家族性ミオクローヌスてんかんの特異的バイオマーカー候補:体性感覚誘発電位の単一試行波形での事象関連同期/脱同期現象
3. 学会等名 第51回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山中 治郎, 戸島 麻耶, 小林 勝哉, 人見 健文, 松橋 眞生, 大井 和起, 武山 博文, 宇佐美 清英, 下竹 昭寛, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 BAFMEのcortical tremorの発生機構: 巨大SEPに後続反復する広周波数帯域の同期と脱同期
3. 学会等名 第62回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山中 治郎, 人見 健文, 戸島 麻耶, 小林 勝哉, 石橋 はるか, 三村 直哉, 大井 和起, 松橋 眞生, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 正中神経電気刺激により繰り返しC反射を上肢に広範に認めた良性成人型家族性ミオクローヌスてんかんの1例
3. 学会等名 第54回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 謝 策, 宇佐美 清英, 渡邊 真, 江川 斉宏, 河村 祐貴, 白波瀬 勇人, 池田 昭夫, 高橋 良輔
2. 発表標題 虚血性心疾患が疑われ救急搬送されたが、たこつぼ型心筋症を併発したてんかん発作と判明した 1 例
3. 学会等名 第35回日本神経救急学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 謝 策, 下竹 昭寛, 大封 昌子, 立岡 悠, 宮田 淳, 江川 斉広, 池田 昭夫, 高橋 良輔
2. 発表標題 失語、失書で発症した非典型的な臨床経過を示した抗NMDA受容体脳炎の1例
3. 学会等名 第39回日本神経治療学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 謝 策, 西村 光平, 樽野 陽亮, 菊谷 明広, 小林 勝哉, 宇佐美 清英, 江川 斉宏, 葛谷 聡, 高橋 良輔
2. 発表標題 Creutzfeldt-Jacob病 連続3例の比較検討
3. 学会等名 第62回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 手納 忠信, 小林 勝哉, 宇佐美 清英, 石橋 はるか, 江川 斉宏, 葛谷 聡, 池田 昭夫, 高橋 良輔
2. 発表標題 低用量ペランパネルによりてんかん性ミオクローヌスと歩行障害が改善した良性成人型家族性ミオクローヌステんかん(BAFME)の1例
3. 学会等名 日本内科学会第231回近畿地方会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 初田 直駿, 平田 真也, 小林 勝哉, 綾木 孝, 宇佐美 清英, 江川 斉宏, 廣田 伸之, 高橋 良輔
2. 発表標題 亜急性の経過でニューロパチーとミオパチーを合併したサルコイドーシスの1例
3. 学会等名 日本神経学会第118回近畿地方会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小倉 祐太, 王 智鵬, 三浦 瑠莉, 白川 孝太郎, 宇佐美 清英, 高橋 良輔
2. 発表標題 複数の免疫治療を施行した抗 myelin-associated glycoprotein(MAG)抗体関連ニューロパチーの1例
3. 学会等名 日本内科学会第235回近畿地方会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小林 勝哉, 菊池 隆幸, 松本 理器, 國枝 武治, 池田 昭夫
2. 発表標題 定位的頭蓋内脳波(SEEG)の判読
3. 学会等名 第51回日本臨床神経生理学会学術大会(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小林 勝哉, 菊池 隆幸, 松本 理器, 國枝 武治, 池田 昭夫, Juan Bulacio, Dileep Nair
2. 発表標題 アンカーボルトを用いたSEEGによるMRI陰性てんかん術前評価: 経験症例の提示を含めて
3. 学会等名 第54回日本てんかん学会学術集会(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小林 勝哉, 人見 健文, 松橋 眞生, 池田 昭夫, 井上 有史
2. 発表標題 稀少疾患レジストリの重要性と今後の展開: 海外との連携など
3. 学会等名 第54回日本てんかん学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 松橋 眞生, 岡田 直, 光野 優人, 河村 祐貴, 山田 大輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 ダイポール推定とTSI法の組み合わせによるてんかん発作間欠期棘波の半自動解析
3. 学会等名 第36回日本生体磁気学会大会・第60回日本生体医工学会大会 (合同開催)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 松田 明宏, 三浦 瑠莉, 小林 勝哉, 宇佐美 清英, 江川 斉宏, 葛谷 聡, 高橋 良輔
2. 発表標題 頭部画像を繰り返し撮像することで診断に至った脳静脈血栓症の1例
3. 学会等名 第62回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 人見 健文
2. 発表標題 デジタル脳波の記録と判読の基本 脳波セミナー
3. 学会等名 第16回日本てんかん学会近畿地方会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 人見 健文, 戸島 麻耶, 音成 秀一郎, 小林 勝哉, 高橋 良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 BAFMEの臨床特徴への新しい視点と病態機構: 律動性(皮質振戦)と緩徐進行性 シンポジウム5 BAFMEを通して学びたいこと
3. 学会等名 第51回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 人見 健文, 谷岡 洸介, 本多 正幸, 松橋 眞生, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 遠隔脳波判読 Tele-EEG reading system シンポジウム14 遠隔医療 D to D
3. 学会等名 第51回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 石橋 はるか, 戸島 麻耶, 人見 健文, 音成 秀一郎, 小林 勝哉, 本多 正幸, 武山 博文, 宇佐美 清英, 下竹 昭寛, 松橋 眞生, 丸山 博文, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 Giant SEPにおける短-中潜時成分は発作性脱分極シフトの指標となりうるか
3. 学会等名 第62回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 石橋 はるか, 戸島 麻耶, 人見 健文, 小林 勝哉, 山中 治郎, 松橋 眞生, 音成 秀一郎, 宇佐美 清英, 下竹 昭寛, 本多 正幸, 丸山 博文, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 巨大SEPの短-中潜時成分は突発性脱分極偏位と後続する抑制成分を反映しうる
3. 学会等名 第51回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 石橋 はるか, 小林 勝哉, 戸島 麻耶, 音成 秀一郎, 人見 健文, 石浦 浩之, 辻 省次, 丸山 博文, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 良性成人型家族性ミオクローヌスてんかん(BAFME)の臨床診断基準の有用性: 遺伝子検査との整合性の検討
3. 学会等名 第54回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 川竹 絢子, 宇佐美 清英, 西村 光平, 十川 夏子, 江川 斉宏, 池田 昭夫, 高橋 良輔
2. 発表標題 高尿酸血症と急性腎障害を伴うけいれん重積状態にCHDFとステロイド?ハ?ルスか?奏功した一例
3. 学会等名 第62回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大井 和起, 人見 健文, 松橋 眞生, 本多 正幸, 下竹 昭寛, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 全般てんかん症候群間の頭皮脳波の高周波活動の違い: てんかん原性の程度を反映するか
3. 学会等名 第62回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大封 昌子, Olesya Grinenko, Jian Li, Dileep R Nair, 池田 昭夫, Patrick Chauvel
2. 発表標題 Ictal slow shifts can be the "fingerprint" of epileptogenic zone
3. 学会等名 第54回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大封 昌子, 松橋 眞生, Patrick Chauvel, 池田 昭夫
2. 発表標題 "Red slow"と"Fingerprint ictal pattern"におけるHFO
3. 学会等名 第54回日本てんかん学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 池田 昭夫
2. 発表標題 日本のてんかん外科へのメッセージ: 脳神経内科とILAEの視点から
3. 学会等名 第44回日本てんかん外科学会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 池田 昭夫
2. 発表標題 集中治療のための急性期脳波モニタリングの基礎: 難治てんかんのEMUモニタリングとの比較から
3. 学会等名 第48回日本集中治療医学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 池田 昭夫
2. 発表標題 教育コース21 小児てんかん治療の留意点
3. 学会等名 第62回日本神経学会学術大会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 池田 昭夫
2. 発表標題 グリアニューロン連関からの難治てんかんへのアプローチ
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第80回学術集会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 池田 昭夫
2. 発表標題 てんかんの診断と治療：基本と最新情報
3. 学会等名 第39回日本神経治療学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 池田 昭夫
2. 発表標題 緩電位と高周波活動の役割：臨床的意義はどこまでわかったか？Wide-band EEG ranging from DC-infraslow to high frequency oscillation
3. 学会等名 第51回日本臨床神経生理学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 池田 昭夫
2. 発表標題 サブスペシャルティ専門医制度への日本てんかん学会の方針
3. 学会等名 第51回日本臨床神経生理学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 池田 昭夫
2. 発表標題 Designated remark A guideline needed for standardization toward S-EEG in Japan?
3. 学会等名 第45回日本てんかん外科学会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 池田 昭夫
2. 発表標題 グリアニューロン連関と難治部分てんかん Glia-neuron association and intractable focal epilepsy
3. 学会等名 第45回日本てんかん外科学会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 田村 優, 梶川 駿介, 大西 優輝, 西村 光平, 吉田 弘樹, 井内 盛遠
2. 発表標題 てんかん重積状態により頭部MRIにてCrossed Cerebellar Diaschisisを呈した脳卒中後てんかんの1例
3. 学会等名 第17回日本てんかん学会近畿地方会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 本多 正幸, 下竹 昭寛, 小林 勝哉, 坂本 光弘, 島 淳, 林 梢, 戸島 麻耶, 武山 博文, 宇佐美 清英, 人見 健文, 松本 理器, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 くすぶり型の抗GAD抗体陽性辺縁系脳炎患者群の長期経過：臨床的特徴と海馬・扁桃体容積の検討
3. 学会等名 第62回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 野田 康平, 大封 昌子, 井上 穰, 宇佐美清英, 下竹 昭寛, 池田 昭夫, 高橋 良輔
2. 発表標題 多彩な不随意運動を伴い診断に苦慮した平山病疑いの一例
3. 学会等名 日本神経学会第120回近畿地方会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 薬師川 高明, 宇佐美 清英, 川竹 絢子, 西村 光平, 十川 夏子, 江川 斉宏, 高橋 良輔
2. 発表標題 脊髄MRIで神経根の造影効果を認めたALS疑いの若年患者の1例
3. 学会等名 第62回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 立岡 悠, 下竹 昭寛, 河村 祐貴, 人見 健文, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 パルプロ酸投与中でのてんかん患者におけるカルニチン欠乏症の検討
3. 学会等名 第54回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 立岡 悠, 下竹 昭寛, 細川 恭子, 戸島 麻耶, 永井 俊行, 宇佐美 清英, 松橋 眞生, 葛谷 聡, 池田 昭夫, 高橋 良輔
2. 発表標題 初発から診断まで年余の経過を要したFAS(SPS)主体の扁桃体腫大を伴う側頭葉てんかんの2例
3. 学会等名 第63回京滋奈良てんかん懇話会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 林 梢, 宇佐美 清英, 佐藤 啓, 佐藤 和明, 加納 清充, 池田 昭夫
2. 発表標題 高齢者のてんかん性意識障害における陽性棘波の脳波変化-burst of positive and negative spikeを認めた3例-
3. 学会等名 第51回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 和泉 允基, 小林 勝哉, 梶川 駿介, 岡原 陽二, 青柳 京子, 池田 昭夫, 峯 清一郎
2. 発表標題 記録時定数2秒での頭蓋内脳波記録における発作時DC電位と発作転帰の相関
3. 学会等名 第45回日本てんかん外科学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 和泉 允基, 小林 勝哉, 梶川 駿介, 岡原 陽二, 青柳 京子, 池田 昭夫, 峯 清一郎
2. 発表標題 記録時定数2秒での頭蓋内脳波記録における発作時DC電位と発作転帰の相関
3. 学会等名 第51回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小金丸 聡子, 武村 優, 入澤 寛, 美馬 達哉, 美津島 隆, 神作 憲司
2. 発表標題 嚙下観察による脳活動変化 - 健常人における検討
3. 学会等名 第5回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 美馬 達哉
2. 発表標題 Closed-loop方式での非侵襲的脳刺激法による歩行再建とその生理機構
3. 学会等名 第51回日本臨床神経生理学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 芝田 純也, 渡邊 龍憲, 湯川 喜裕, 水口 雅俊, 下村 亮太, 市村 幸盛, 桐本 光, 美馬 達哉
2. 発表標題 経頭蓋静磁場刺激による脳波への影響：tSMS-EEG計測によるネットワーク分析
3. 学会等名 第51回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小金丸 聡子, 武村 優, 入澤 寛, 美馬 達哉, 美津島 隆, 神作 恵司
2. 発表標題 ALSの嚥下障害症例1例における脳波による嚥下関連脳活動
3. 学会等名 第58回日本リハビリテーション医学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山尾幸広, 松本理器, 菊池隆幸, 吉田和道, 國枝武治, 宮本享
2. 発表標題 皮質-皮質間誘発電位(CCEP)を用いた術中言語モニタリングの有効性
3. 学会等名 第27回日本脳神経モニタリング学会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山尾幸広, 松本理器, 菊池隆幸, 吉田和道, 國枝武治, 宮本享
2. 発表標題 皮質-皮質間誘発電位 (CCEP) を用いた術中機能ネットワークモニタリング
3. 学会等名 第51回日本臨床神経整理学会学術大会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 中村 和, 本多 正幸, 邊見 名見子, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 一過性てんかん性健忘の臨床的特徴
3. 学会等名 第50回日本臨床神経生理学会学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 尾谷 真弓, 松本 理器, 下竹 昭寛, 坂本 光弘, 中江 卓郎, 松橋 眞生, 菊池 隆幸, 吉田 和道, 國枝 武治, Lambon Ralph Mathew, 宮本 享, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 てんかん外科の皮質電気刺激による言語機能マッピングにおける機能解剖連関の検討
3. 学会等名 第50回日本臨床神経生理学会学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 梶川 駿介, 松橋 眞生, 人見 健文, 塚本 剛士, 高谷 美和, 舟木 健史, 山尾 幸広, 菊池 隆幸, 吉田 和道, 長谷川 浩史, 澤田 眞寛, 漆谷 真, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 頭部外傷急性期に時定数2秒の頭皮上脳波で皮質拡散脱分極(Cortical spreading depolarizations:CSDs)を記録できた2症例: 臨床的意義と記録条件の考察
3. 学会等名 第50回日本臨床神経生理学会学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名	Shunsuke Kajikawa, Riki Matsumoto, Katsuya Kobayashi, Masao Matsuhashi, Tadashi Okada, Mayumi Otani, Masaya Togo, Hirofumi Takeyama, Kiyohide Usami, Akihiro Shimotake, Yukihiro Yamao, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題	Exogeneous input to the epileptic focus modulates high frequency activities at the site of stimulation: a direct single pulse stimulation study
3. 学会等名	第43回日本神経科学大会
4. 発表年	2020年

1. 発表者名	Miwa Takatani, Masao Matsuhashi, Shunsuke Kajikawa, Masaya Togo, Kiyohide Usami, Akihiro Shimotake, Takefumi Hitomi, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題	Red slow detection in scalp-EEG recorded from epileptogenic zone of temporal lobe epilepsy patients
3. 学会等名	第61回日本神経学会学術大会
4. 発表年	2020年

1. 発表者名	石橋 はるか, 宇佐美 清英, 高橋 瑠莉, 河村 祐貴, 後藤 昌広, 細川 恭子, 音成 秀一郎, 下竹 昭寛, 本多 正幸, 人見 健文, 松橋 眞生, 丸山 博文, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題	時間周波数解析での後頭部優位律動の適切な抽出は心因性非てんかん性発作(PNES)診断に有用である
3. 学会等名	第50回日本臨床神経生理学会学術集会
4. 発表年	2020年

1. 発表者名	Kyoko Hosokawa, Kiyohide Usami, Masaya Togo, Takehumi Hitomi, Akihiro Shimotake, Masao Matsuhashi, Daisuke Danno, Takao Takeshima, Yoshihisa Tatsuoka, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題	Reappraisal of abnormal EEG in migraine by wide-band EEG: a pilot study
3. 学会等名	第61回日本神経学会学術大会
4. 発表年	2020年

1. 発表者名 細川 恭子, 宇佐美 清英, 立岡 悠, 本多 正幸, 人見 健文, 下竹 昭寛, 松橋 眞生, 團野 大介, 竹島 多賀夫, 立岡 良久, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 広域周波数帯域脳波 (wide-band EEG) 解析を用いた片頭痛における脳波所見の再検討
3. 学会等名 第50回日本臨床神経生理学会学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 戸島 麻耶, 下竹 昭寛, 音成 秀一郎, 岡田 直, 十河 正弥, 本多 正幸, 武山 博文, 小林 勝哉, 宇佐美 清英, 人見 健文, 松橋 眞生, 吉田 健司, 伏見 育崇, 岡田 知久, 山尾 幸広, 菊池 隆幸, 吉田 和道, 松本 理器, 國枝 武治, 高橋 良輔, 宮本 享, 池田 昭夫
2. 発表標題 てんかん外科治療適応の効率的评价: 特異度を重視したスコアリングシステムの試み
3. 学会等名 第61回京滋奈良てんかん懇話会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 戸島 麻耶, 福岡 一樹, 田中 智貴, 梶川 駿介, 鴨川 徳彦, 池田 宗平, 小林 勝哉, 下竹 昭寛, 宇佐美 清英, 松橋 眞生, 高橋 良輔, 池田 昭夫, 猪原 匡史
2. 発表標題 周期性放電を認めた脳卒中後てんかんの臨床転帰に関連する脳波の特異的特徴
3. 学会等名 第61回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 戸島 麻耶, 人見 健文, 大井 和起, 小林 勝哉, 宇佐美 清英, 下竹 昭寛, 松橋 眞生, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 良性成人型家族性ミオクローヌステんかん(BAFME)のバイオマーカーの探索: 巨大大体性感覚誘発電位(SEP)の高周波振動(HF0)の多数例解析
3. 学会等名 第50回日本臨床神経生理学会学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 三村 直哉, 梶川 駿介, 下竹 昭寛, 十川 夏子, 中村 和, 石橋 はるか, 本多 正幸, 小林 勝哉, 人見 健文, 二宮 宏智, 松橋 眞生, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 局在するextreme delta brushに類似した波形を呈した2例の臨床-神経生理学的検討
3. 学会等名 第50回日本臨床神経生理学会学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Hayashi Kozue, Masaya Togo, Kiyohide Usami, Yukihiro Yamao, Akihiro Shimotake, Takefumi Hitomi, Takayuki Kikuchi, Masao Matsuhashi, Kazumichi Yoshida, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 ISA is associated with transient cortical dysfunction and hyperperfusion in Moyamoya disease
3. 学会等名 第61回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 林 梢, 宇佐美 清英, 十河 正弥, 山尾 幸広, 下竹 昭寛, 舟木 健史, 人見 健文, 菊池 隆幸, 松橋 眞生, 吉田 和道, 宮本 享, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 もやもや病血流再建術後の過灌流神経症状と脳波変化との関連：超低域徐波の意義
3. 学会等名 第50回日本臨床神経生理学会学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 松橋 眞生
2. 発表標題 Invasive Source Localization と脳磁図
3. 学会等名 第22回日本ヒト脳機能マッピング学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 武山 博文, 松本 理器, 戸島 麻耶, 本多 正幸, 島 淳, 坂本 光弘, 林 梢, 宇佐美 清英, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 Clinical and laboratory Features of Elderly-Onset Temporal Lobe Epilepsy : comprehensive data analysis.
3. 学会等名 第61回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 人見 健文, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 3) 皮質性ミオクローヌスとミオクロニー発作 : てんかん発作か運動異常症か。教育コース 7 てんかん発作か発作性運動異常症か、それが問題だ。
3. 学会等名 第61回日本神経学会学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 人見 健文, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 易しく深くデジタル脳波の利点(講義)。主催セミナー1 脳波ハンズオン
3. 学会等名 第50回日本臨床神経生理学会学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 人見 健文, 小林 勝哉, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 ミオクローヌスてんかん。アドバンスレクチャー10。
3. 学会等名 第50回日本臨床神経生理学会学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 河村 祐貴, 十河 正弥, 宇佐美 清英, 下竹 昭寛, 綾木 孝, 松橋 眞生, 葛谷 聡, 池田 昭夫, 高橋 良輔
2. 発表標題 症候性全般てんかんの経過中に低カルニチン血症を認め、カルニチン補充により発作頻度の改善を認めた一例
3. 学会等名 第61回京滋奈良てんかん懇話会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 河村 祐貴, 松橋 眞生, 池田 昭夫, 神田 益太郎
2. 発表標題 低血糖後に可逆的にPLEDs(周期性一側てんかん型放電)を認めた一例
3. 学会等名 第50回日本臨床神経生理学会学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 後藤 昌広, 梶川 駿介, 宇佐美 清英, 下竹 昭寛, 人見 健文, 山尾 幸広, 菊池 隆幸, 吉田 和道, 松橋 眞生, 高橋 良輔, 宮本 享, 池田 昭夫
2. 発表標題 難治性側頭葉てんかんのsEEGにおける発作期・発作間欠期hypersynchronousパターンの違いの臨床的意義
3. 学会等名 第50回日本臨床神経生理学会学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 後藤 昌広, 梶川 駿介, 宇佐美 清英, 下竹 昭寛, 人見 健文, 山尾 幸広, 菊池 隆幸, 吉田 和道, 宮本 享, 松橋 眞生, 大野 行弘, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 臨床てんかん患者で、細胞外K濃度の変動状態が発作発現に関与する可能性
3. 学会等名 第61回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 出村 彩郁, 木下 真幸子, 櫻井 健世, 松橋 眞生, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 臨床脳波での光刺激に伴う低周波・超低周波活動の予備的検討
3. 学会等名 第50回日本臨床神経生理学会学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山中 治郎, 戸島 麻耶, 大井 和起, 人見 健文, 松橋 眞生, 武山 博文, 宇佐美 清英, 下竹 昭寛, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 巨体性感覚誘発電位(SEP)に続いて繰り返す広周波数帯域の事象関連同期(ERS): cortical tremorとの関連
3. 学会等名 第50回日本臨床神経生理学会学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 宇佐美 清英, 細川恭子, 竹島多賀夫, 立岡良久, 池田 昭夫
2. 発表標題 片頭痛の病態生理研究の新展開 片頭痛の脳波研究: Back to the basic
3. 学会等名 第50回日本臨床神経生理学会学術集会(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 宇佐美 清英, 松本 理器, Anna Korzeniewska, 下竹 昭寛, 中江 卓郎, 松橋 眞生, 菊池 隆幸, 吉田 和道, 國枝 武治, 高橋 良輔, Nathan Crone, Lambon Ralph Matthew, 池田 昭夫
2. 発表標題 生物・非生物の視覚刺激は脳後方で異なる神経活動伝播をもたらす
3. 学会等名 第50回日本臨床神経生理学会学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 宇佐美 清英
2. 発表標題 ベーシックレクチャー11 睡眠脳波の判読
3. 学会等名 第50回日本臨床神経生理学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kiyohide Usami, Riki Matsumoto, Anna Korzeniewska, Akihiro Shimotake, Takuro Nakae, Masao Matsuhashi, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Ryosuke Takahashi, Nathan Crone, Matthew Lambon Ralph, Akio Ikeda
2. 発表標題 Neural processes during picture naming are lateralized and category-biased in occipitotemporal areas
3. 学会等名 第61回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 宇佐美 清英
2. 発表標題 「発作時ビデオ（部分発作）」
3. 学会等名 産学連携教育セミナー 近畿成人てんかんセミナー
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 宇佐美 清英
2. 発表標題 脳内ネットワーク研究を脳生理・病態の理解に生かす
3. 学会等名 第30回京都診療所神経内科専門医会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 岡田 直, 戸島 麻耶, 光野 優人, 永井 靖識, 下竹 昭寛, 音成 秀一郎, 宇佐美 清英, 松橋 眞生, 山尾 幸広, 菊池 隆幸, 吉田 和道, 松本 理器, 國枝 武治, 高橋 良輔, 宮本 享, 池田 昭夫
2. 発表標題 てんかん外科治療適応の評価におけるMEGの意義の後方視的検討
3. 学会等名 第50回日本臨床神経生理学会学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 岡田 直, 戸島 麻耶, 光野 優人, 永井 靖識, 下竹 昭寛, 音成 秀一郎, 宇佐美 清英, 松橋 眞生, 山尾 幸広, 菊池 隆幸, 吉田 和道, 松本 理器, 國枝 武治, 高橋 良輔, 宮本 享, 池田 昭夫
2. 発表標題 てんかん外科治療適応の評価におけるMEGの意義の後方視的検討
3. 学会等名 第61回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Haruka Ishibashi, Kiyohide Usami, Shuichiro Neshige, Hirofumi Maruyama, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 How to identify posterior dominant rhythm among obscuring EMG artifacts in psychogenic non-epileptic seizures: Time-frequency analysis can help us
3. 学会等名 17th Asian Oseanian Congress of Neurology (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 手納 忠信, 小林 勝哉, 宇佐美 清英, 石橋 はるか, 江川 斉宏, 葛谷 聡, 池田 昭夫, 高橋 良輔
2. 発表標題 低用量ベランパネルによりてんかん性ミオクローヌスと歩行障害が改善した良性成人型家族性ミオクローヌステんかん(BAFME)の1例
3. 学会等名 第231回内科学会近畿地方会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 細川 恭子, 宇佐美 清英, 梶川 駿介, 下竹 昭寛, 立岡 良久, 池田 昭夫, 高橋 良輔
2. 発表標題 体外離脱体験と多彩な視覚症状を呈し、部分てんかん発作との鑑別を要した片頭痛患者の一例
3. 学会等名 第62回京滋奈良てんかん懇話会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kazuki Oi, Shuichiro Neshige, Takefumi Hitomi, Katsuya Kobayashi, Maya Tojima, Masao Matsuhashi, Akihiro Shimotake, Daiki Fujii, Riki Matsumoto, Shuhei Kasama, Masutaro Kanda, Yoshiaki Wada, Hirofumi Maruyama, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 LOW-DOSE PERAMPANEL IMPROVES REFRACTORY CORTICAL MYOCLONUS BY THE DISPERSED AND SUPPRESSED PAROXYSMAL DEPOLARIZATION SHIFTS IN THE SENSORIMOTOR CORTEX
3. 学会等名 7th Asian-Oceanian Congress on Clinical Neurophysiology (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 後藤 昌広, 梶川 駿介, 宇佐美 清英, 下竹 昭寛, 小林 勝哉, 人見 健文, 山尾 幸広, 菊池 隆幸, 吉田 和道, 宮本 享, 松橋 眞生, 大野 行弘, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 難治性てんかんにおいて細胞外K濃度の変動状態が発作発現に関与する可能性
3. 学会等名 第16回日本てんかん学会近畿地方会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 河村 祐貴, 十河 正弥, 小林 勝哉, 宇佐美 清英, 下竹 昭寛, 松橋 眞生, 高橋 良輔, 池田 昭夫
2. 発表標題 症候性全般てんかんの経過中に低カルニチン血症を認め、カルニチン補充により発作頻度の改善を認めた一例
3. 学会等名 第16回日本てんかん学会近畿地方会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Maya Tojima, Masao Matsuhashi, Takefumi Hitomi, Kazuki Oi, Katsuya Kobayashi, Kiyohide Usami, Akihiro Shimotake, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Origin of giant somatosensory evoked potentials (SEPs) using principal component analysis: P25-HFOs were exclusively seen in benign adult familial myoclonus epilepsy (BAFME)
3. 学会等名 7th Asian-Oceanian Congress on Clinical Neurophysiology (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 戸島 麻耶, 下竹 昭寛, 音成 秀一郎, 岡田 直, 本多 正幸, 武山 博文, 小林 勝哉, 宇佐美 清英, 人見 健文, 松橋 眞生, 吉田 健司, 伏見 育崇, 岡田 知久, 山尾 幸広, 菊池 隆幸, 吉田 和道, 行木 孝夫, 松本 理器, 國枝 武治, 高橋 良輔, 宮本 享, 池田 昭夫
2. 発表標題 てんかん外科治療適応の効率的評価のためのスコアリングシステム: Specific Consistency Scoreの重み付けの検討
3. 学会等名 第44回日本てんかん外科学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Maya Tojima, Shuichiro Neshige, Takefumi Hitomi, Masao Matsuhashi, Kazuki Oi, Katsuya Kobayashi, Kiyohide Usami, Akihiro Shimotake, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Markedly suppressed and prolonged giant SEPs by perampanel: a decade-long course in Unverricht-Lundborg disease
3. 学会等名 17th Asian Oceanian Congress of Neurology (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 人見 健文
2. 発表標題 デジタル脳波の記録と判読の基本 脳波セミナー
3. 学会等名 第16回日本てんかん学会近畿地方会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 初田 直駿, 平田 真也, 小林 勝哉, 綾木 孝, 宇佐美 清英, 江川 斉宏, 廣田 伸之, 高橋 良輔
2. 発表標題 亜急性の経過でニューロパチーとミオパチーを合併したサルコイドーシスの1例
3. 学会等名 第118回日本神経学会近畿地方会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 塩原 崇史, 西村 光平, 小林 勝哉, 宇佐美 清英, 江川 斉宏, 葛谷 聡, 高橋 良輔
2. 発表標題 プリオン蛋白V180I変異による遺伝性クロイツフェルト・ヤコブ病の1例
3. 学会等名 第231回内科学会近畿地方会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 池田 昭夫
2. 発表標題 てんかん発作か発作性運動異常症か、それが問題だ
3. 学会等名 第61回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 EEG and electrophysiological monitoring: Basic and wide band EEG
3. 学会等名 10th Advanced International Course of Clinical Epileptology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 Case discussion from Kyoto University Graduate School of Medicine
3. 学会等名 A dialogue across the Pacific Ocean on epilepsy cases in America and Asia, 6th Huaxia International Neurology Forum (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 池田 昭夫
2. 発表標題 てんかん：内科治療のトピックス，抗発作薬から抗てんかん原性薬へ
3. 学会等名 第79回日本脳神経外科学会総会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 池田 昭夫
2. 発表標題 てんかん診療の進歩の多様化
3. 学会等名 2020年度日本神経学会関東・甲信越地区生涯教育講演会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 EEG and electrophysiological monitoring: Basic and wide band EEG
3. 学会等名 EPIC online (Indian Epilepsy Association) (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 池田 昭夫
2. 発表標題 日本のてんかん外科へのメッセージ：脳神経内科とILAEの視点から
3. 学会等名 第44回日本てんかん外科学会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 Infraslow, DC Shift and High Frequency Oscillations: Established Tool or Research Topic?
3. 学会等名 7th Asian-Oceanian Congress on Clinical Neurophysiology（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 Advances in EEG Analysis - Wide-Band EEG, Dense-Array EEG and Quantitative EEG ?
3. 学会等名 7th Asian-Oceanian Congress on Clinical Neurophysiology（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 池田 昭夫
2. 発表標題 集中治療のための急性期脳波モニタリングの基礎：難治てんかんのEMUモニタリングとの比較から
3. 学会等名 第48回日本集中治療医学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山尾幸広
2. 発表標題 皮質脳波
3. 学会等名 第44回日本てんかん外科学会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山尾幸広, 松本理器, 菊池隆幸, 荒川芳輝, 吉田和道, 片岡大治, 國枝武治, 宮本享
2. 発表標題 術中言語モニタリングにおける皮質-皮質間誘発電位(CCEP)の覚醒不良例における有効性
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第79回学術総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 菊池隆幸, 山尾幸広, 下竹昭寛, 小林勝哉, 吉田和道, 松本理器, 國枝武治, 池田昭夫, 宮本享
2. 発表標題 SEEG症例ディスカッション 術後に発作が再燃した右内側側頭葉てんかんの症例
3. 学会等名 第44回日本てんかん外科学会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 菊池隆幸, 山尾幸広, 中江卓郎, 光野優人, 稲田拓, 下竹昭寛, 吉田和道, 松本理器, 國枝武治, 池田昭夫, 宮本享
2. 発表標題 てんかん外科における術中の脳機能マッピング
3. 学会等名 第50回日本臨床神経生理学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山田 大輔, 菊池 隆幸, 光野 優人, 下竹 昭寛, 山尾 幸広, 吉田 和道, 池田 昭夫, 宮本 享
2. 発表標題 てんかん外科手術における覚醒下術中皮質脳波の有用性の検討
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第79回学術総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山田 大輔, 菊池 隆幸, 光野 優人, 下竹 昭寛, 山尾 幸広, 吉田 和道, 池田 昭夫, 宮本 享
2. 発表標題 てんかん外科手術における覚醒下術中皮質脳波の有用性の検討
3. 学会等名 第44回日本てんかん外科学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 菊池隆幸、山尾幸広、光野優人、川崎敏生、下竹昭寛、小林勝哉、吉田和道、國枝武治、松本理器、池田昭夫、宮本享
2. 発表標題 治療困難な薬剤抵抗性てんかんへの定位頭蓋内電極による診断的アプローチ
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第79回学術総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 光野優人、武山博文、松本理器、尾谷真弓、梶川駿介、大井 和起、松橋眞生、山尾幸広、菊池隆幸、高橋良輔、池田昭夫、宮本享
2. 発表標題 再認記憶時の海馬脳波活動を利用した記憶優位半球同定法開発の試み：定位的深部電極挿入術を施行した3症例での検討
3. 学会等名 第44回日本てんかん外科学会
4. 発表年 2021年

〔図書〕 計15件

1. 著者名 下竹昭寛, 池田昭夫	4. 発行年 2023年
2. 出版社 メディカルレビュー社	5. 総ページ数 308
3. 書名 3 自己免疫介在性脳炎・脳症、第10章、てんかん症候群 診断と治療の手引き , てんかん症候群、診断と治療の手引き	

1. 著者名 小林勝哉, 池田昭夫	4. 発行年 2023年
2. 出版社 メディカルレビュー社	5. 総ページ数 308
3. 書名 1 進行性ミオクローヌステんかん. 第4章、てんかん症候群 診断と治療の手引き	

1. 著者名 十川 純平, 池田 昭夫	4. 発行年 2024年
2. 出版社 メディカルレビュー社(東京)	5. 総ページ数 1120
3. 書名 . 脳神経疾患「てんかん」、日常診療に活かす診療ガイドラインUP-TO-DATE 2024-2025	

1. 著者名 戸島 麻耶, 小林 勝哉, 池田 昭夫	4. 発行年 2022年
2. 出版社 先端医学社	5. 総ページ数 175
3. 書名 ペランパネルによるてんかん治療のストラテジー 第2版	

1. 著者名 音成 秀一郎, 池田 昭夫	4. 発行年 2021年
2. 出版社 診断と治療社	5. 総ページ数 332
3. 書名 脳波判読オープンキャンパス：誰でも学べる7step	

1. 著者名 十川 純平, 池田 昭夫	4. 発行年 2022年
2. 出版社 メディカルレビュー社	5. 総ページ数 1096
3. 書名 日常診療に活かす診療ガイドラインUP-TO-DATE 2022-2023 脳神経疾患 2. てんかん	

1. 著者名 戸島 麻耶, 小林 勝哉, 池田 昭夫	4. 発行年 2022年
2. 出版社 中外医学社	5. 総ページ数 332
3. 書名 Annual Review 神経 2022	

1. 著者名 武山 博文, 宇佐美 清英, 松本 理器	4. 発行年 2020年
2. 出版社 脳科学辞典 (web)	5. 総ページ数 -
3. 書名 抗てんかん薬	

1. 著者名 人見 健文	4. 発行年 2020年
2. 出版社 neurodiem (web)	5. 総ページ数 -
3. 書名 BAFMEの病態・遺伝子発見・今後の展望	

1. 著者名 人見 健文	4. 発行年 2020年
2. 出版社 脳科学辞典 (web)	5. 総ページ数 -
3. 書名 ミオクローヌス	

1. 著者名 音成 秀一郎, 池田 昭夫	4. 発行年 2021年
2. 出版社 診断と治療社	5. 総ページ数 332
3. 書名 脳波判読オープンキャンパス：誰でも学べる7step	

1. 著者名 池田 昭夫編集	4. 発行年 2020年
2. 出版社 南江堂	5. 総ページ数 222
3. 書名 てんかん, 早わかり! 診療アルゴリズムと病態別アトラス	

1. 著者名 池田 昭夫	4. 発行年 2020年
2. 出版社 株式会社プレジジョン(web)	5. 総ページ数 -
3. 書名 ミオクロニー発作, 今日の疾患辞典	

1. 著者名 池田 昭夫	4. 発行年 2020年
2. 出版社 株式会社プレジジョン(web)	5. 総ページ数 -
3. 書名 進行性ミオクローヌステんかん, 今日の疾患辞典	

1. 著者名 池田 昭夫	4. 発行年 2020年
2. 出版社 株式会社プレジジョン(web)	5. 総ページ数 -
3. 書名 てんかん重積, 今日の疾患辞典	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	澤本 伸克 (Sawamoto Nobukatsu) (90397547)	京都大学・医学研究科・教授 (14301)	
研究分担者	美馬 達哉 (Mima Tatsuya) (20324618)	立命館大学・先端総合学術研究科・教授 (34315)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	松橋 眞生 (Matsuhashi Masao) (40456885)	京都大学・医学研究科・特定准教授 (14301)	
研究分担者	荒川 芳輝 (Arakawa Yoshiki) (20378649)	京都大学・医学研究科・教授 (14301)	
研究分担者	人見 健文 (Hitomi Takefumi) (50402904)	京都大学・医学研究科・講師 (14301)	
研究分担者	宇佐美 清英 (Usami Kiyohide) (20829204)	京都大学・医学研究科・客員研究員 (14301)	
研究分担者	山尾 幸広 (Yamao Yukihiko) (90736810)	京都大学・医学研究科・助教 (14301)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関